

浜松市
地域福祉計画アンケート調査
結果報告書

令和5年2月
浜松市

目次

第1章 調査概要.....	1
1 調査実施の概要	1
(1) 調査の目的.....	1
(2) 調査対象	1
(3) 調査対象の区分.....	1
(4) 調査項目	1
(5) 調査方法	1
(6) 調査期間	2
(7) 回収結果	2
(8) 詳細回収結果.....	2
2 報告書を見る際の注意点	2
第2章 アンケート調査報告.....	3
1 調査結果	3
(1) 回答者の属性.....	3
(2) 地域社会とのかかわりについて.....	7
(3) 地域での助け合いについて.....	19
(4) 困りごとに関する相談について.....	28
(5) 福祉やボランティアへの関心について.....	42
(6) 地域福祉活動を活発にするために必要なことについて.....	52
第3章 資料編.....	75
1 地域特性	75
(1) カイ2乗検定による分析.....	75
(2) クロス集計における地区別の傾向.....	78
2 居住地別集計	80
3 自由記載一覧	108
4 調査票	129

第1章 調査概要

第1章 調査概要

1 調査実施の概要

(1) 調査の目的

誰もが住み慣れた地域で生きがいを持って安心した生活を送るために、浜松市では「第4次浜松市地域福祉計画」に基づき、地域福祉計画の推進を図ってきた。また、(福)浜松市社会福祉協議会では、「第4次浜松市地域福祉活動計画」を策定し、より地域に身近な視点で地域福祉を進める活動を展開してきた。

このたび、両計画とも第5期を迎えるにあたり、市民の地域福祉についての意見や実態を把握し、計画策定のための基礎資料とすることを目的としている。

(2) 調査対象

浜松市に在住する20歳以上の住民
住民基本台帳から層化二段無作為抽出により2,400人を抽出

(3) 調査対象の区分

調査地域：浜松市全域
年代別：20代～70代の6区分
男女別：年代別の男女区分

(4) 調査項目

全15項目（調査票参照）

(5) 調査方法

郵送により実施（自記式）

(6) 調査期間

発送：令和4年12月13日

締切：令和4年12月31日

(7) 回収結果

発送数	有効回収数	有効回収率
2,400 件	1,007 件	42.0%

(8) 詳細回収結果

区名	発送数	有効回収数	有効回収率
中区	600 件	232 件	38.7%
東区	300 件	124 件	41.3%
西区	300 件	118 件	39.3%
南区	300 件	123 件	41.0%
北区	300 件	115 件	38.3%
浜北区	300 件	129 件	43.0%
天竜区	300 件	125 件	41.7%
地区不明	-	41 件	-
合計	2,400 件	1,007 件	42.0%

2 報告書を見る際の注意点

- ・回答は各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示してある。
- ・百分率は小数点以下第2位を四捨五入して算出した。このため、回答比率の合計が100%を超えることがある。
- ・年代別などのクロス集計においては、内訳から無回答を除いているため、足し合わせでも全体数と一致しないことがある。

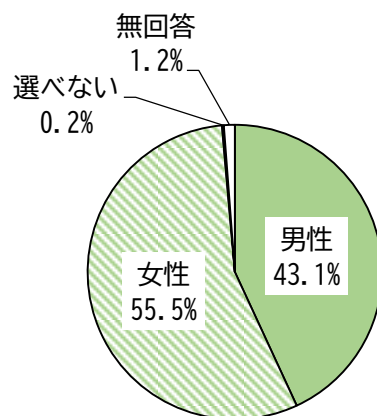
第2章 アンケート調査報告

第2章 アンケート調査報告

1 調査結果

(1) 回答者の属性

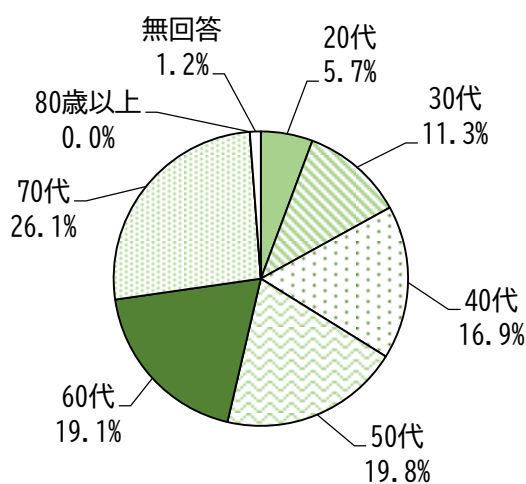
F1 性別(○は1つ)



(n=1,007)

性別では、「男性」43.1%、「女性」55.5%、「選べない」0.2%となっている。

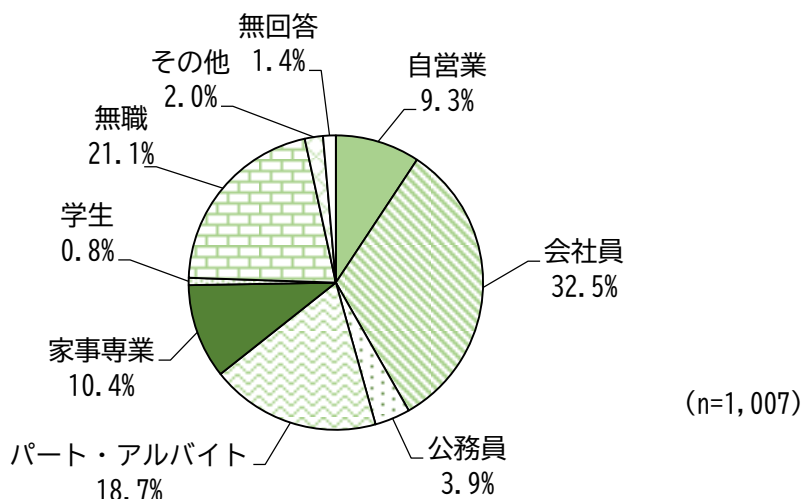
F2 年齢(○は1つ)



(n=1,007)

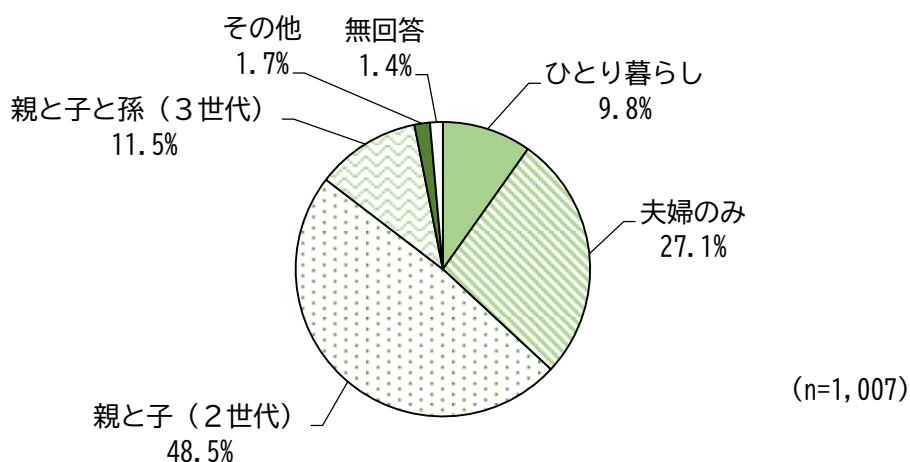
年代では、「70代」26.1%が最も多く、以下「50代」19.8%、「60代」19.1%などとなっている。

F3 職業(○は主なもの1つ)



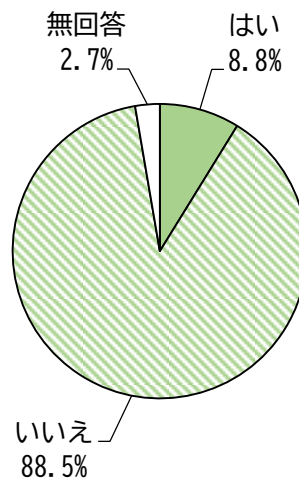
職業では、「会社員」32.5%が最も多く、以下「無職」21.1%、「パート・アルバイト」18.7%などとなっている。

F4 世帯構成(○は1つ)



世帯構成では、「親と子(2世代)」48.5%が最も多く、以下「夫婦のみ」27.1%、「親と子と孫(3世代)」11.5%などとなっている。

F5 あなたの同居者に「同居の家族以外からの支援を必要とするような方」はいますか。
(○は1つ)

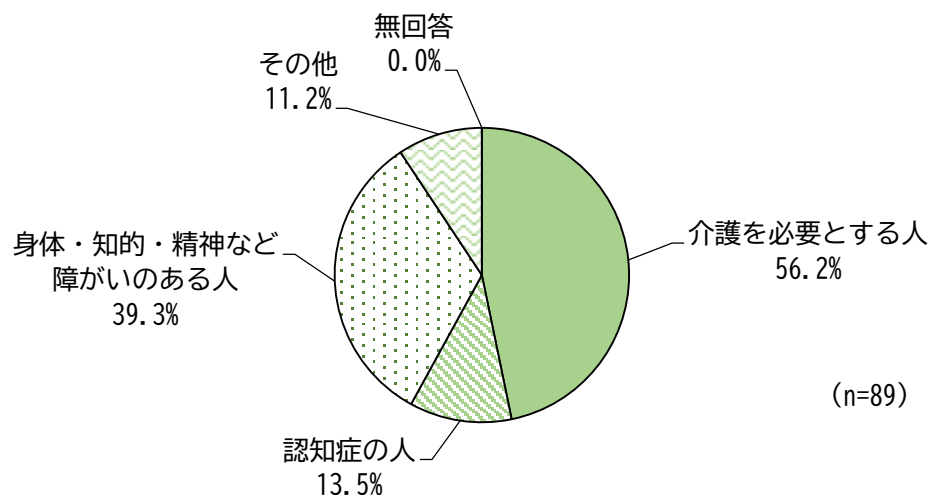


(n=1,007)

同居の家族以外からの支援が必要な方がいるかでは、「はい」8.8%、「いいえ」88.5%となっている。

F5で「1. はい」と答えた方に伺います。

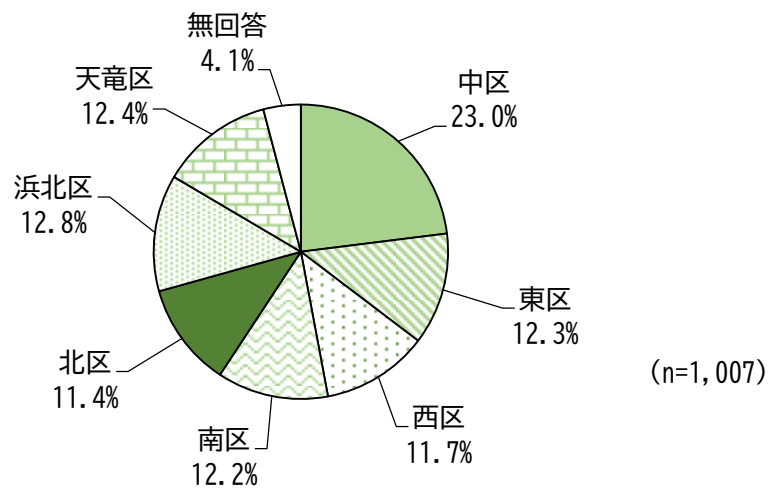
F5-1その方はどのような方ですか。(○はいくつでも)



(n=89)

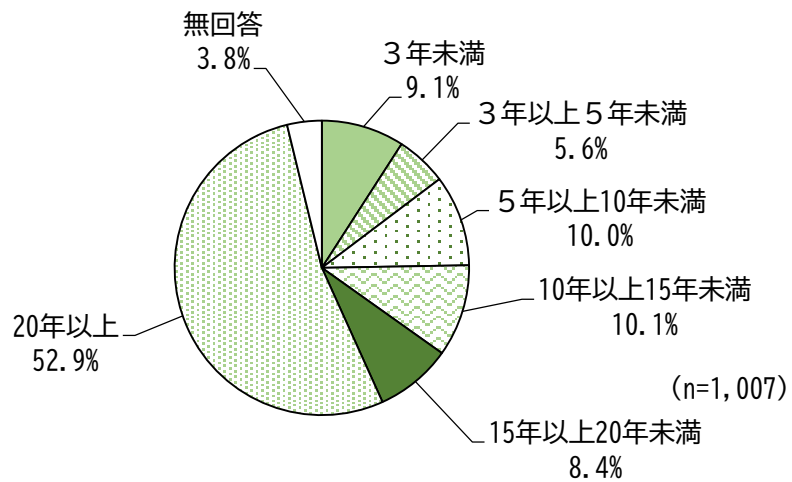
同居の家族以外からの支援を必要とする方の状態では、「介護を必要とする人」56.2%が最も多く、以下「身体・知的・精神など障がいのある人」39.3%、「認知症の人」13.5%などとなっている。

F 6 お住まいの区名と町名を記入してください。(○は1つ)



居住地区では、「中区」23.0%が最も多く、以下「浜北区」12.8%、「天竜区」12.4%などとなっている。

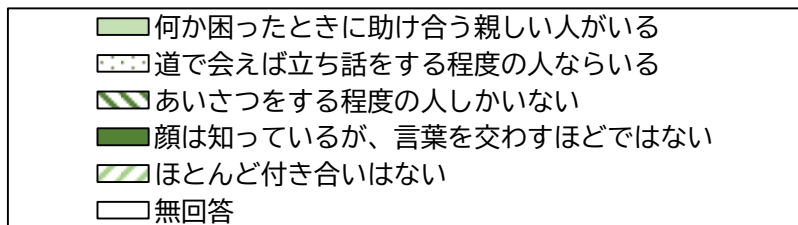
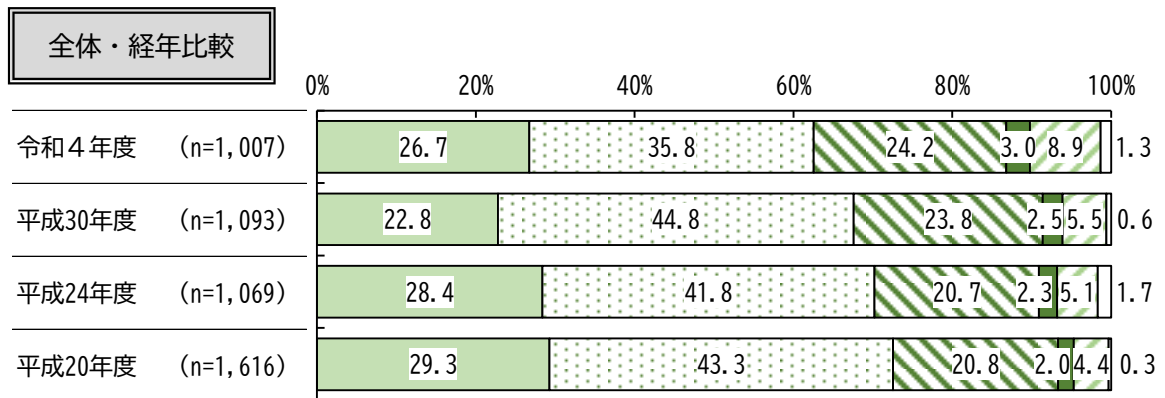
F 7 現在のお住まいでの居住年数はどのぐらいですか。(○は1つ)



居住年数では、「20年以上」52.9%が最も多く、以下「10年以上15年未満」10.1%、「5年以上10年未満」10.0%などとなっている。

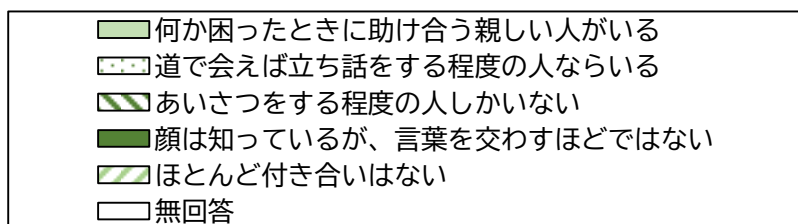
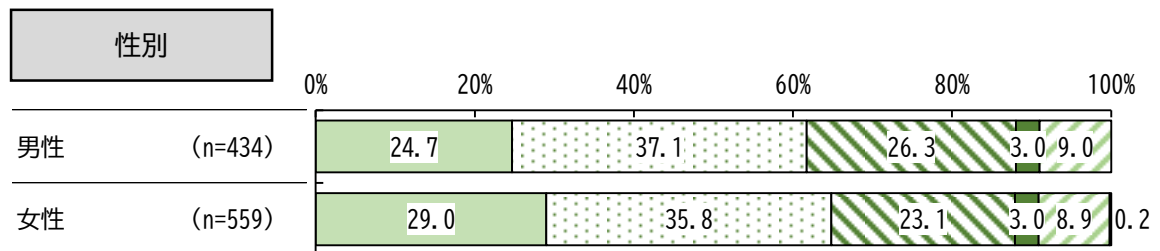
(2) 地域社会とのかかわりについて

問1 ご近所の人たちとの程度お付き合いをしていますか。(〇は1つ)

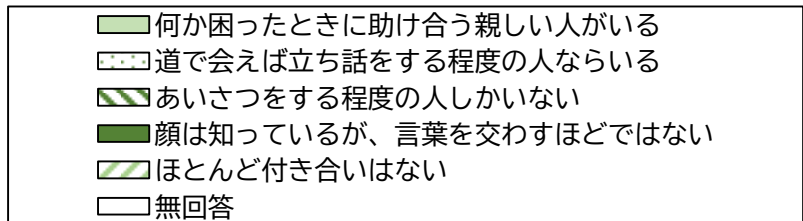
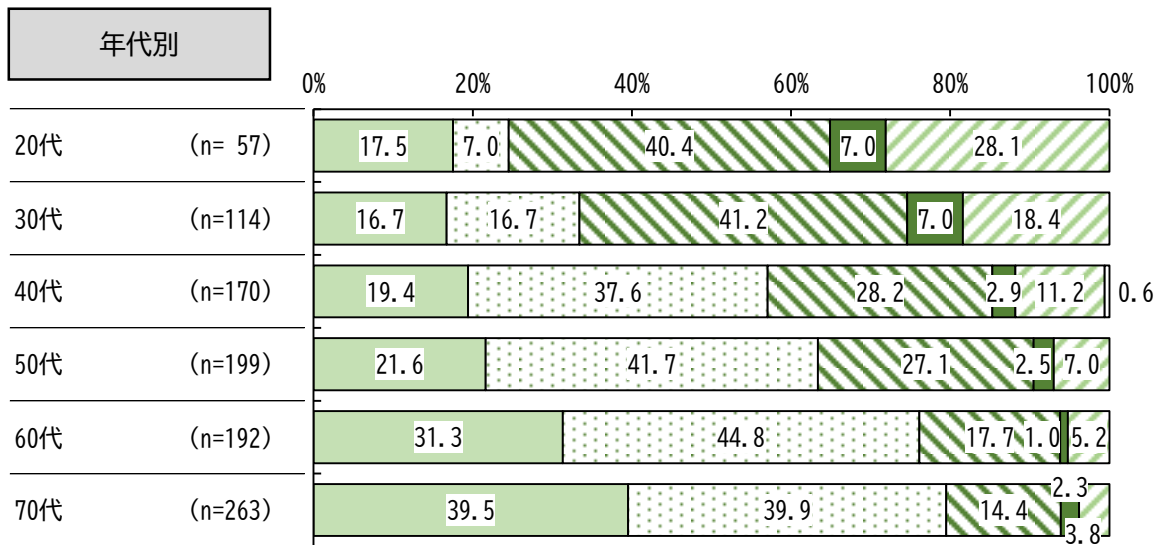


※「何か困ったときに助け合う親しい人がいる」は平成30年度までは「互いに訪問し何か困ったときに助け合う親しい人がいる」

近所の人との付き合いの程度では、「道で会えば立ち話をする程度の人ならいる」35.8%が最も多く、以下「何か困ったときに助け合う親しい人がいる」26.7%、「あいさつをする程度の人しかいない」24.2%などとなっている。

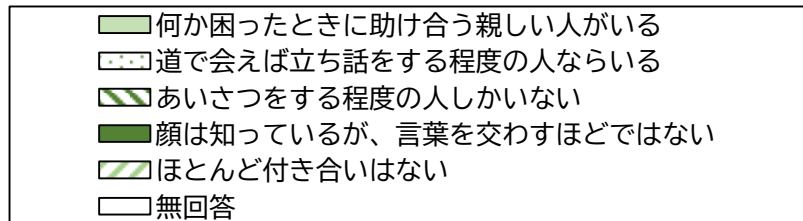
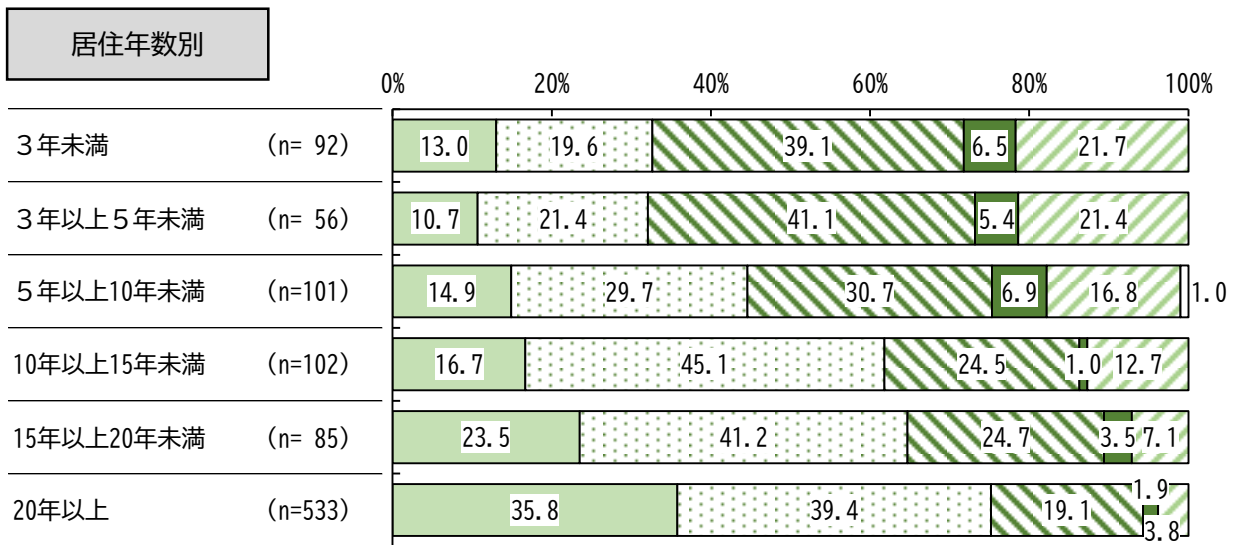


性別にみると、男女ともに「道で会えば立ち話をする程度の人ならいる」が最も高い割合となっている。



年代別にみると、「道で会えば立ち話をする程度の人ならいる」は 20 代で 7.0%と少なくなっている。

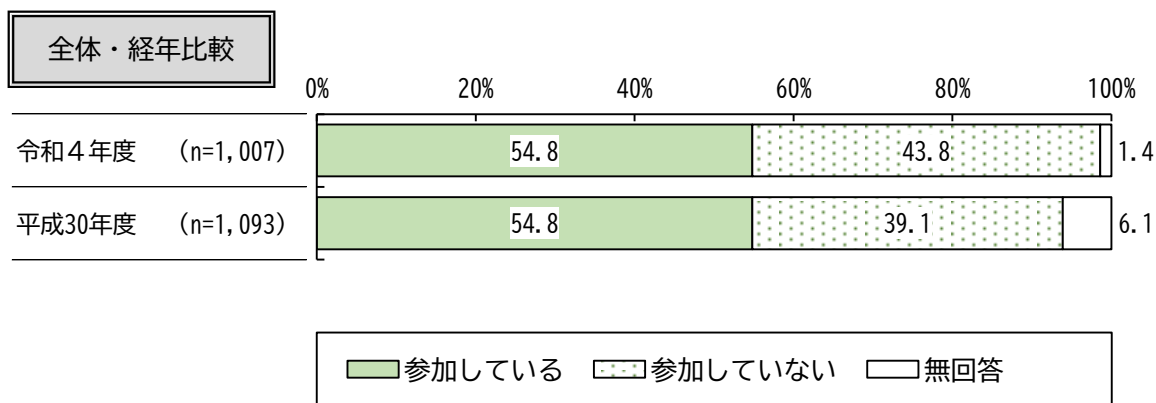
また、「何か困ったときに助け合う親しい人がいる」は 30 代から 70 代まで年齢が上がるにつれて多くなっている。



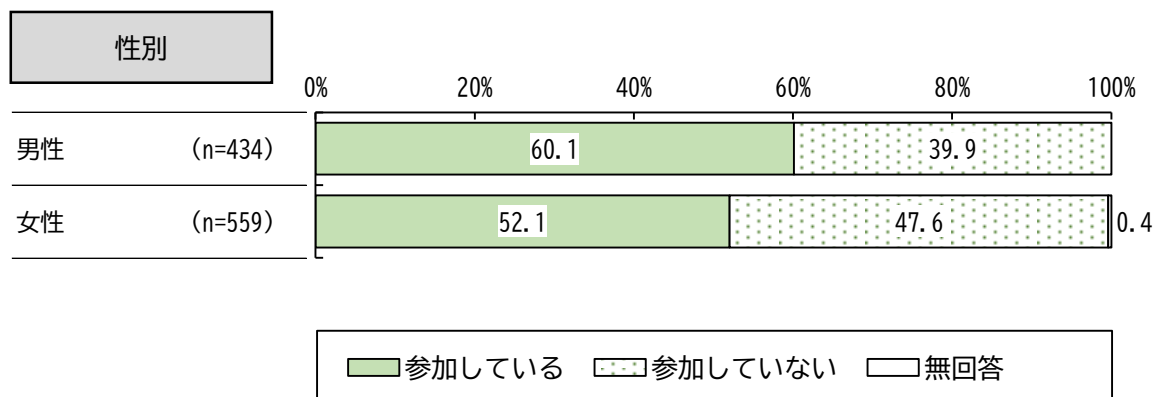
居住年数別にみると、3年未満と3年以上5年未満、5年以上10年未満では「あいさつをする程度の人しかいない」が最も高い割合となっている。

また、「何か困ったときに助け合う親しい人がいる」は3年以上5年未満から20年以上まで居住年数が長くなるにつれて多くなっている。

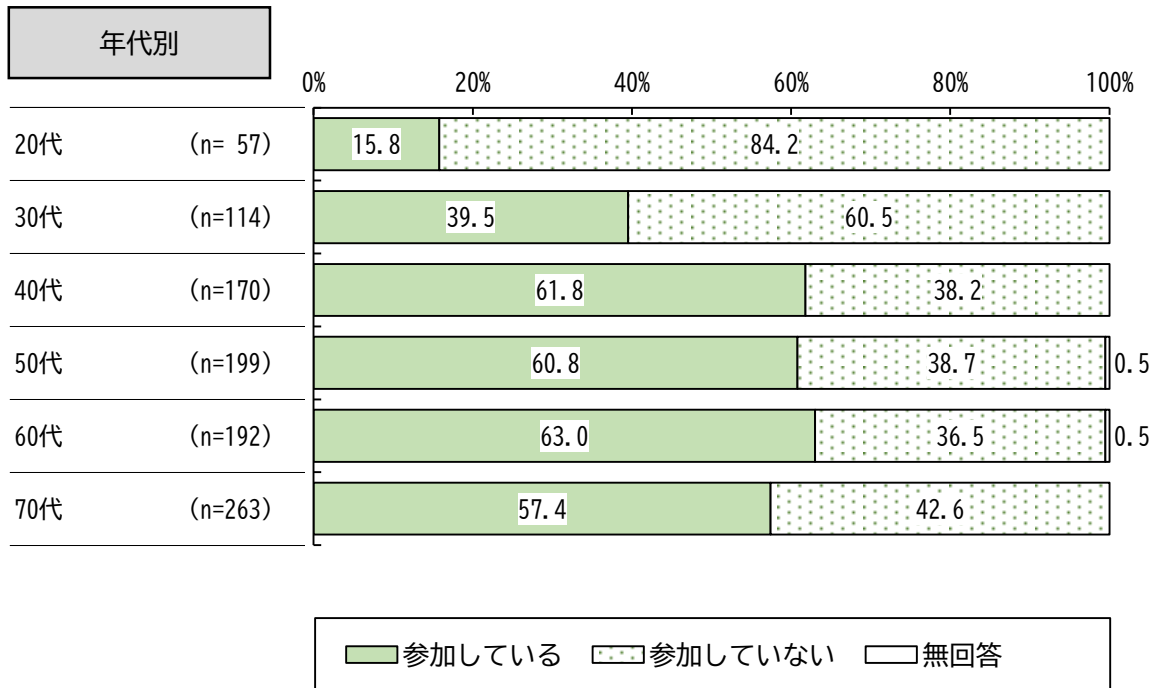
問2 地域内での行事や活動に参加していますか。(〇は1つ)



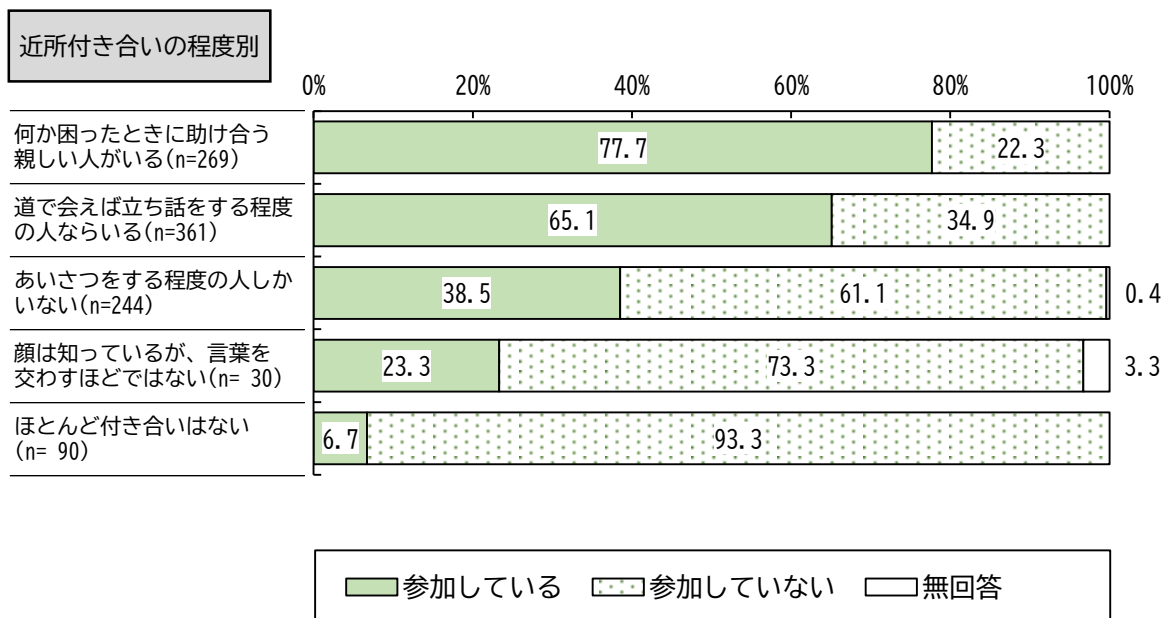
地域内の行事や活動の参加有無では、「参加している」54.8%、「参加していない」43.8%となっている。



性別にみると、男女ともに「参加している」ほうが「参加していない」よりも高い割合となっている。



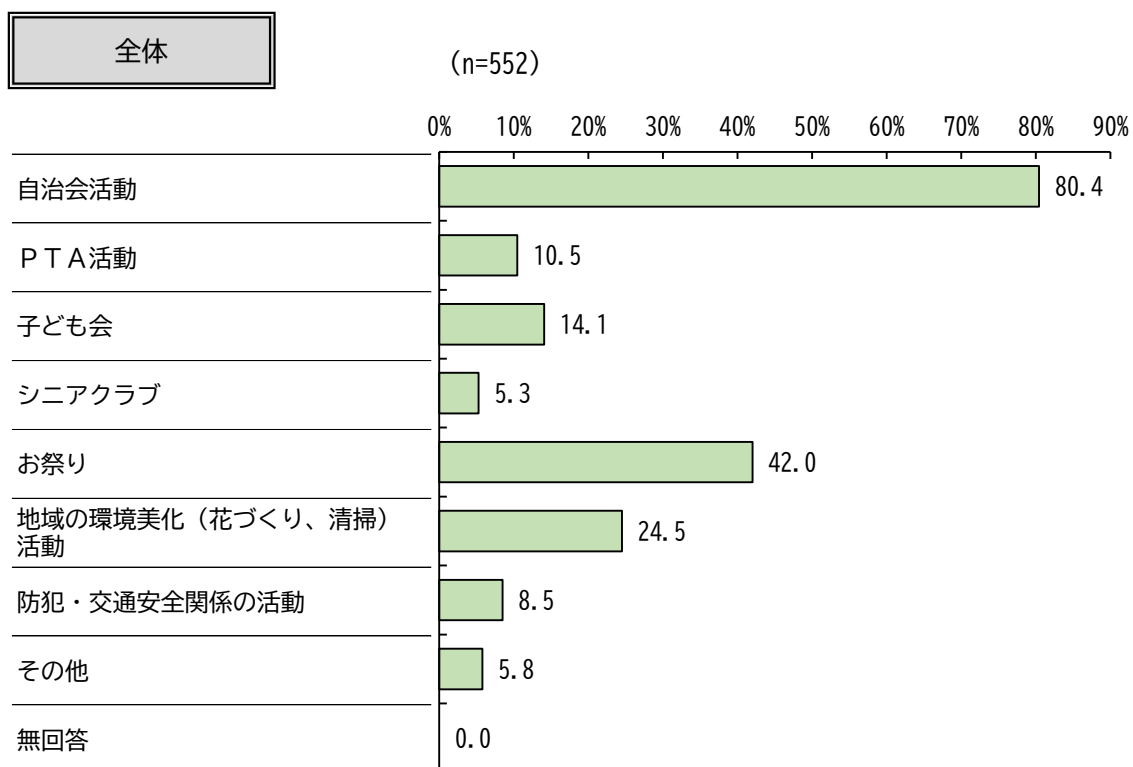
年代別に見ると、「参加している」は20代で15.8%と少なくなっている。



近所付き合いの程度別に見ると、近所付き合いの程度が低くなるにつれて、「参加していない」の割合が多くなっている。

問2で「1. 参加している」と答えた方に伺います。

問2-1 どのような活動に参加していますか。(〇はいくつでも)



活動内容では、「自治会活動」80.4%が最も多く、以下「お祭り」42.0%、「地域の環境美化(花づくり、清掃)活動」24.5%などとなっている。

年代別

単位：%

	自治会活動	P T A 活動	子ども会	シニアクラブ	お祭り	地域の環境美化（花づくり、清掃）活動	防犯・交通安全関係の活動	その他	無回答
20代(n=9)	22.2	0.0	11.1	0.0	77.8	11.1	0.0	0.0	0.0
30代(n=45)	60.0	28.9	37.8	0.0	37.8	24.4	4.4	0.0	0.0
40代(n=105)	76.2	36.2	45.7	0.0	48.6	22.9	9.5	1.0	0.0
50代(n=121)	85.1	4.1	5.8	0.0	35.5	30.6	7.4	3.3	0.0
60代(n=121)	88.4	1.7	0.8	2.5	41.3	19.8	7.4	8.3	0.0
70代(n=151)	82.8	0.0	2.6	17.2	42.4	25.2	11.3	11.3	0.0

1位

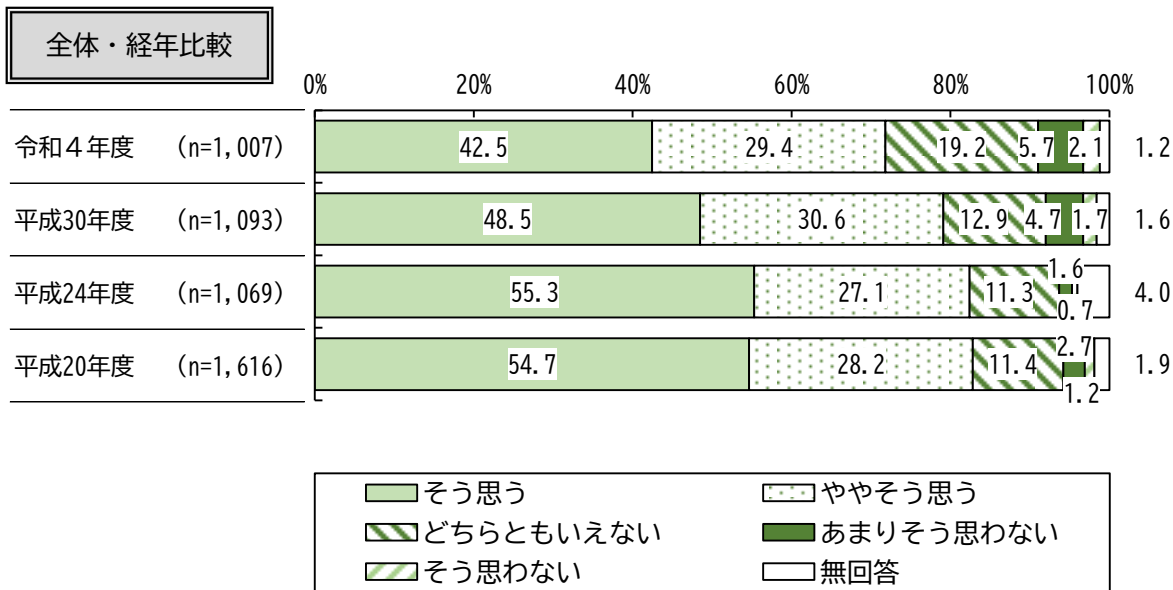
2位

3位

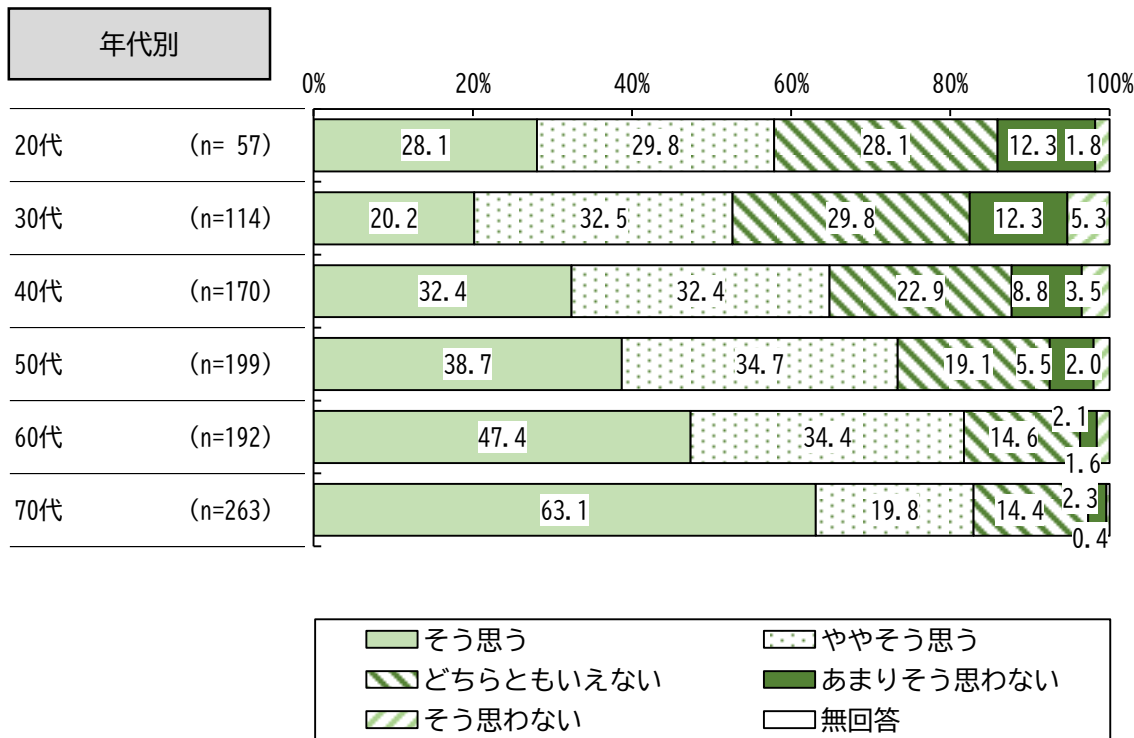
年代別にみると、20代では「お祭り」が77.8%と最も多くなっている。

問3 地域社会におけるかかわりについて、以下の1～5の項目について、あなたはどうか。(○は項目ごとに1つずつ)

1. 隣人との支え合い助け合いなど、付き合いを大切にしたい

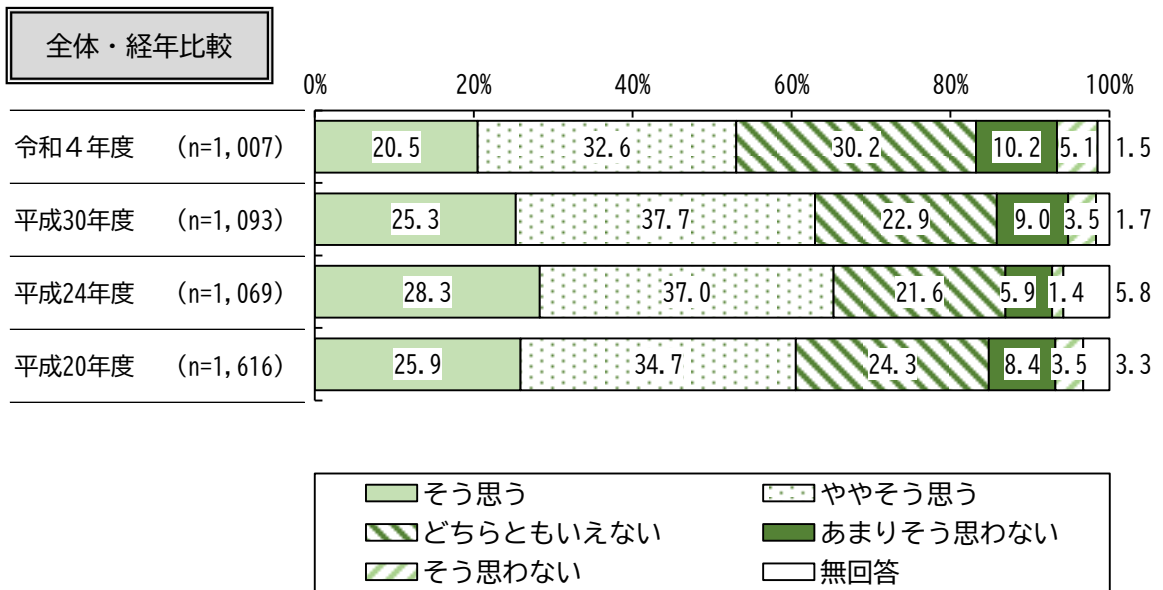


隣人との支え合い助け合いなど、付き合いを大切にしたいでは、「そう思う」42.5%が最も多く、以下「ややそう思う」29.4%、「どちらともいえない」19.2%などとなっている。

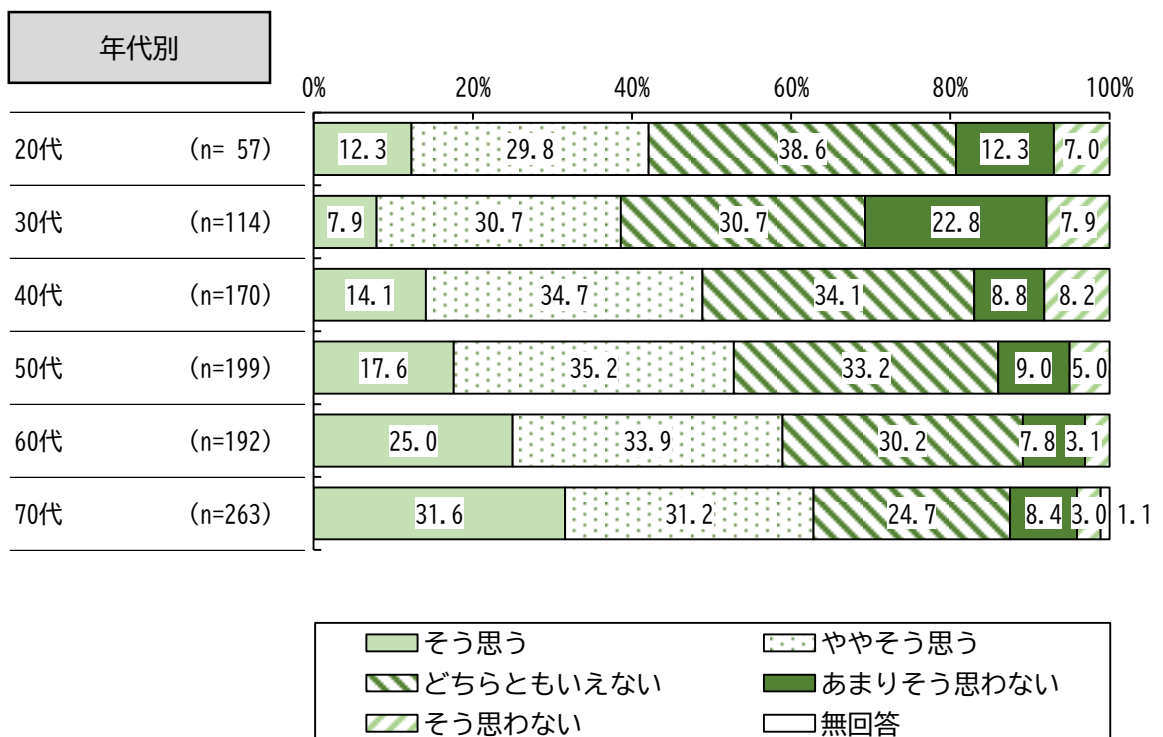


年代別にみると、20代、30代では「ややそう思う」が最も多くなっている。また、「そう思う」は30代から70代まで年齢が上がるにつれて多くなっている。

2. 住民が相互に協力して地域をよくする活動に参加したい

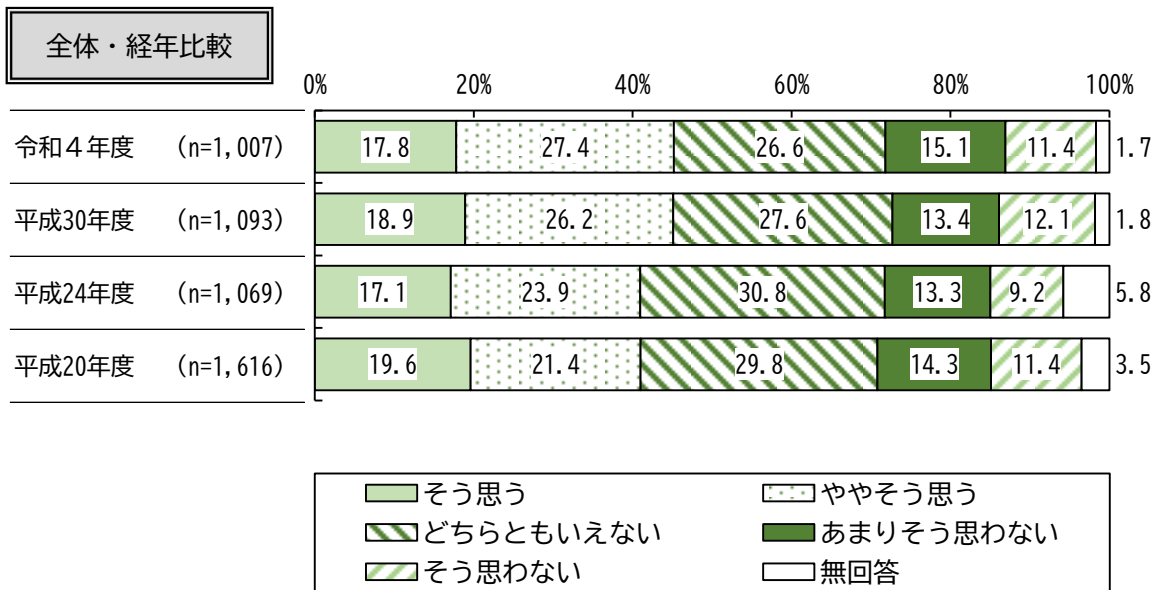


住民が相互に協力して地域をよくする活動に参加したいでは、「ややそう思う」32.6%が最も多く、以下「どちらともいえない」30.2%、「そう思う」20.5%などとなっている。

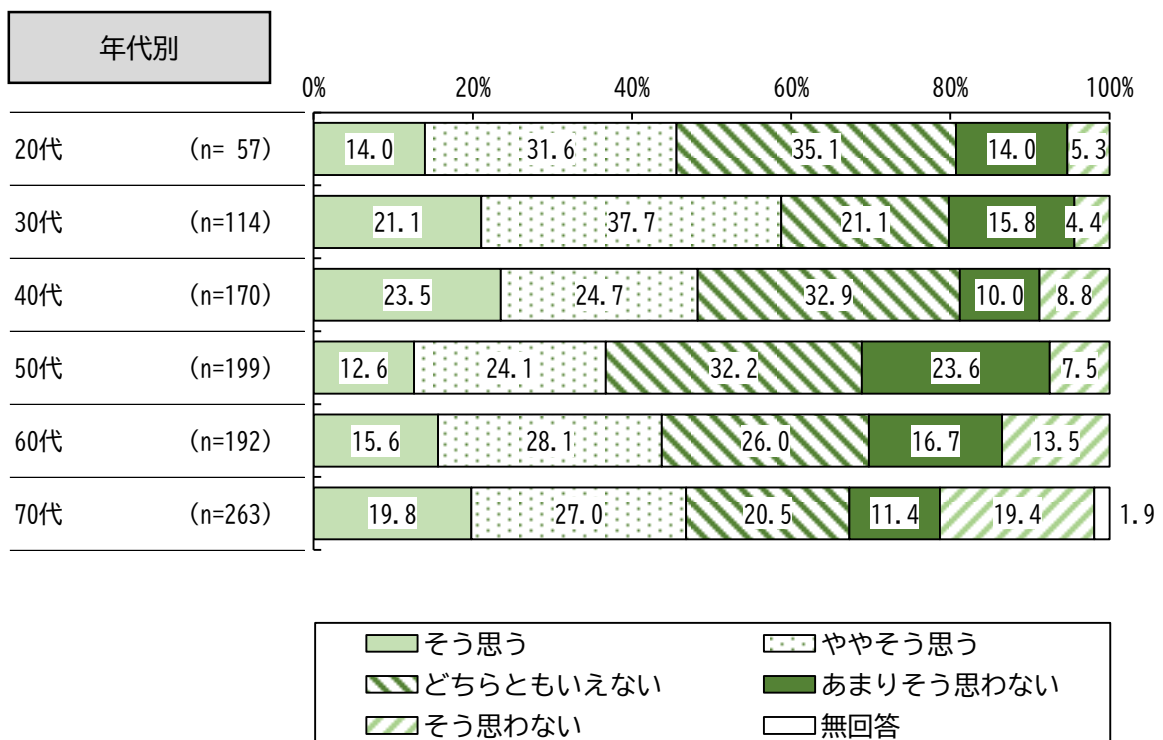


年代別にみると、20代では「どちらともいえない」が最も多くなっている。また、「そう思う」は30代から70代まで年齢が上がるにつれて多くなっている。

3. 隣人はあてにしたいくないので、自分のことは自分で行う

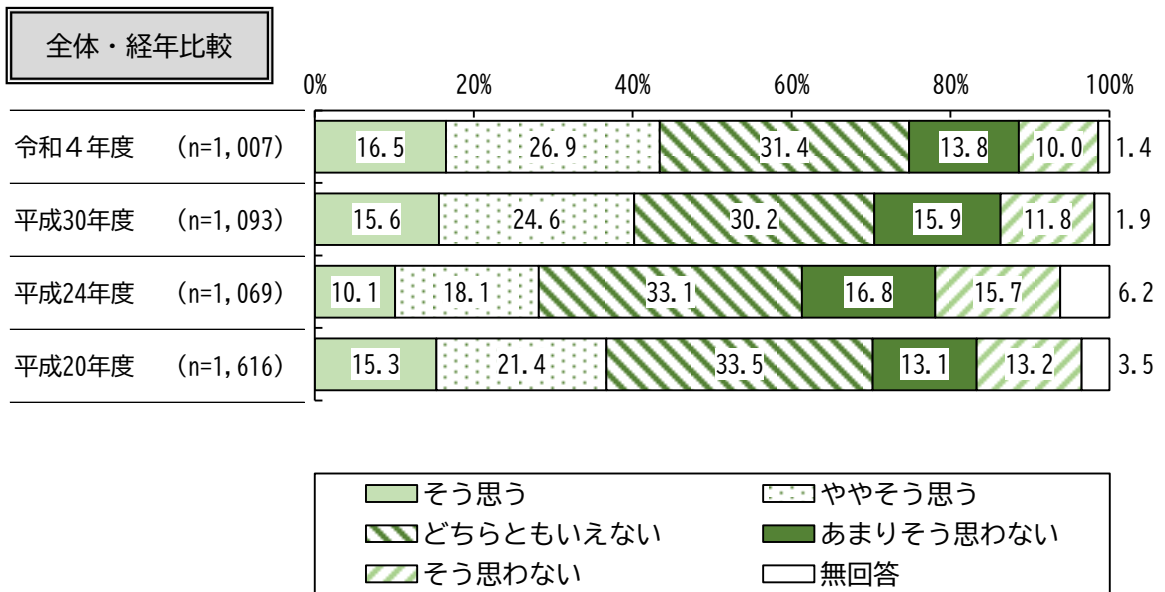


隣人はあてにしたいくないので、自分のことは自分で行うでは、「ややそう思う」27.4%が最も多く、以下「どちらともいえない」26.6%、「そう思う」17.8%などとなっている。

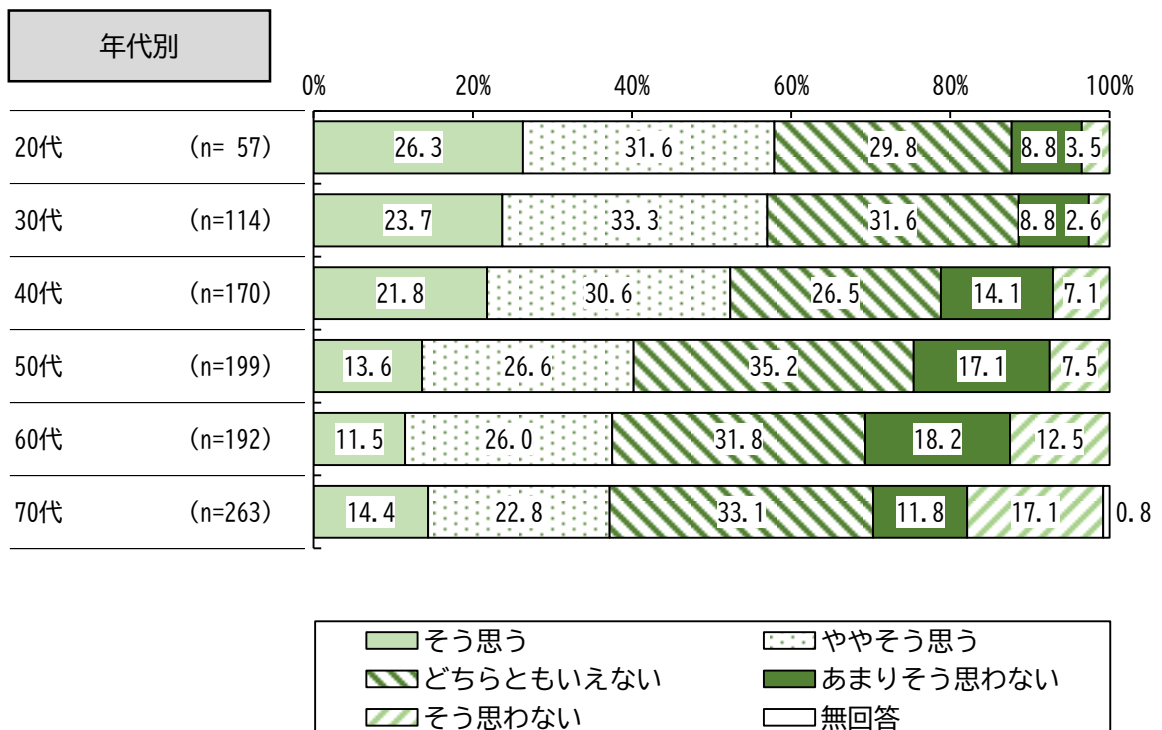


年代別にみると、20代と40代では「どちらともいえない」が最も多くなっている。

4. 時間に余裕がある人や、やる気がある人が地域にかかわればよい

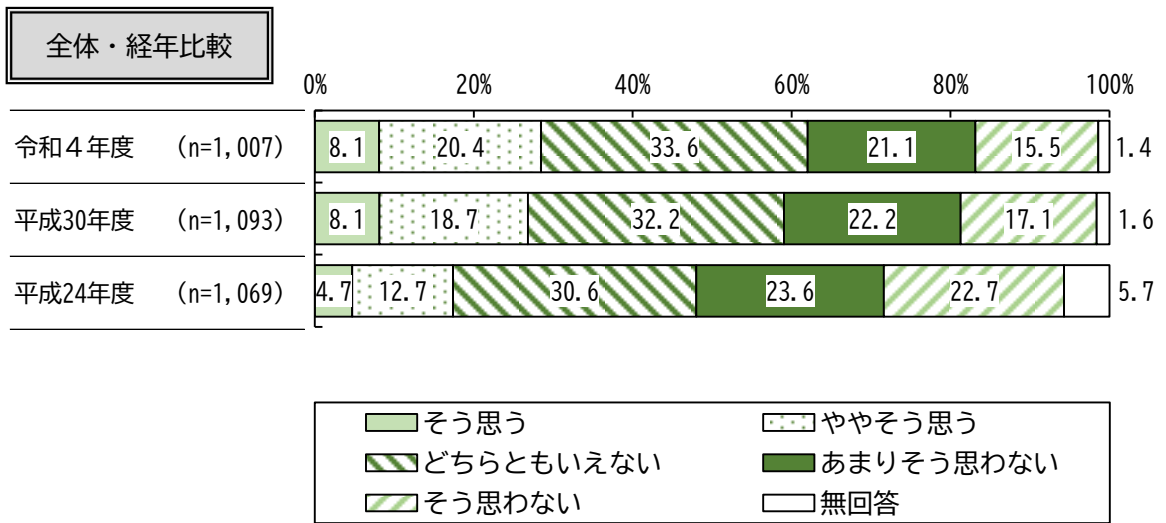


時間に余裕がある人や、やる気がある人が地域にかかわればよいでは、「どちらともいえない」31.4%が最も多く、以下「ややそう思う」26.9%、「そう思う」16.5%などとなっている。

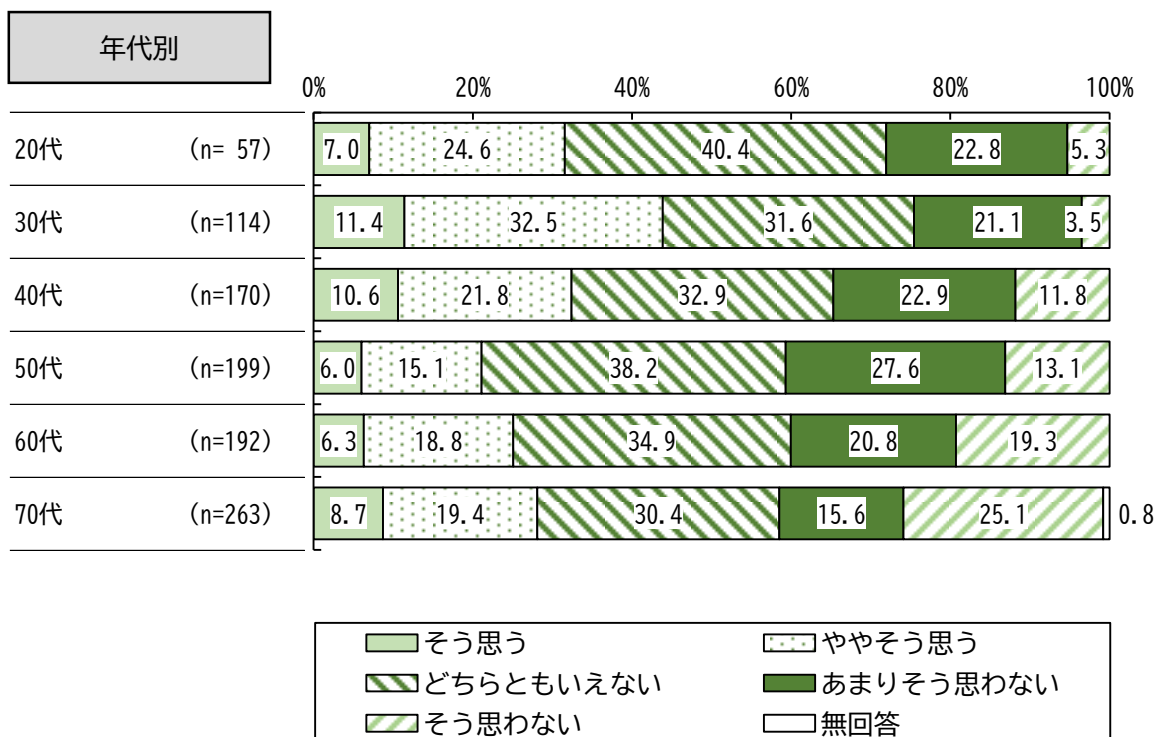


年代別にみると、20代、30代、40代では「ややそう思う」が最も多くなっている。また、「そう思わない」は30代から70代まで年齢が上がるにつれて多くなっている。

5. プライバシーに立ち入られるのが嫌なので、隣近所に助けてもらうのは気が進まない



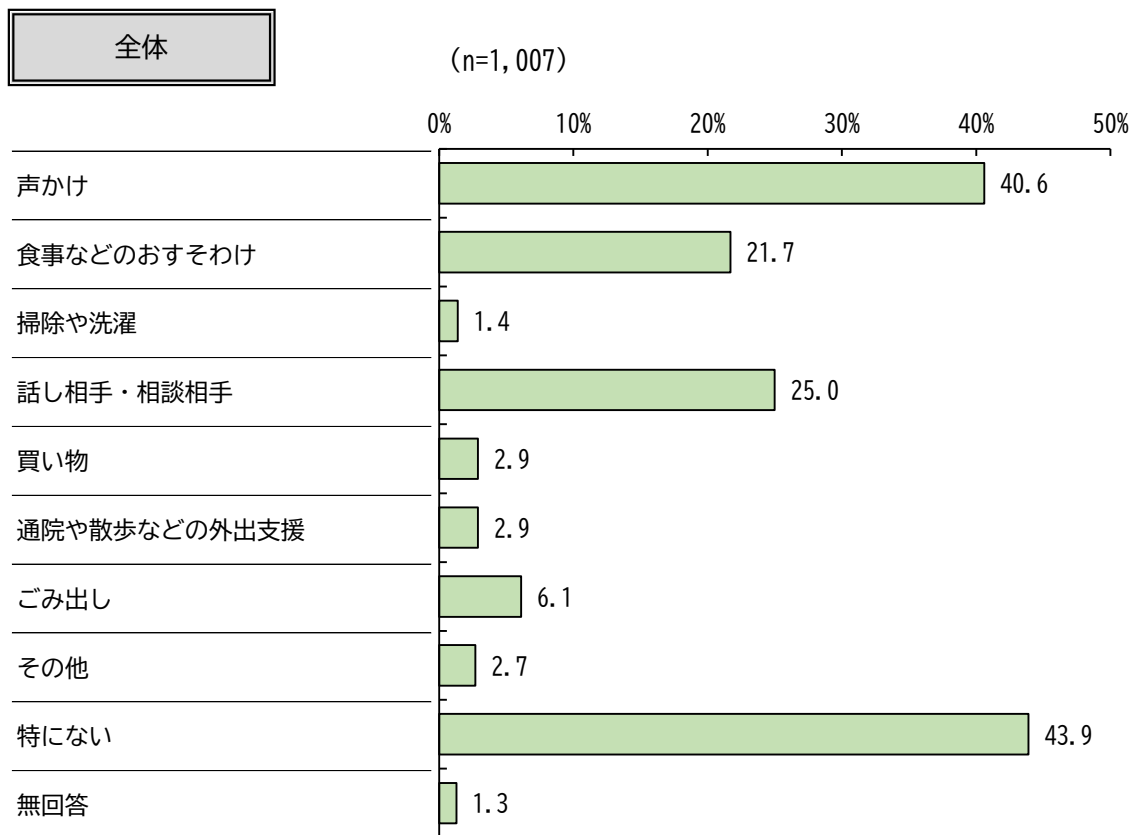
プライバシーに立ち入られるのが嫌なので、隣近所に助けてもらうのは気が進まないでは、「どちらともいえない」33.6%が最も多く、以下「あまりそう思わない」21.1%、「ややそう思う」20.4%などとなっている。



年代別にみると、30代では「ややそう思う」が32.5%と最も多くなっている。また、「そう思わない」は30代から70代まで年齢が上がるにつれて多くなっている。

(3) 地域での助け合いについて

問4 ご近所の人にどのようなお手伝いをした経験がありますか。(〇はいくつでも)



近所の人に手伝いをした経験では、「声かけ」40.6%が最も多く、以下「話し相手・相談相手」25.0%、「食事などのおすそわけ」21.7%などとなっている。また、「特にない」が43.9%となっている。

年代別

単位：%

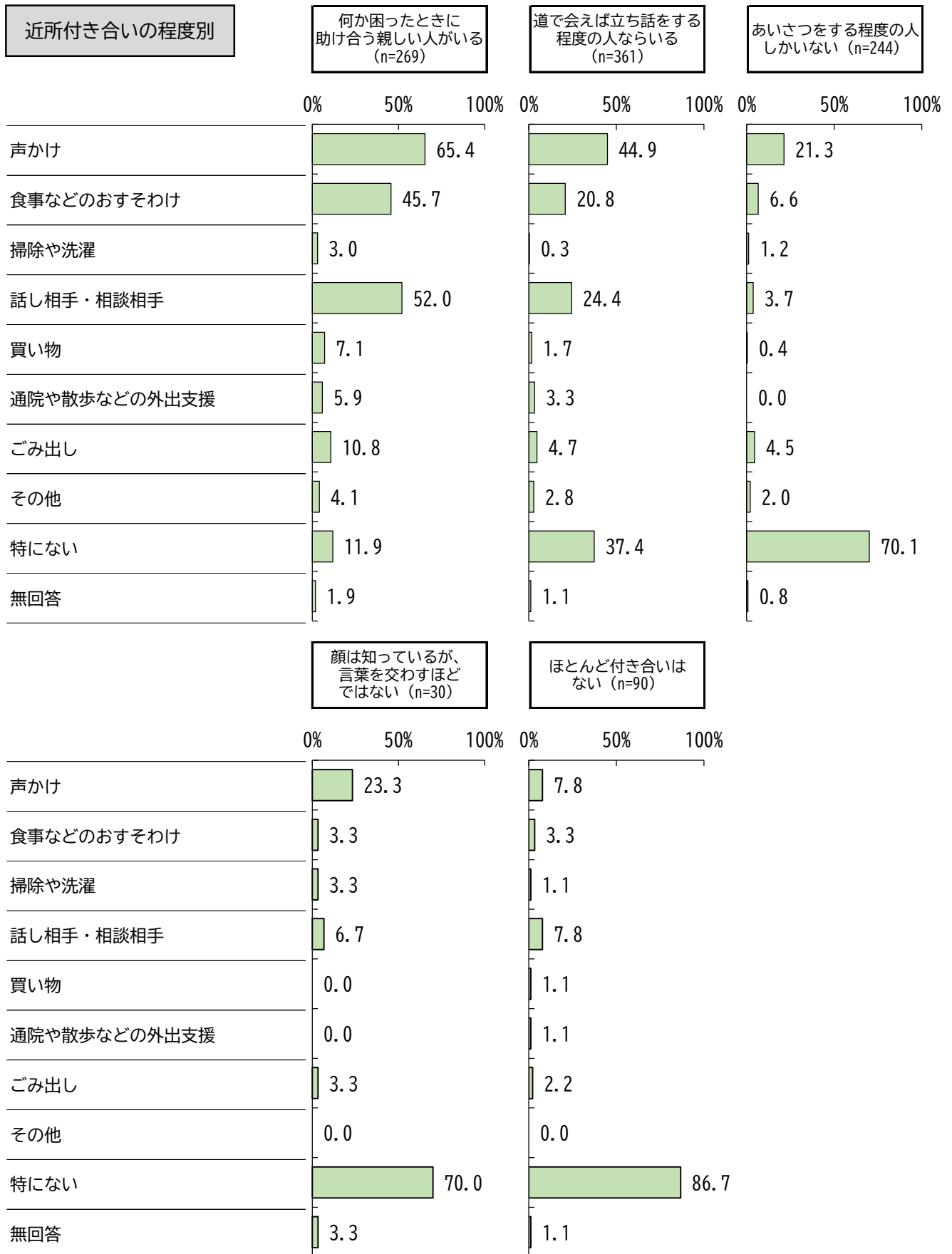
	声かけ	食事などのおすそわけ	掃除や洗濯	話し相手・相談相手	買い物	通院や散歩などの外出支援	ごみ出し	その他	特にない	無回答
20代(n=57)	17.5	14.0	0.0	19.3	0.0	0.0	5.3	0.0	68.4	0.0
30代(n=114)	28.9	14.9	0.0	16.7	2.6	2.6	1.8	1.8	60.5	0.0
40代(n=170)	30.6	18.2	1.8	17.6	2.4	2.9	3.5	2.4	55.3	1.8
50代(n=199)	36.7	20.6	1.5	28.1	3.0	3.5	6.5	4.5	45.2	1.0
60代(n=192)	47.9	26.6	1.0	18.8	3.1	1.0	6.8	1.6	37.5	1.6
70代(n=263)	54.8	26.6	2.3	35.7	3.0	4.6	8.7	3.0	28.1	1.9

1位

2位

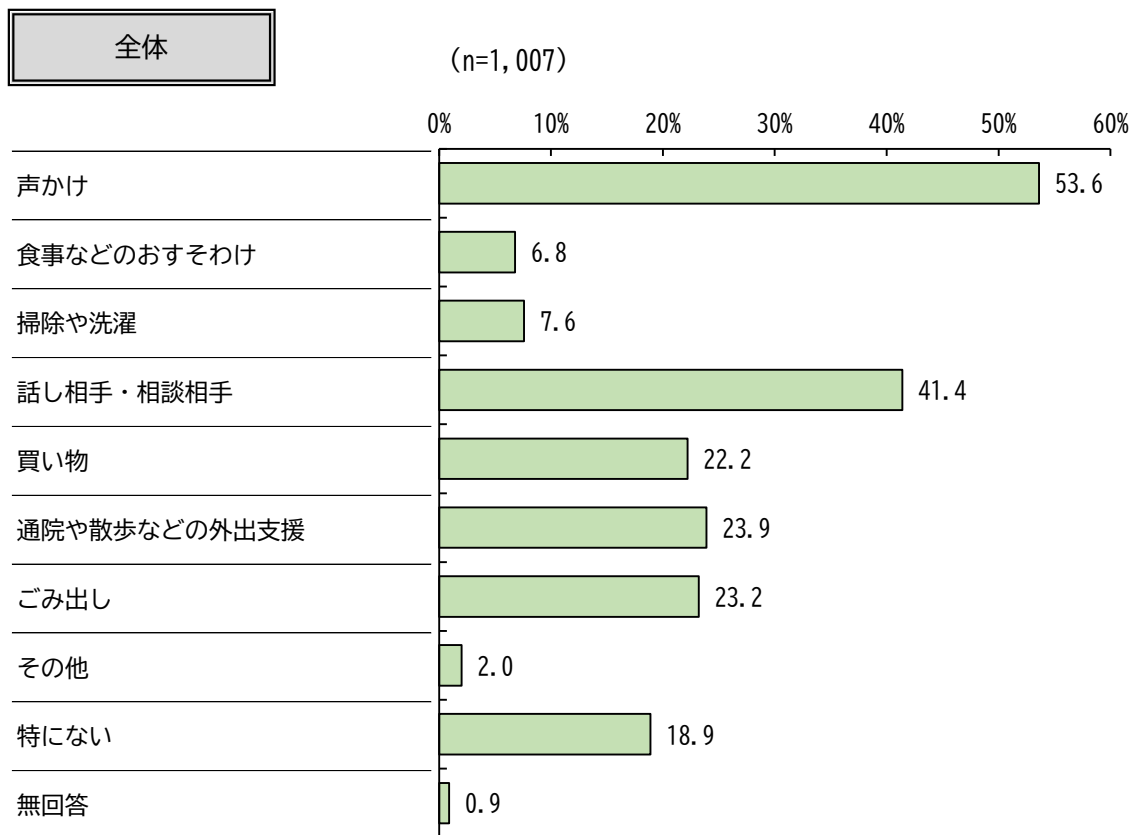
3位

年代別にみると、50代までは「特にない」が最も多く、60代以上は「声かけ」が最も多くなっている。



近所付き合いの程度別にみると、近所付き合いの程度が低くなるにつれて、「特にない」の割合が多くなっている。

問5 あなたやあなたの家族が高齢になったり、病気や事故などで日常生活が不自由となったりしたとき、地域で何をしてほしいですか。(〇はいくつでも)



自身や家族が高齢化、病気や事故などで日常生活が不自由となった時、地域に求めることでは、「声かけ」53.6%が最も多く、以下「話し相手・相談相手」41.4%、「通院や散歩などの外出支援」23.9%などとなっている。

年代別

単位：%

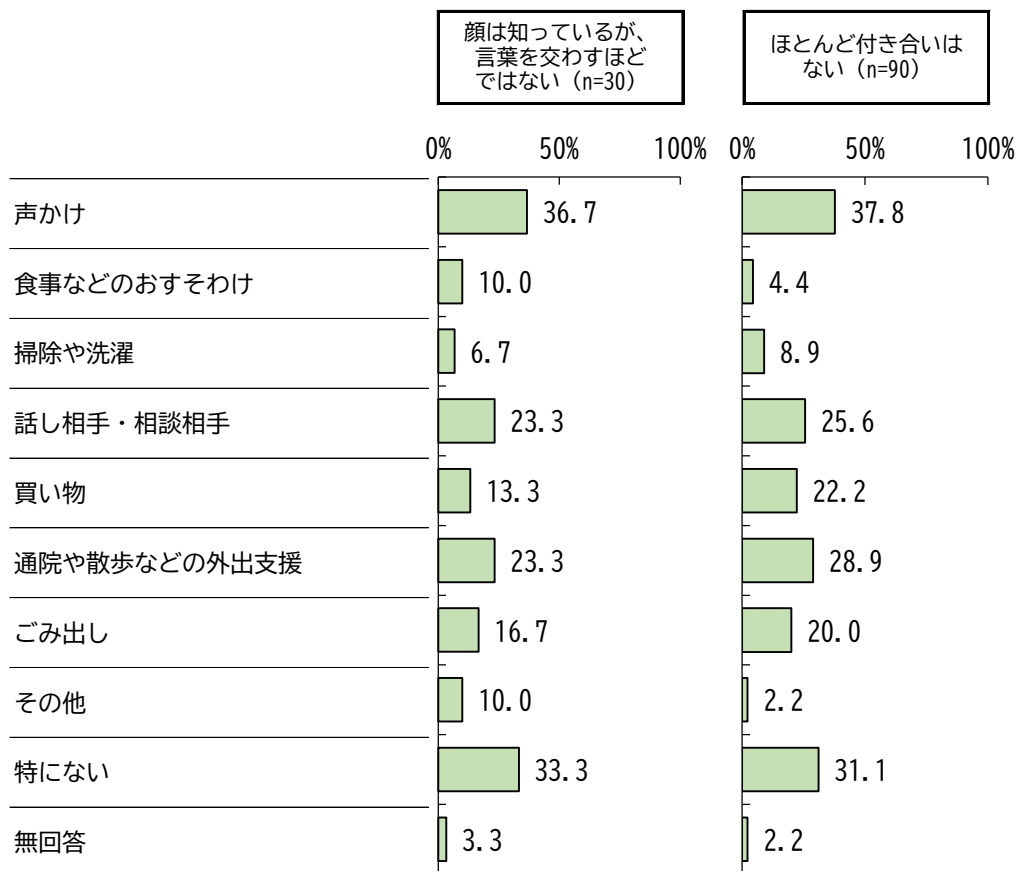
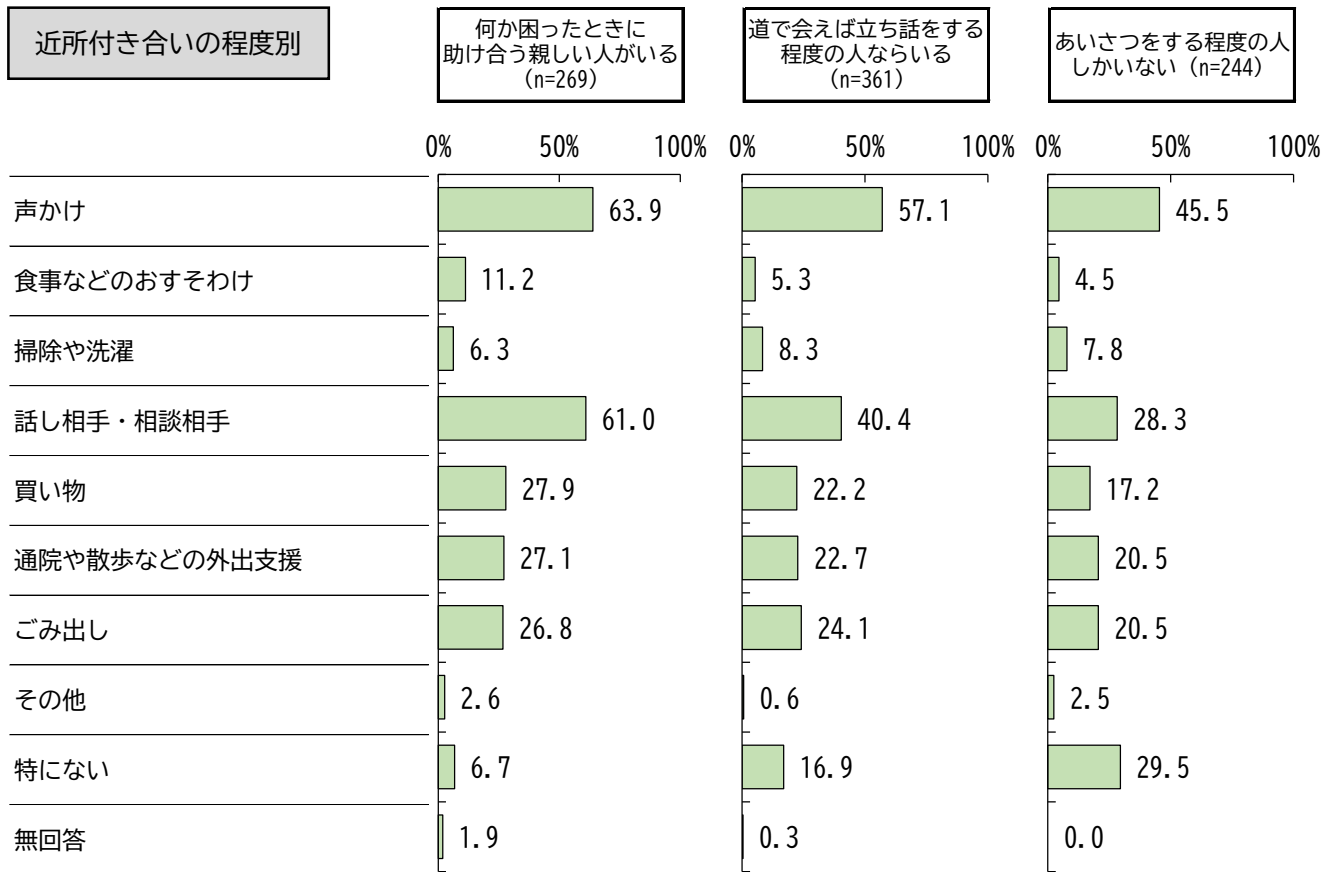
	声かけ	食事などのおすそわけ	掃除や洗濯	話し相手・相談相手	買い物	通院や散歩などの外出支援	ごみ出し	その他	特にない	無回答
20代(n=57)	49.1	8.8	3.5	42.1	19.3	26.3	15.8	0.0	24.6	0.0
30代(n=114)	50.9	10.5	13.2	38.6	23.7	29.8	22.8	1.8	21.1	0.9
40代(n=170)	50.0	5.9	10.0	37.6	27.1	23.5	23.5	2.4	19.4	1.2
50代(n=199)	54.8	5.0	4.0	44.2	18.6	26.6	18.6	2.5	18.1	0.5
60代(n=192)	54.2	5.2	4.2	38.0	15.6	22.4	19.8	1.0	22.4	1.0
70代(n=263)	57.4	7.6	9.9	44.1	26.6	20.2	31.2	2.7	14.8	1.1

1位

2位

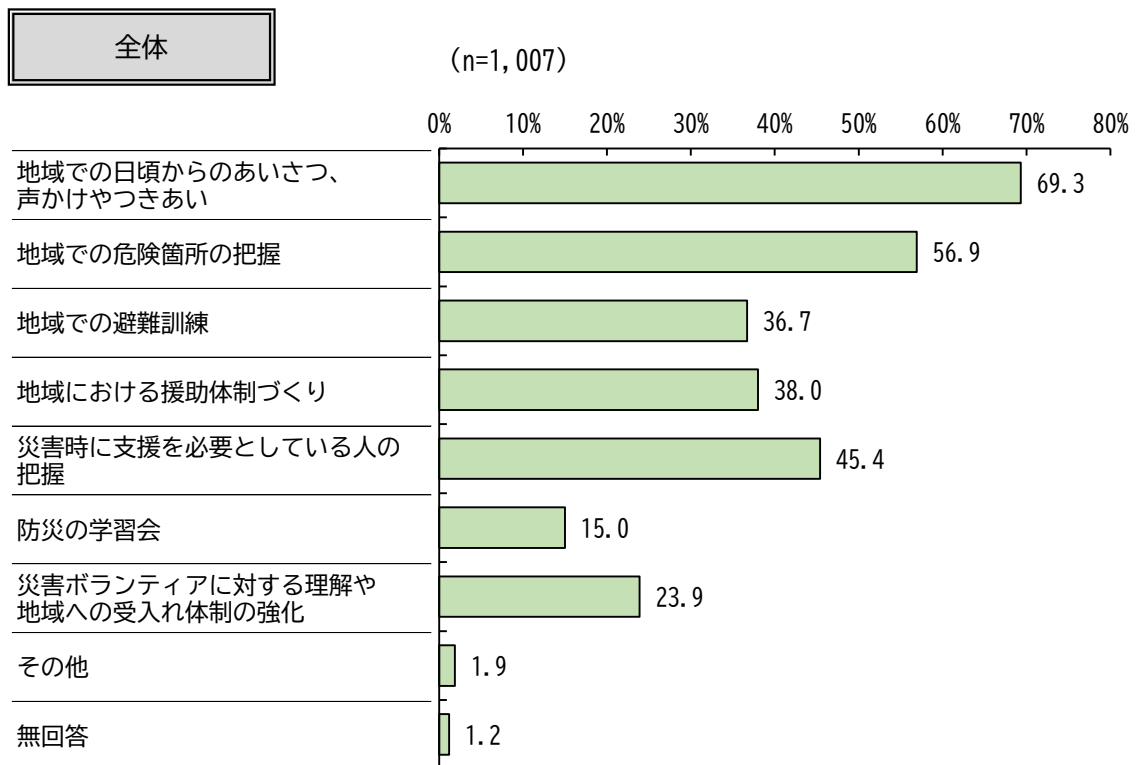
3位

年代別にみると、いずれの年代も「声かけ」が5割程度で最も多くなっている。



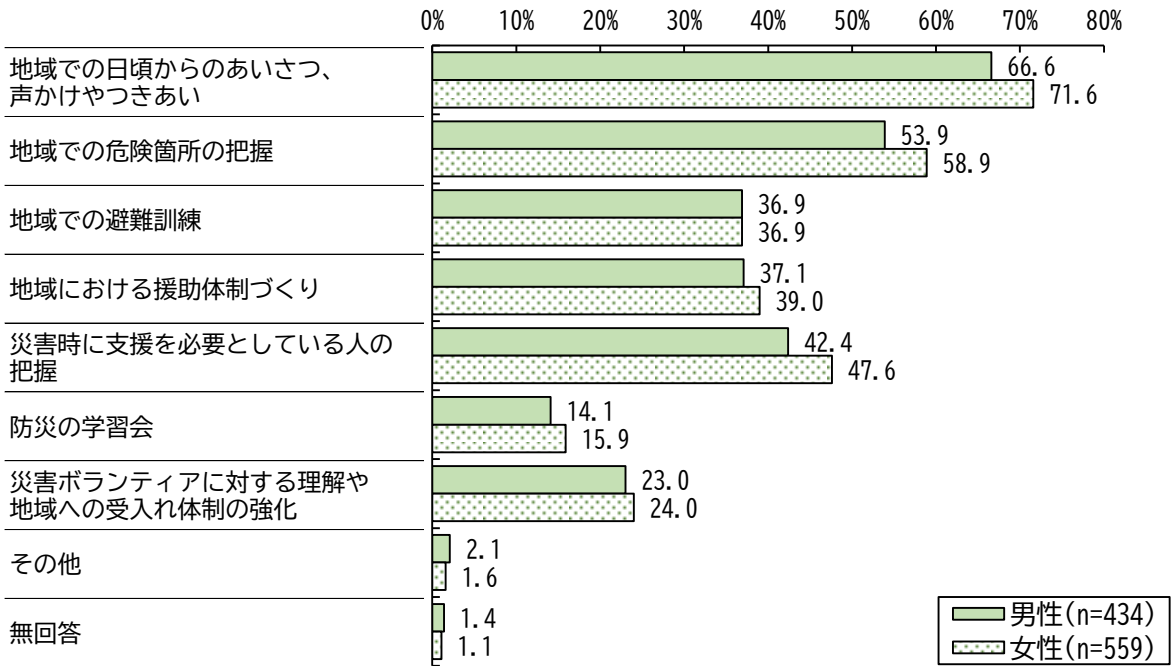
近所付き合いの程度別にみると、いずれも「声かけ」が最も多くなっている。

問6 地域における災害時の備えとして、重要だと思うことは何ですか。(〇はいくつでも)



地域における災害時の備えとして重要だと思うことでは、「地域での日頃からのあいさつ、声かけやつきあい」69.3%が最も多く、以下「地域での危険箇所の把握」56.9%、「災害時に支援を必要としている人の把握」45.4%などとなっている。

性別



性別にみると、男女ともに「地域での日頃からのあいさつ、声かけやつきあい」が最も高い割合となっている。

また、「地域での日頃からのあいさつ、声かけやつきあい」は男性が 66.6%、女性が 71.6%、「地域での危険箇所の把握」は男性が 53.9%、女性が 58.9%となっており、いずれも男性よりも女性のほうが 5.0 ポイント高くなっている。

年代別

単位：％

	つきあい 地域での日頃からのあいさつ、 声かけや	地域での危険箇所の把握	地域での避難訓練	地域における援助体制づくり	災害時に支援を必要としている人の把握	防災の学習会	災害ボランティアに対する理解や地域への 受入れ体制の強化	その他	無回答
20代(n=57)	36.8	63.2	38.6	50.9	54.4	10.5	22.8	1.8	0.0
30代(n=114)	57.9	65.8	28.1	38.6	45.6	11.4	27.2	0.9	0.0
40代(n=170)	58.8	55.9	34.7	40.0	40.0	17.6	27.1	2.9	2.4
50代(n=199)	71.9	54.3	34.7	33.7	48.7	16.6	25.6	2.5	0.5
60代(n=192)	75.5	60.4	37.5	41.1	45.3	14.1	18.8	0.5	0.5
70代(n=263)	81.4	51.0	42.6	35.0	44.1	15.6	22.1	2.3	2.3

1位

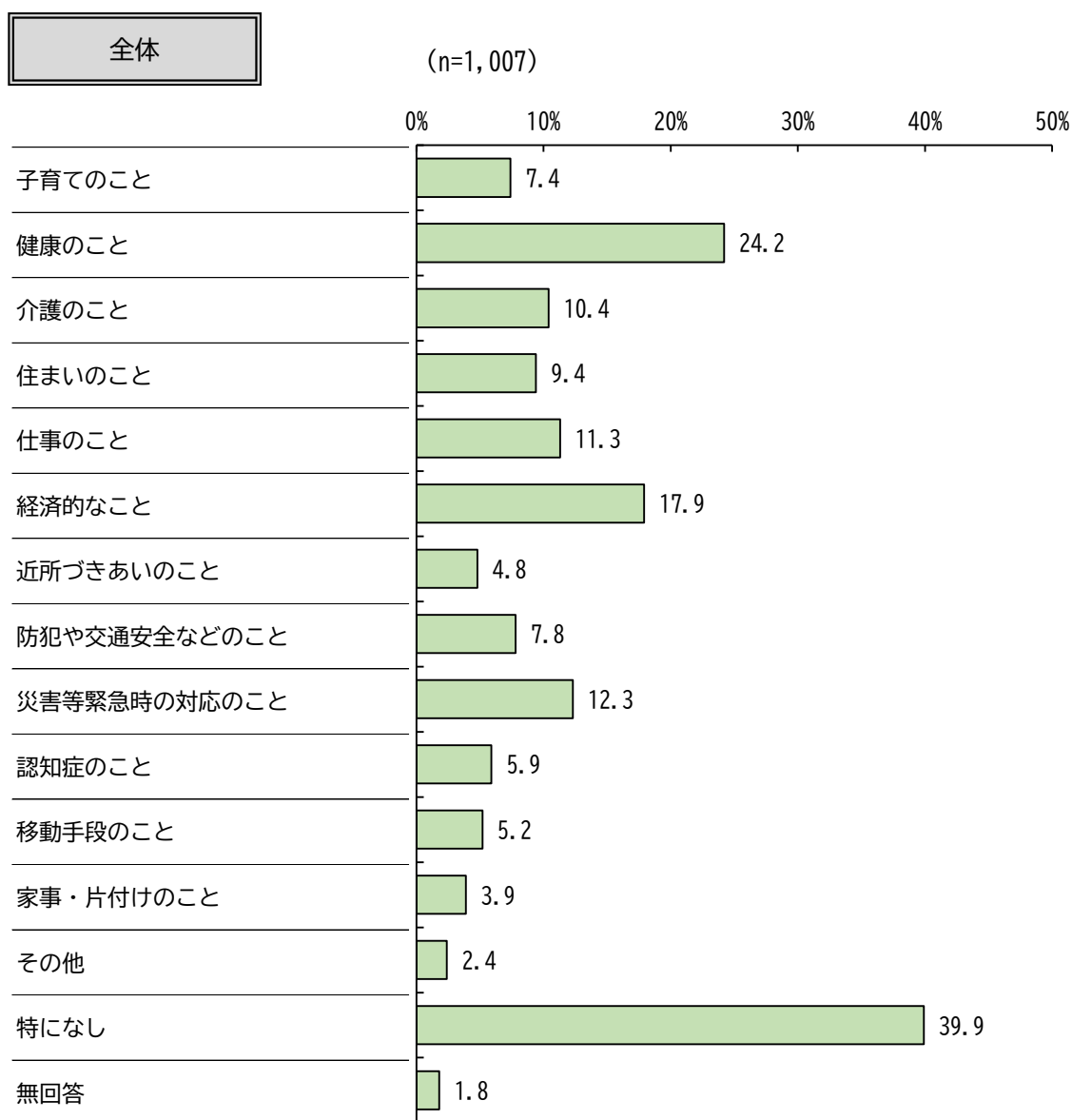
2位

3位

年代別にみると、30代までは「地域での危険箇所の把握」が最も多く、40代以上は「地域での日頃からのあいさつ、声かけやつきあい」が最も多くなっている。

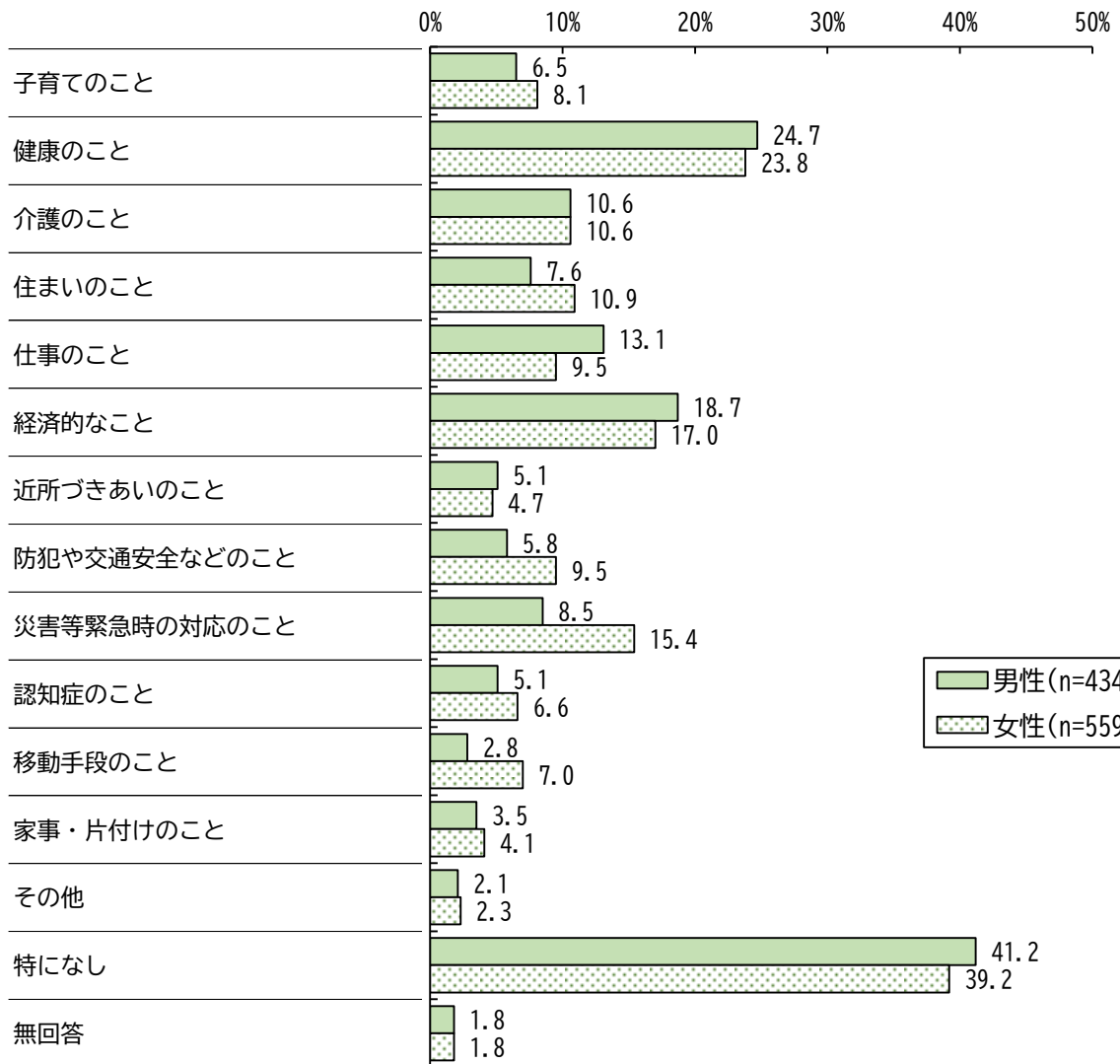
(4) 困りごとに関する相談について

問7 日々の生活で困っていること、悩みはなんですか。(〇はいくつでも)



日々の生活で困っていることや悩みでは、「健康のこと」24.2%が最も多く、以下「経済的なこと」17.9%、「災害等緊急時の対応のこと」12.3%などとなっている。また、「特になし」が39.9%となっている。

性別



性別にみると、男女ともに「特になし」が最も高い割合となっている。
 また、「災害等緊急時の対応のこと」は男性が 8.5%、女性が 15.4%となっており、男性よりも女性のほうが 6.9 ポイント高くなっている。

年代別

単位：%

	子育てのこと	健康のこと	介護のこと	住まいのこと	仕事のこと	経済的なこと	近所づきあいのこと	防犯や交通安全などのこと	災害等緊急時の対応のこと	認知症のこと	移動手段のこと	家事・片付けのこと	その他	特になし	無回答
20代(n=57)	3.5	17.5	0.0	8.8	24.6	26.3	5.3	5.3	5.3	1.8	8.8	1.8	3.5	42.1	0.0
30代(n=114)	23.7	21.1	7.9	15.8	24.6	23.7	5.3	11.4	13.2	6.1	7.0	4.4	2.6	31.6	0.9
40代(n=170)	18.8	18.2	13.5	10.0	14.1	24.1	5.9	11.2	10.6	4.1	5.3	7.6	2.9	34.1	1.2
50代(n=199)	6.0	24.6	13.1	13.6	15.1	17.6	4.5	7.5	7.5	4.5	4.0	3.5	3.5	39.2	2.0
60代(n=192)	0.5	25.0	10.9	8.3	3.6	12.0	3.6	6.3	14.6	5.2	3.6	1.0	2.6	43.2	1.6
70代(n=263)	0.0	30.0	9.9	4.6	3.0	13.7	4.9	6.1	16.7	9.5	5.3	3.8	0.4	45.6	3.0

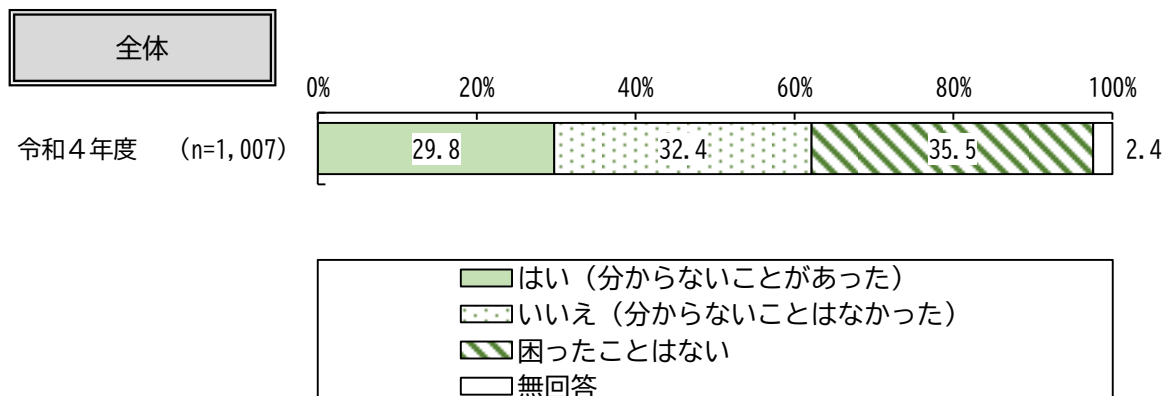
1位

2位

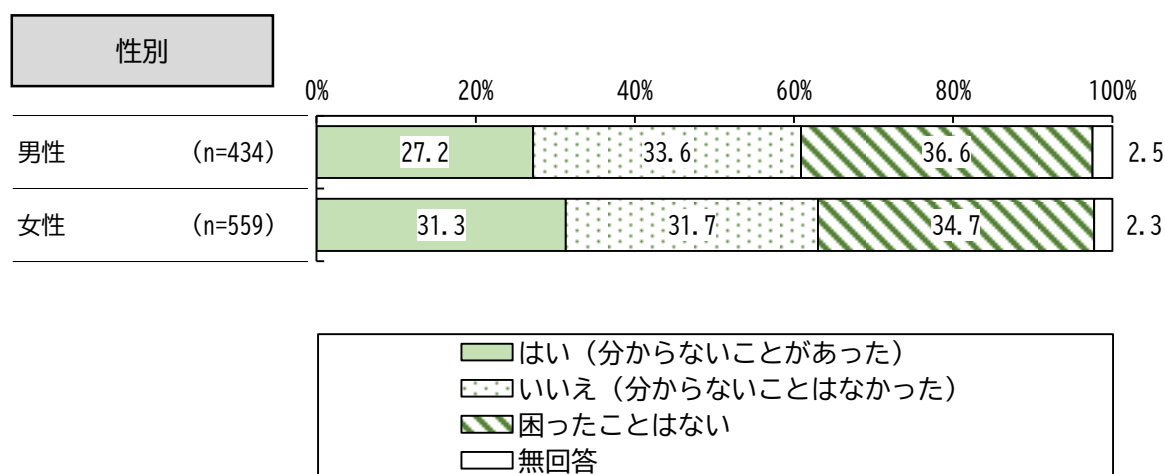
3位

年代別にみると、いずれの年代も「特になし」が3割から4割程度で最も多くなっている。

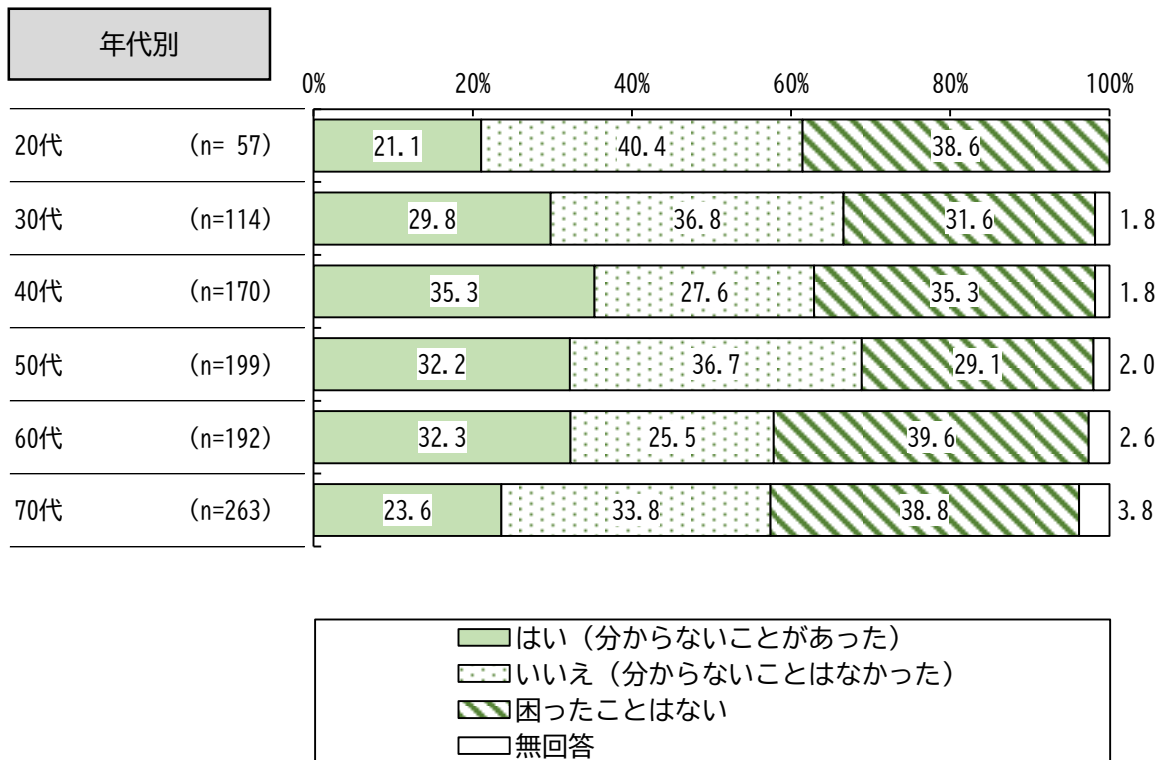
問8 あなたが日々の生活で困った時に、どこに相談すればいいかわからないことがありましたか。(〇は1つ)



日々の生活で困った時に、どこに相談すればいいかわからないことがあったかでは、「はい(分らないことがあった)」29.8%、「いいえ(分らないことはなかった)」32.4%、「困ったことはない」35.5%となっている。



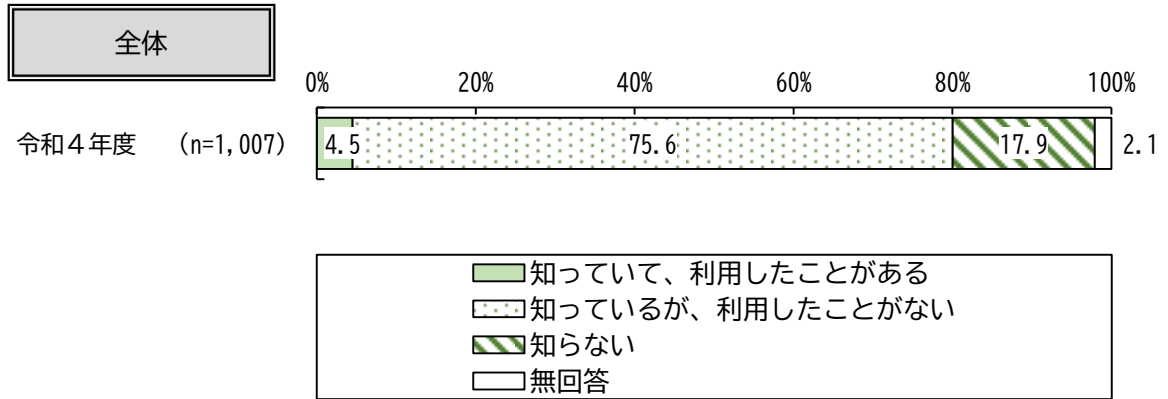
性別にみると、男女ともに「困ったことはない」が最も高い割合となっている。



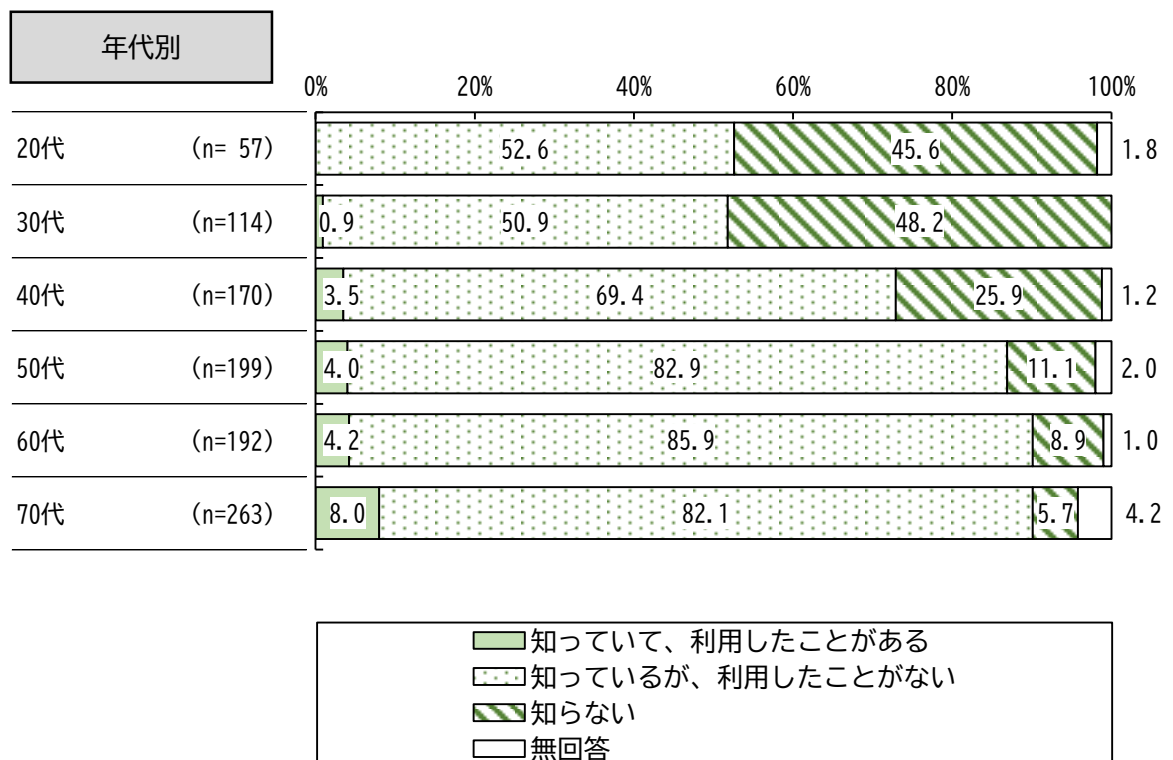
年代別にみると、「はい(分からないことがあった)」は 40 代で 35.3%と多くなっている。

問9 困った時の相談先として、以下の機関、団体等で知っているものはありますか。
 (○は項目ごとに1つずつ)

1. 民生委員・児童委員

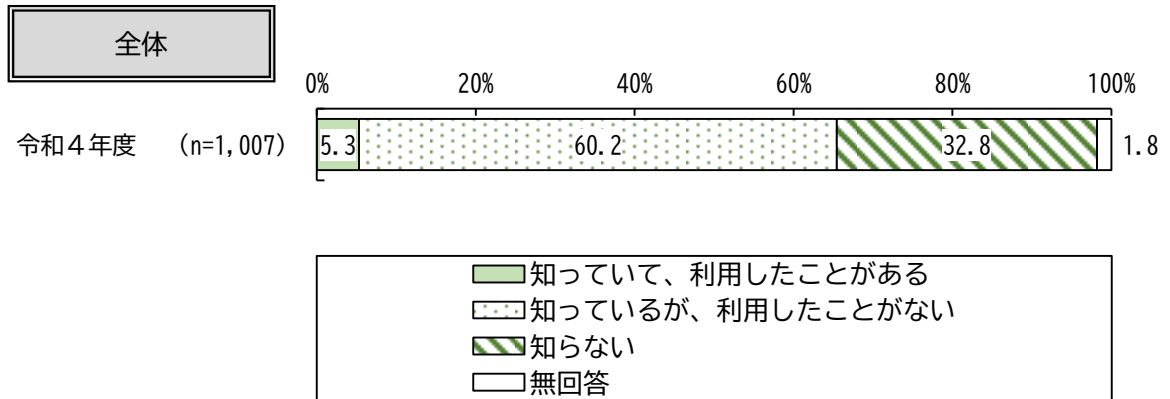


民生委員・児童委員では、「知っている、利用したことがある」4.5%、「知っているが、利用したことがない」75.6%、「知らない」17.9%となっている。

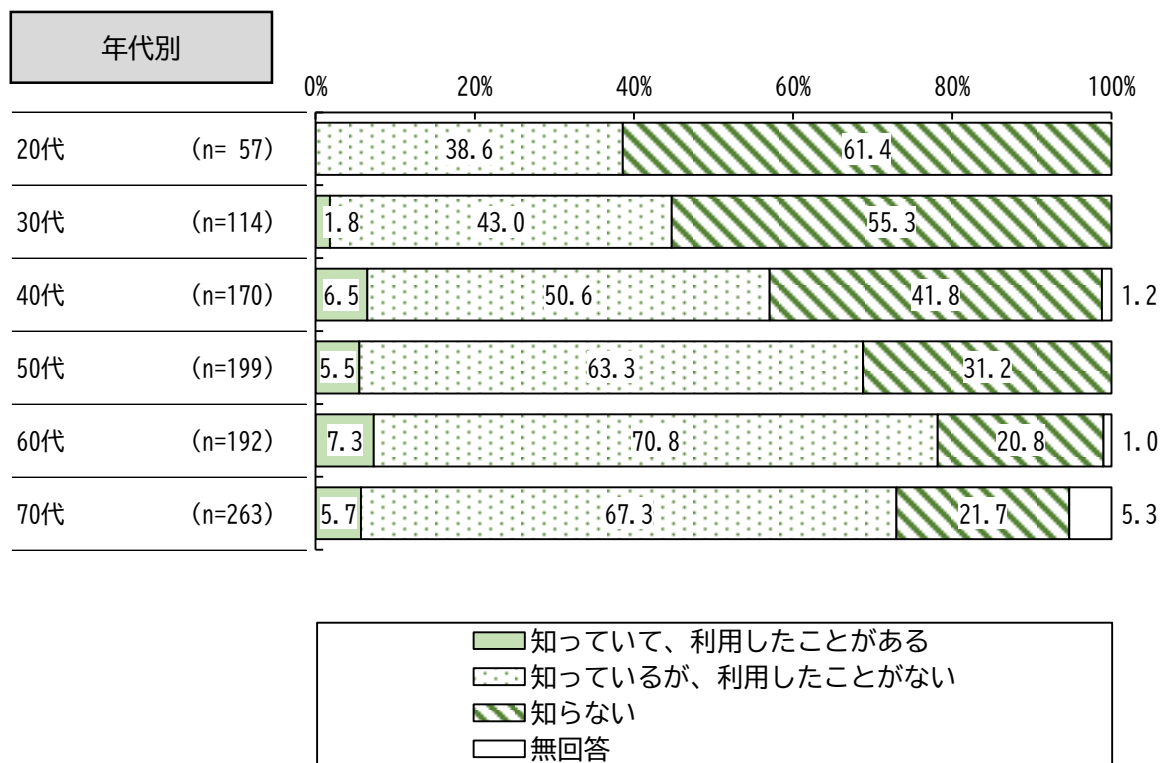


年代別にみると、「知らない」は20代と30代で4割を超えて多くなっている。

2. (福)浜松市社会福祉協議会

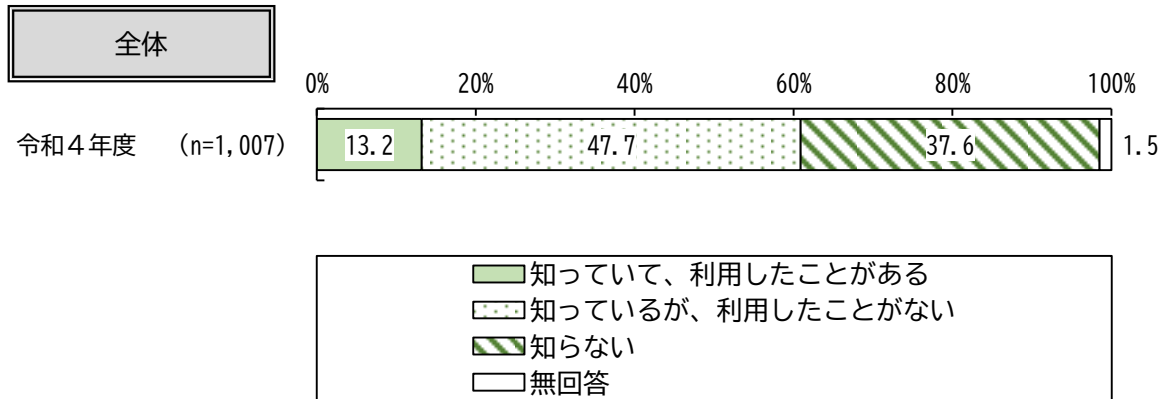


(福)浜松市社会福祉協議会では、「知っている、利用したことがある」5.3%、「知っているが、利用したことがない」60.2%、「知らない」32.8%となっている。

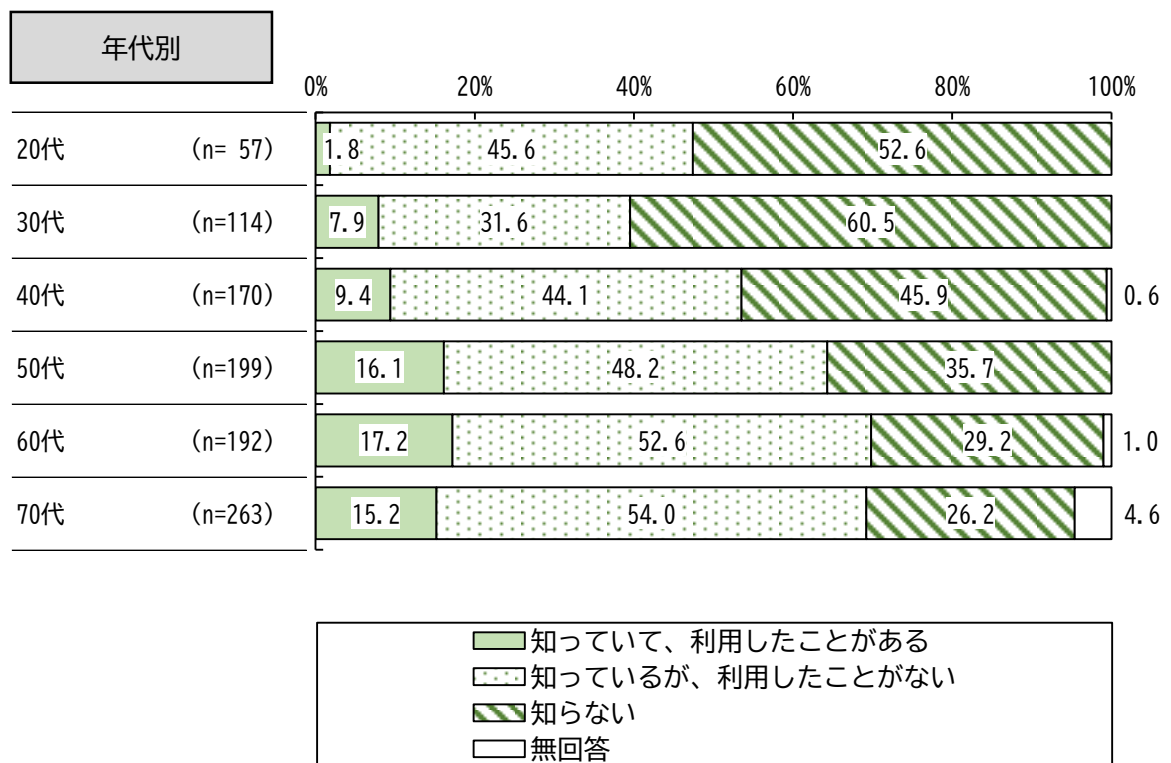


年代別にみると、「知らない」は 20 代から 60 代まで年齢が上がるにつれて少なくなっている。

3. 地域包括支援センター(高齢者相談センター)

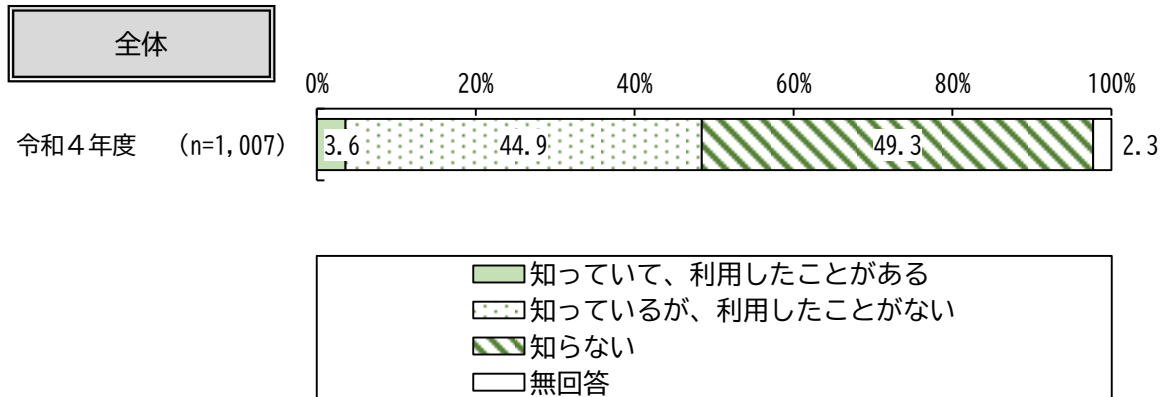


地域包括支援センター(高齢者相談センター)では、「知っている、利用したことがある」13.2%、「知っているが、利用したことがない」47.7%、「知らない」37.6%となっている。

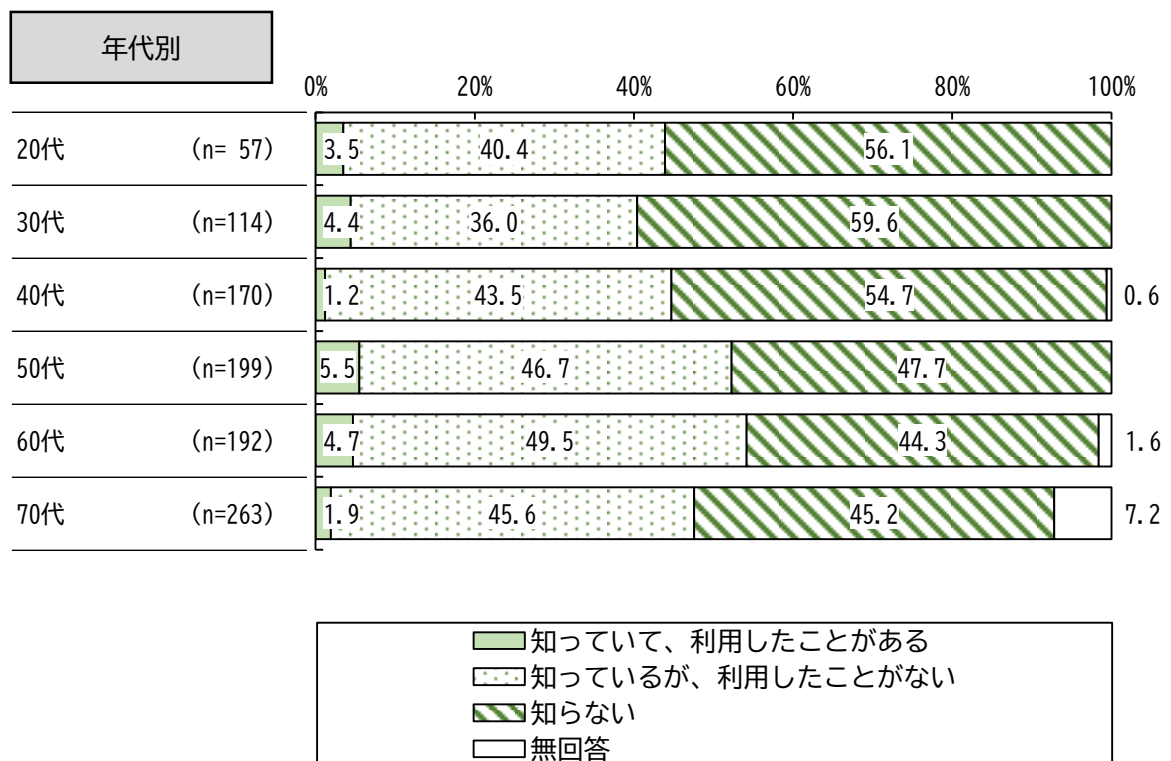


年代別にみると、「知らない」は30代から70代まで年齢が上がるにつれて少なくなっている。

4. 障がい者相談支援センター

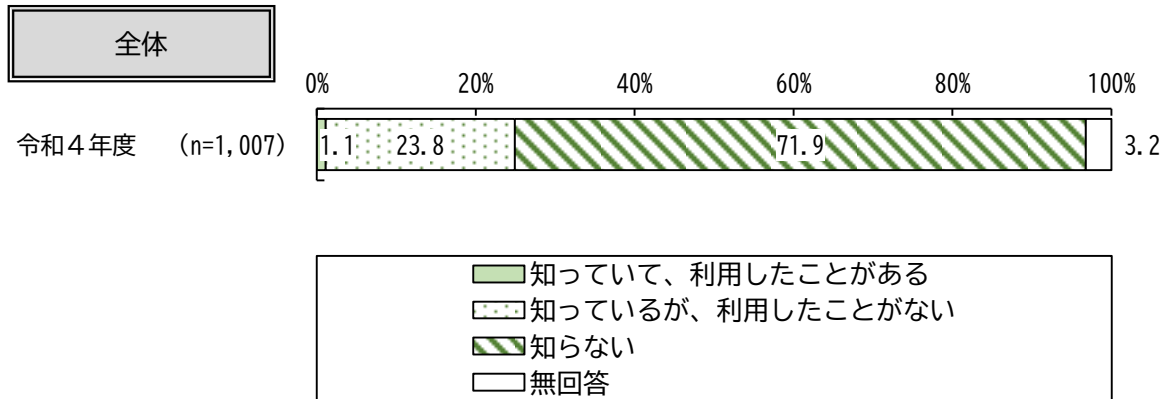


障がい者相談支援センターでは、「知っている、利用したことがある」3.6%、「知っているが、利用したことがない」44.9%、「知らない」49.3%となっている。

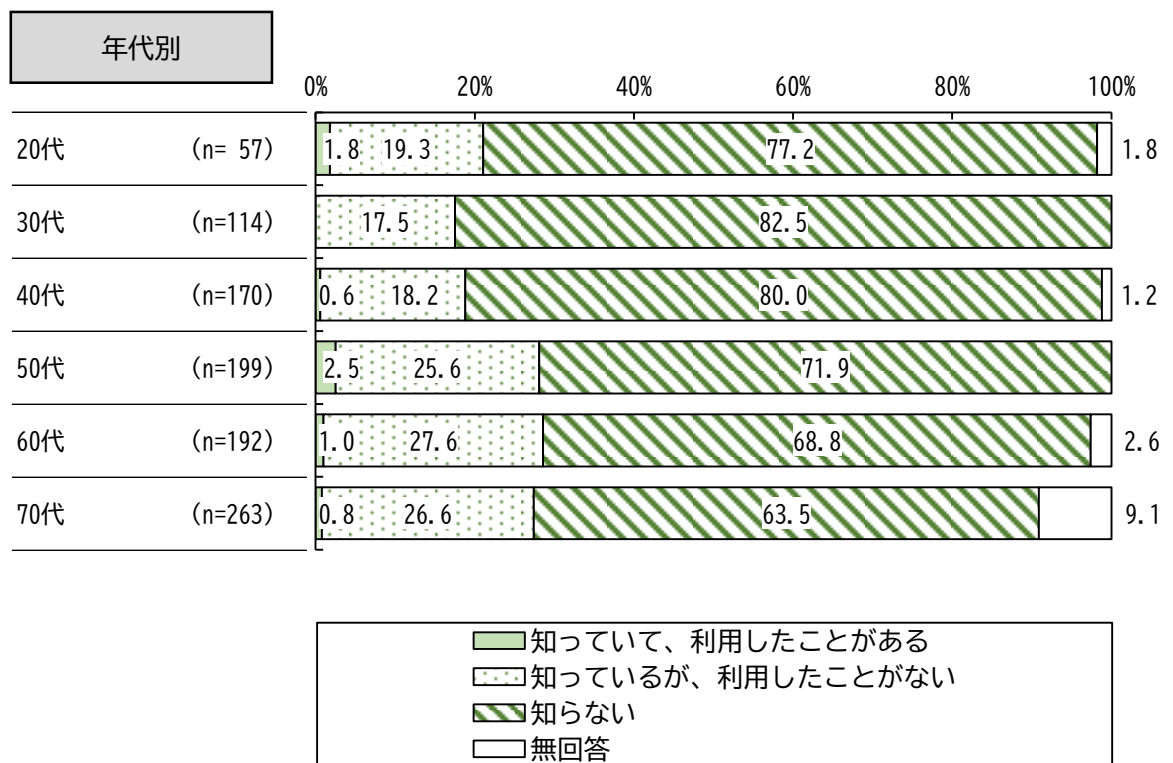


年代別にみると、60代と70代では「知っているが、利用したことがない」が最も多くなっている。

5. 生活自立相談支援センターつながり

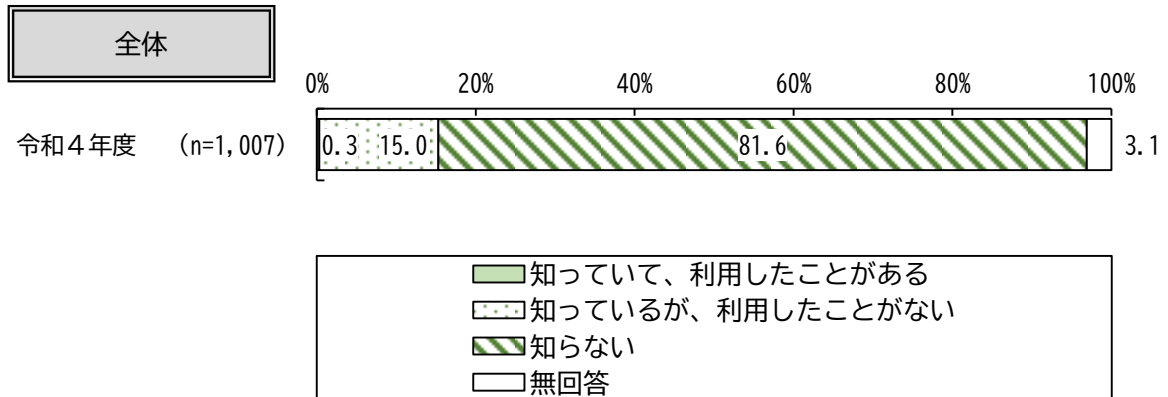


生活自立相談支援センターつながりでは、「知っている、利用したことがある」1.1%、「知っているが、利用したことがない」23.8%、「知らない」71.9%となっている。

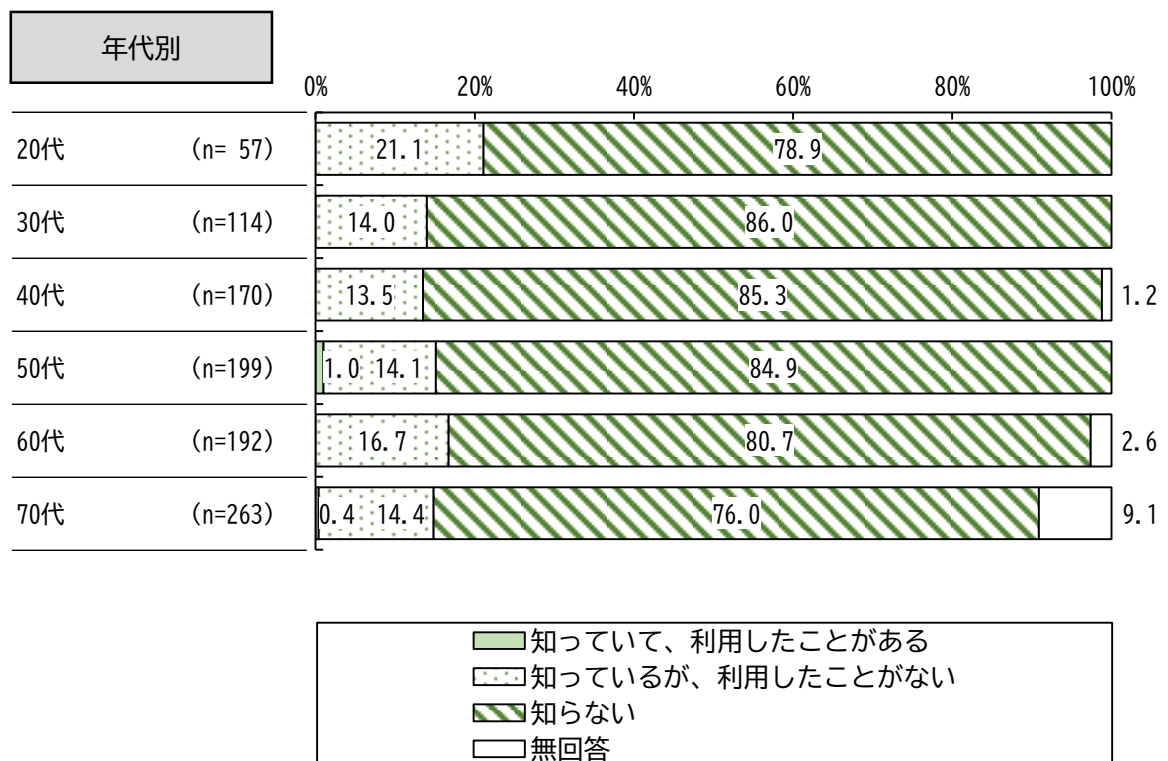


年代別にみると、いずれの年代も「知らない」が6割を超えて最も多くなっている。

6. 若者相談支援窓口「わかば」

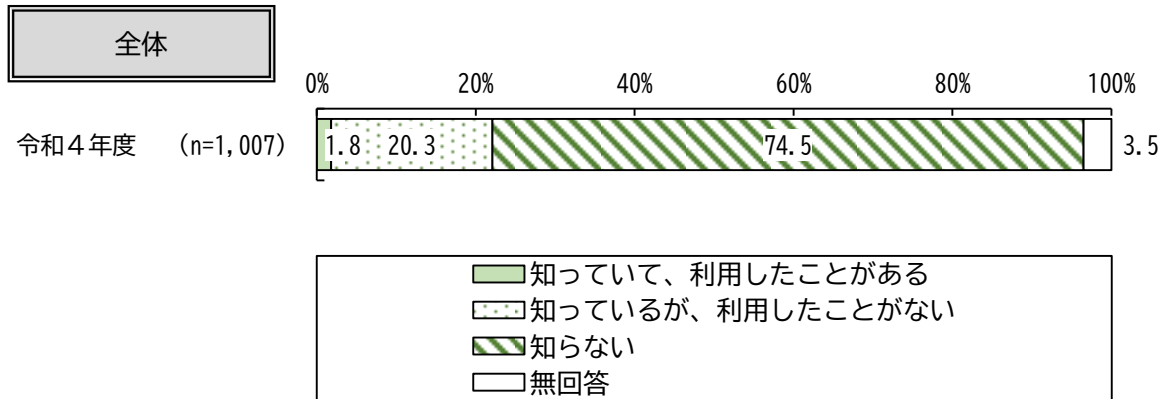


若者相談支援窓口「わかば」では、「知っている、利用したことがある」0.3%、「知っているが、利用したことがない」15.0%、「知らない」81.6%となっている。

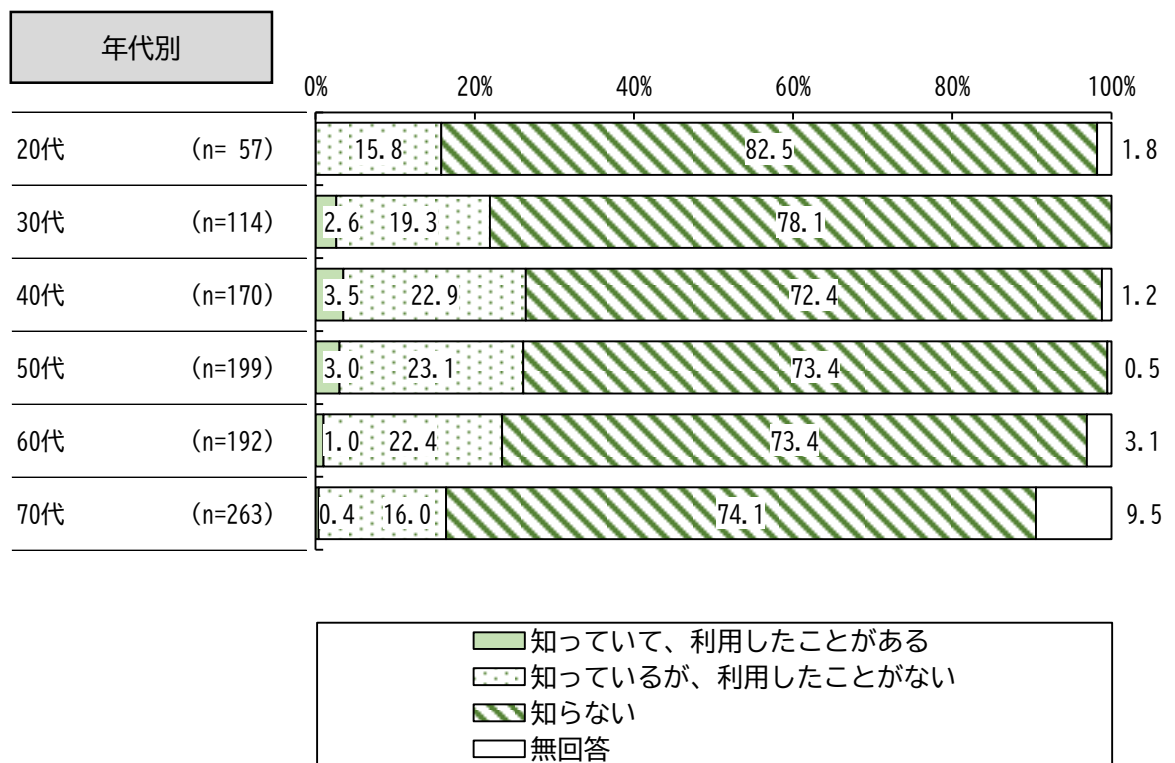


年代別にみると、いずれの年代も「知らない」が7割を超えて最も多くなっている。

7. 発達相談支援センタールピロ

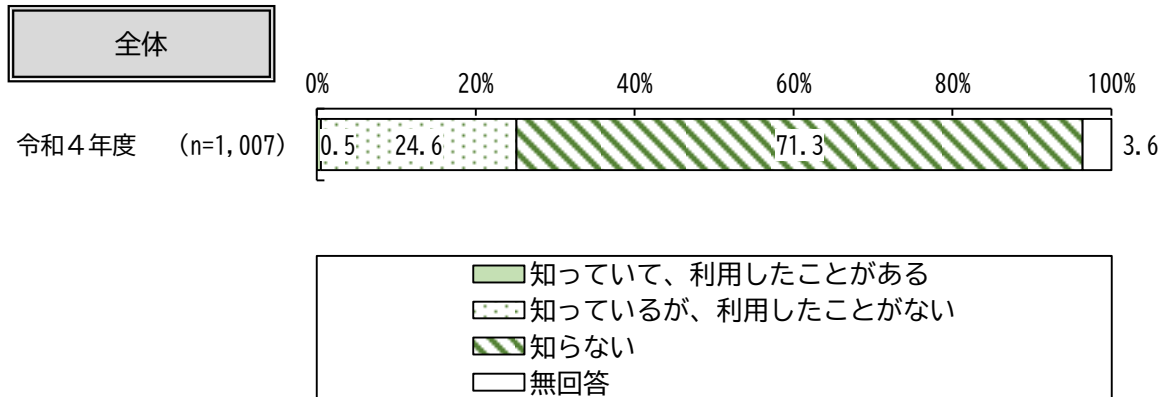


発達相談支援センタールピロでは、「知っている、利用したことがある」1.8%、「知っているが、利用したことがない」20.3%、「知らない」74.5%となっている。

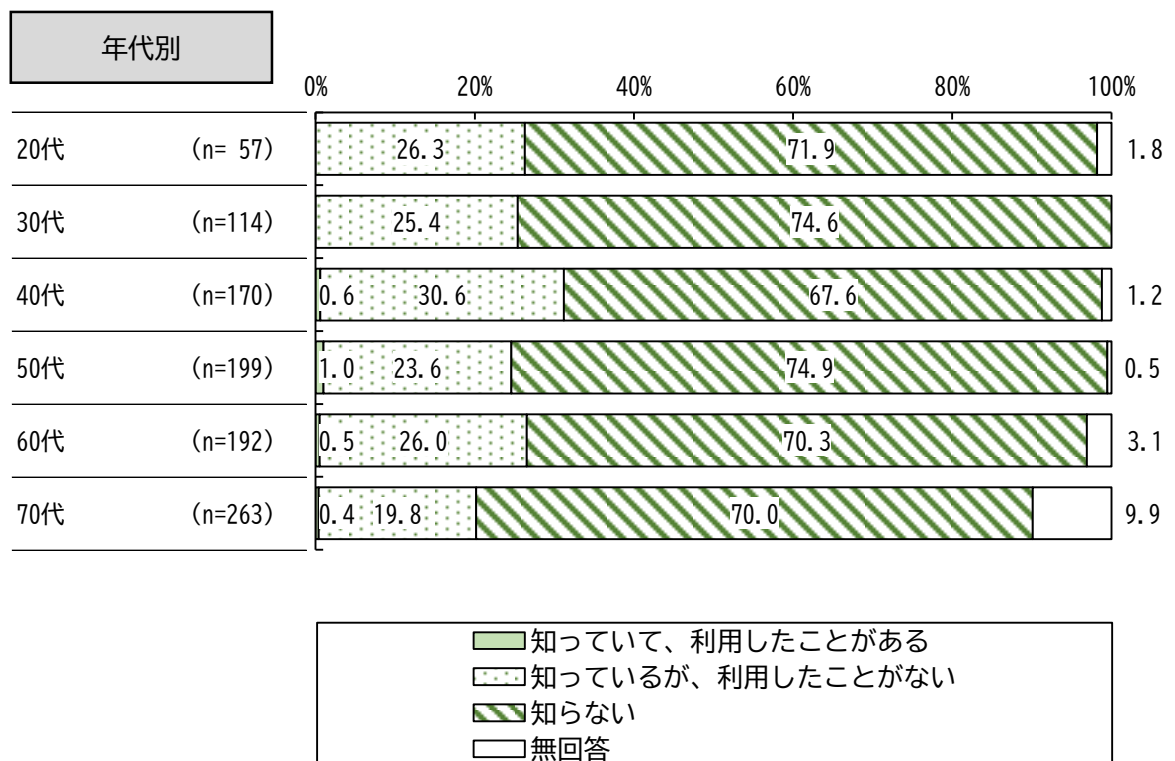


年代別にみると、いずれの年代も「知らない」が7割を超えて最も多くなっている。

8. 児童家庭支援センター

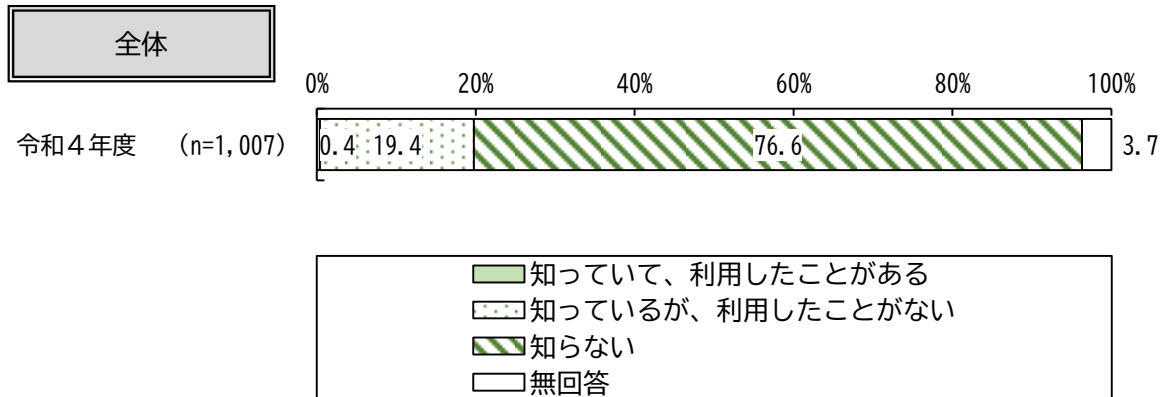


児童家庭支援センターでは、「知っている、利用したことがある」0.5%、「知っているが、利用したことがない」24.6%、「知らない」71.3%となっている。

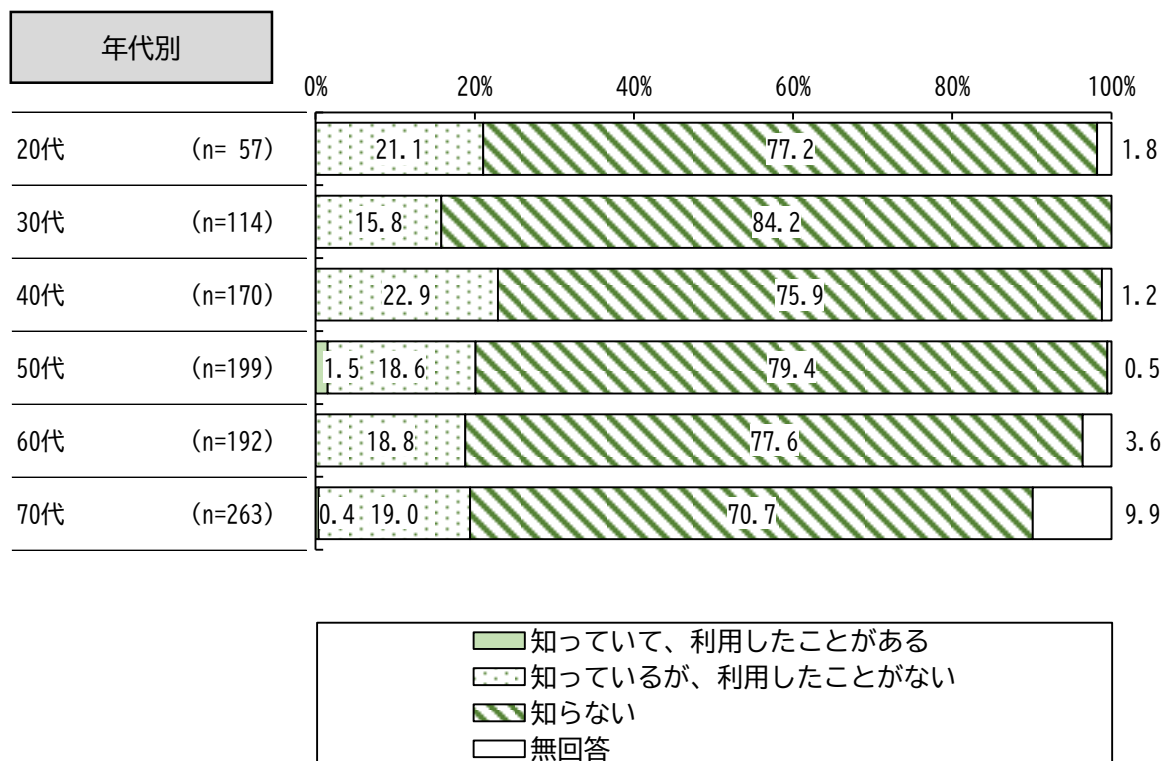


年代別にみると、いずれの年代も「知らない」が約7割で最も多くなっている。

9. 教育総合支援センター



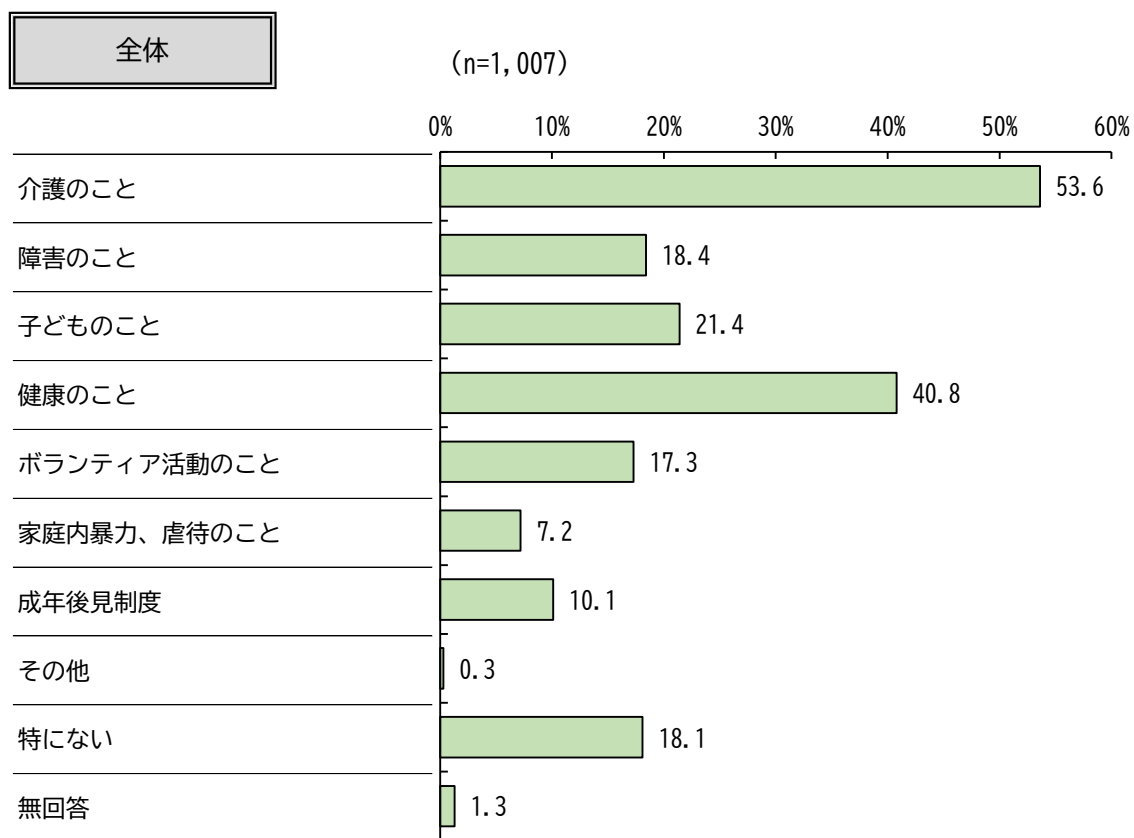
教育総合支援センターでは、「知っている、利用したことがある」0.4%、「知っているが、利用したことがない」19.4%、「知らない」76.6%となっている。



年代別にみると、いずれの年代も「知らない」が7割を超えて最も多くなっている。

(5) 福祉やボランティアへの関心について

問 10 福祉について関心を持っていることは、次のうちどれですか。(〇はいくつでも)



福祉について関心を持っていることでは、「介護のこと」53.6%が最も多く、以下「健康のこと」40.8%、「子どものこと」21.4%などとなっている。

年代別

単位：%

	介護のこと	障害のこと	子どものこと	健康のこと	ボランティア活動のこと	家庭内暴力、虐待のこと	成年後見制度	その他	特にない	無回答
20代(n=57)	40.4	33.3	29.8	35.1	12.3	15.8	10.5	0.0	17.5	1.8
30代(n=114)	36.8	19.3	57.0	40.4	14.9	14.0	9.6	0.9	14.0	0.0
40代(n=170)	51.8	19.4	41.8	23.5	20.0	10.0	10.6	0.0	19.4	1.2
50代(n=199)	55.8	21.1	15.1	37.2	16.6	7.0	14.1	0.0	20.6	2.0
60代(n=192)	58.3	16.7	9.4	42.7	16.7	3.6	8.3	0.5	18.2	1.0
70代(n=263)	59.3	12.5	4.9	54.0	18.6	3.8	8.7	0.4	17.5	1.5

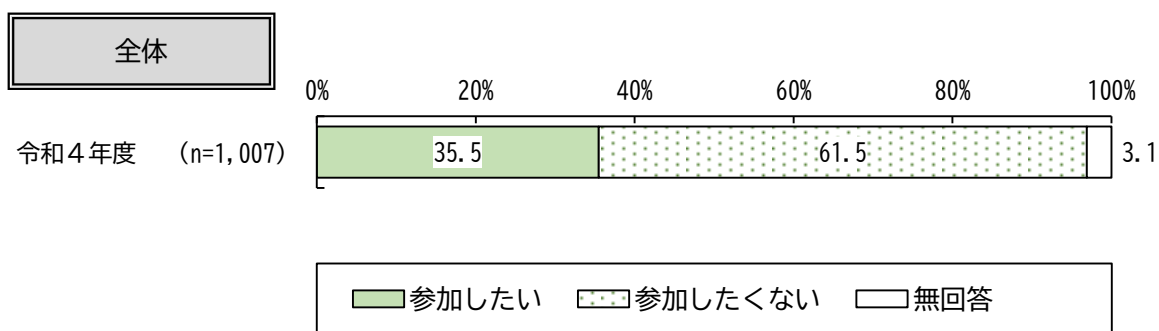
1位

2位

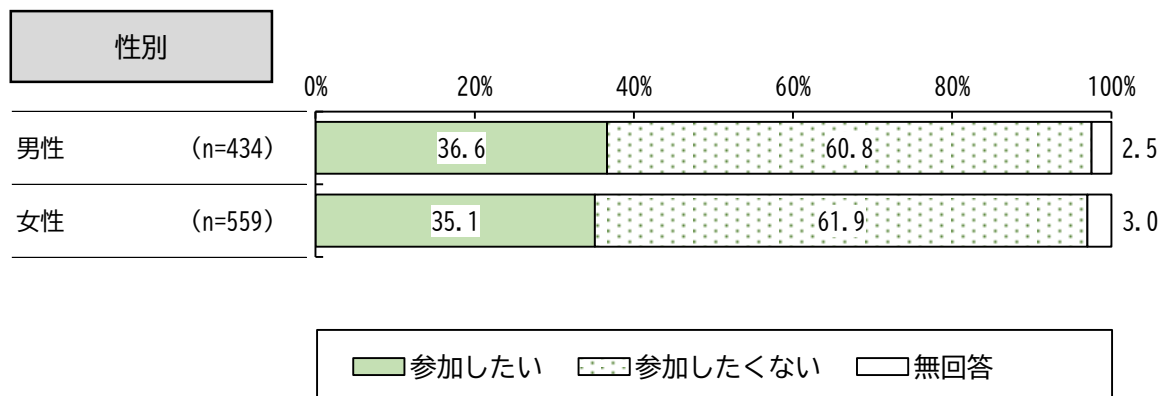
3位

年代別にみると、30代では「子どものこと」が57.0%と最も多くなっている。

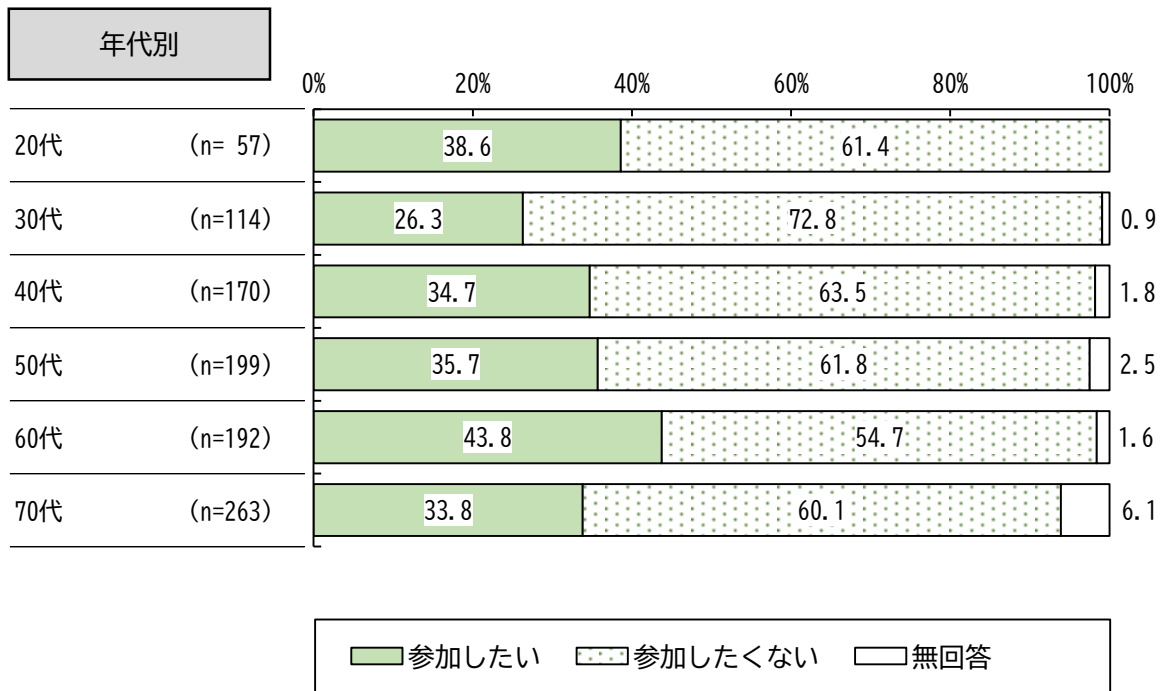
問 11 地域のボランティア活動に今後、参加したいと思いますか。(〇は1つ)



地域のボランティア活動へ今後の参加意向では、「参加したい」35.5%、「参加したくない」61.5%となっている。



性別にみると、男女ともに「参加したくない」のほうが「参加したい」よりも高い割合となっている。

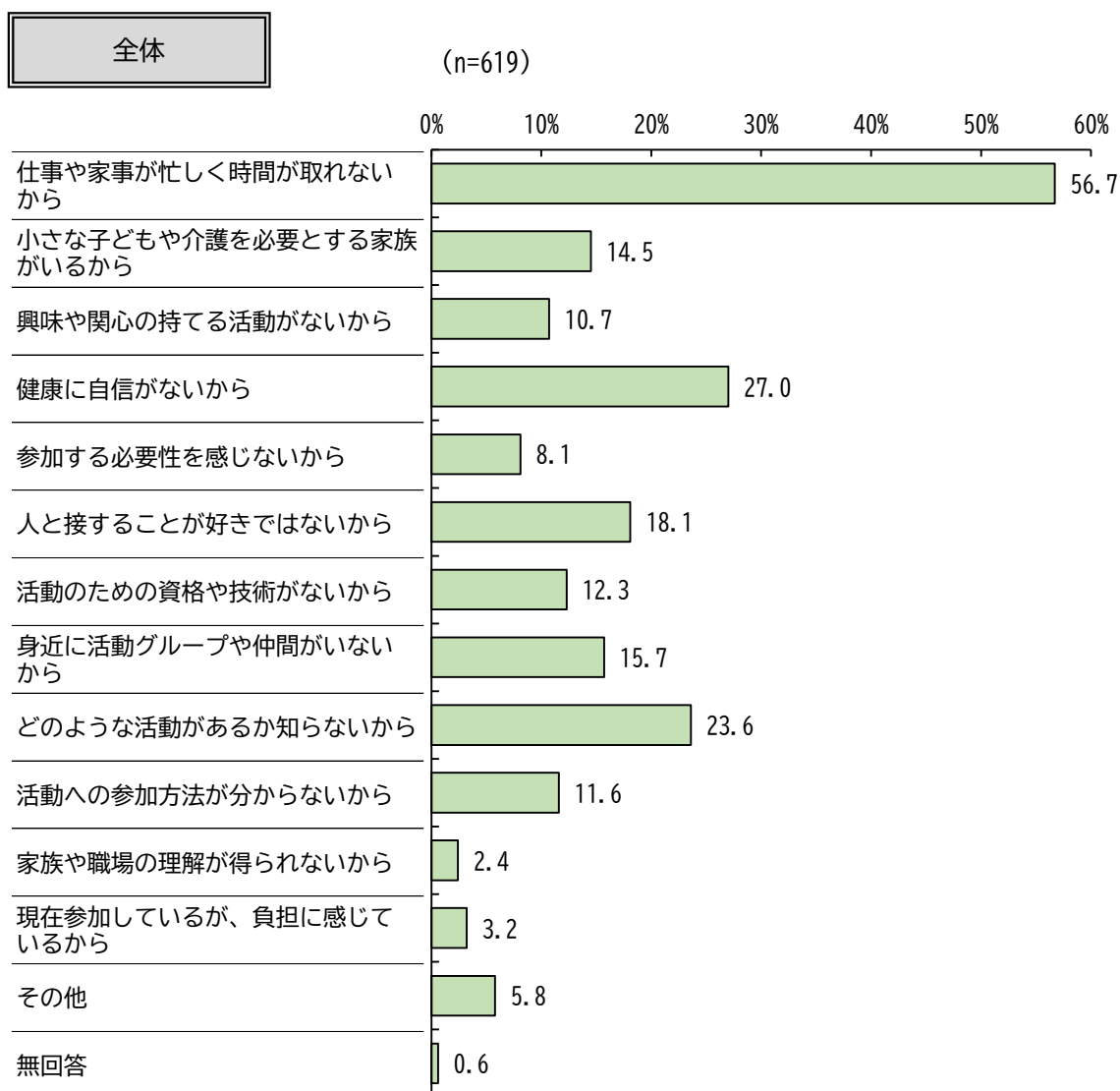


年代別にみると、「参加したい」は 30代で 26.3%と少なくなっている。

問 11 で「2. 参加したくない」と答えた方に伺います。

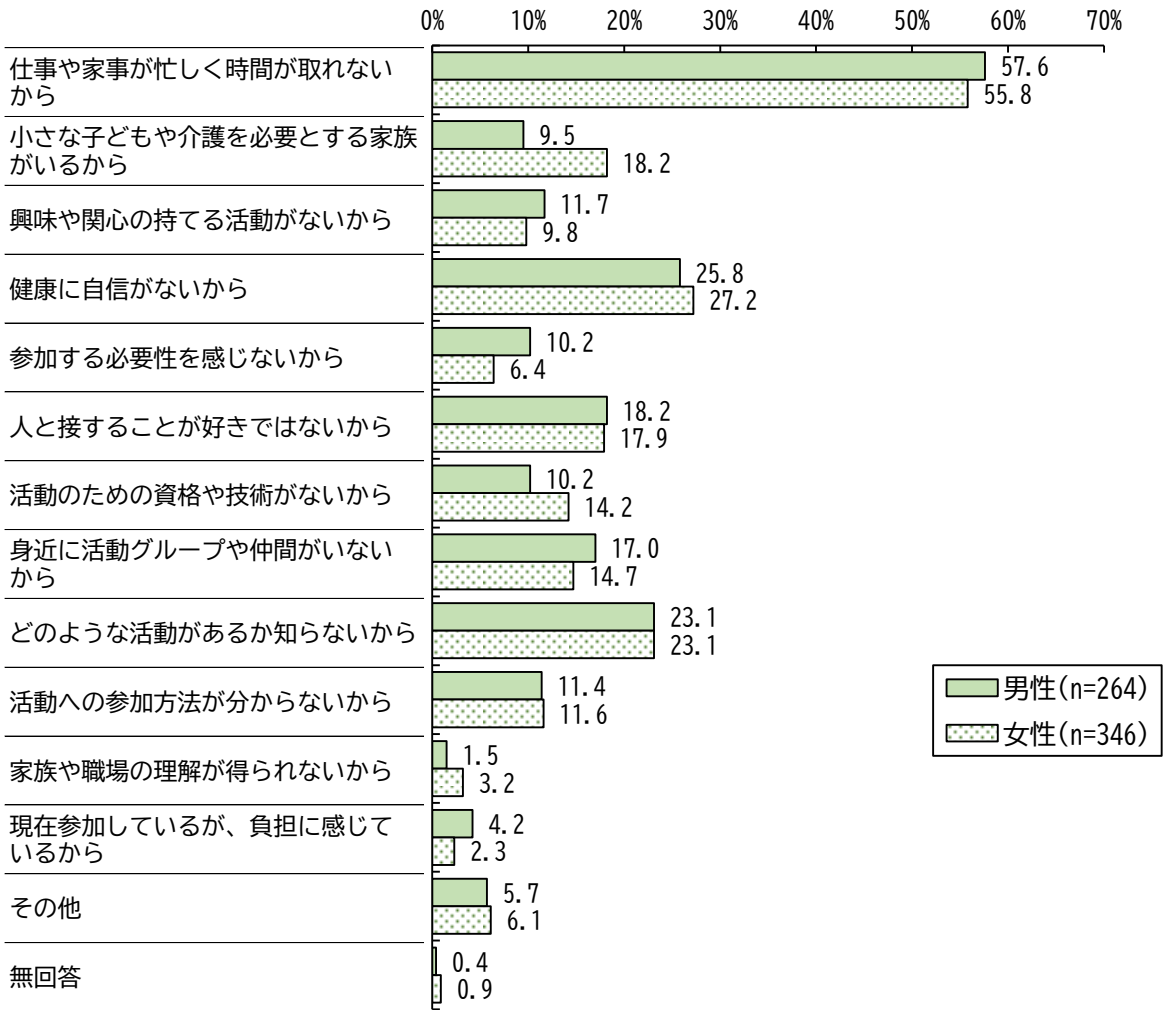
問 11-1 今後、ボランティア活動に参加したくない理由は、次のうちどれですか。

(〇はいくつでも)



今後ボランティア活動に参加したくない理由では、「仕事や家事が忙しく時間が取れないから」56.7%が最も多く、以下「健康に自信がないから」27.0%、「どのような活動があるか知らないから」23.6%などとなっている。

性別



性別にみると、男女ともに「仕事や家事が忙しく時間が取れないから」が最も高い割合となっている。

また、「小さな子どもや介護を必要とする家族がいるから」は男性が 9.5%、女性が 18.2%となっており、男性よりも女性のほうが 8.7 ポイント高くなっている。

年代別

単位：%

	仕事や家事が忙しく時間が取れないから	小さな子どもや介護を必要とする家族がいるから	興味や関心の持てる活動がないから	健康に自信がないから	参加する必要性を感じないから	人と接することが好きではないから	活動のための資格や技術がないから	身近に活動グループや仲間がないから	どのような活動があるか知らないから	活動への参加方法が分からないから	家族や職場の理解が得られないから	現在参加しているが、負担に感じているから	その他	無回答
20代(n=35)	68.6	0.0	25.7	5.7	11.4	22.9	0.0	17.1	37.1	20.0	0.0	0.0	5.7	0.0
30代(n=83)	74.7	37.3	18.1	10.8	16.9	21.7	3.6	24.1	30.1	13.3	1.2	3.6	0.0	1.2
40代(n=108)	71.3	17.6	9.3	10.2	5.6	19.4	7.4	10.2	19.4	12.0	3.7	9.3	5.6	0.0
50代(n=123)	70.7	9.8	11.4	21.1	5.7	18.7	8.9	15.4	26.0	13.0	4.1	1.6	4.1	1.6
60代(n=105)	53.3	16.2	6.7	34.3	5.7	16.2	16.2	17.1	21.0	10.5	1.0	1.0	6.7	0.0
70代(n=158)	25.9	5.7	7.0	50.0	8.2	15.2	23.4	13.9	18.4	7.6	2.5	1.9	10.1	0.6

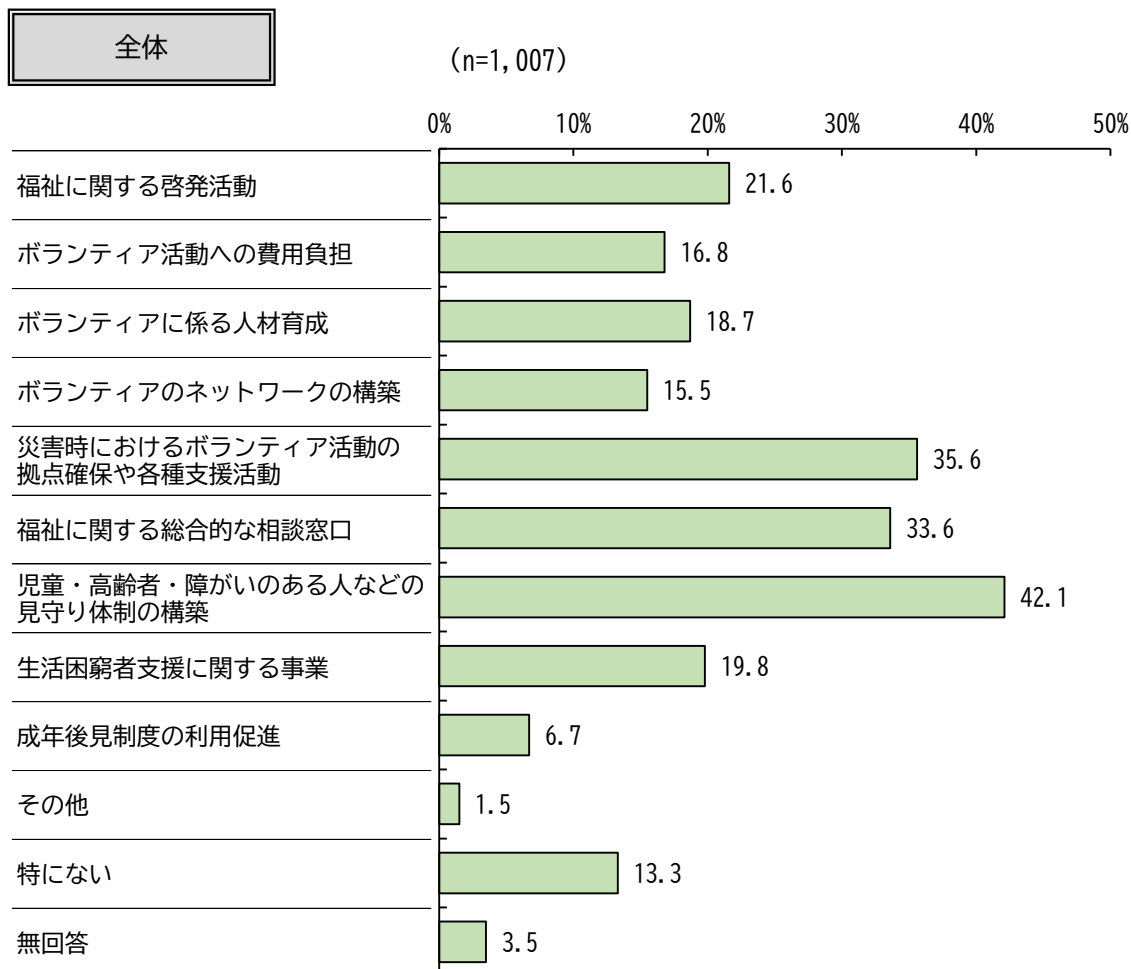
1位

2位

3位

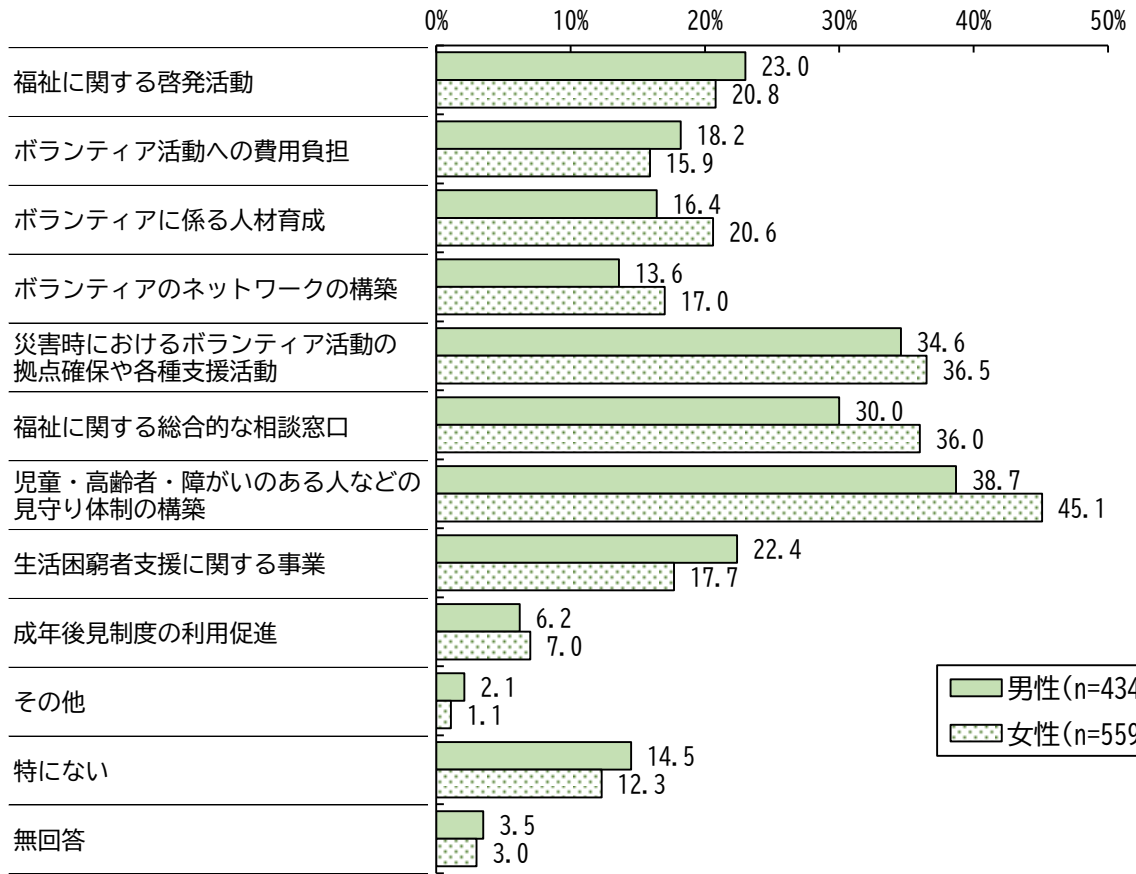
年代別にみると、20代から60代までは「仕事や家事が忙しく時間が取れないから」が最も多く、70代は「健康に自信がないから」が最も多くなっている。

問 12 (福)浜松市社会福祉協議会は、社会福祉法により設置が規定された民間の社会福祉法人で、住民の福祉活動の組織化や社会福祉を目的とする事業などを推進しています。(福)浜松市社会福祉協議会が行う以下の活動の内、今後も力を入れてほしい活動は、次のうちどれですか。(〇はいくつでも)



(福)浜松市社会福祉協議会が行う活動の内、今後も力を入れてほしい活動では、「児童・高齢者・障がいのある人などの見守り体制の構築」42.1%が最も多く、以下「災害時におけるボランティア活動の拠点確保や各種支援活動」35.6%、「福祉に関する総合的な相談窓口」33.6%などとなっている。

性別



性別にみると、男女ともに「児童・高齢者・障がいのある人などの見守り体制の構築」が最も高い割合となっている。

また、「児童・高齢者・障がいのある人などの見守り体制の構築」は男性が 38.7%、女性が 45.1%となっており、男性よりも女性のほうが 6.4 ポイント高くなっている。

年代別

単位：%

	福祉に関する啓発活動	ボランティア活動への費用負担	ボランティアに係る人材育成	ボランティアのネットワークの構築	災害時におけるボランティア活動の拠点確保や各種支援活動	福祉に関する総合的な相談窓口	児童・高齢者・障がいのある人などの見守り体制の構築	生活困窮者支援に関する事業	成年後見制度の利用促進	その他	特になし	無回答
20代(n=57)	17.5	21.1	12.3	15.8	40.4	26.3	54.4	29.8	14.0	0.0	12.3	0.0
30代(n=114)	17.5	18.4	14.9	19.3	41.2	30.7	46.5	14.9	8.8	0.0	17.5	1.8
40代(n=170)	15.3	18.8	15.9	20.6	35.3	30.0	45.9	20.6	7.6	1.8	16.5	1.2
50代(n=199)	27.1	17.1	16.1	18.1	34.7	39.7	47.7	19.6	6.0	1.0	11.1	3.0
60代(n=192)	22.9	19.3	27.1	15.6	35.4	39.1	33.9	22.4	5.2	1.6	11.5	1.6
70代(n=263)	23.6	12.5	19.8	8.7	33.5	29.3	37.6	17.1	4.9	2.7	12.9	7.2

1位

2位

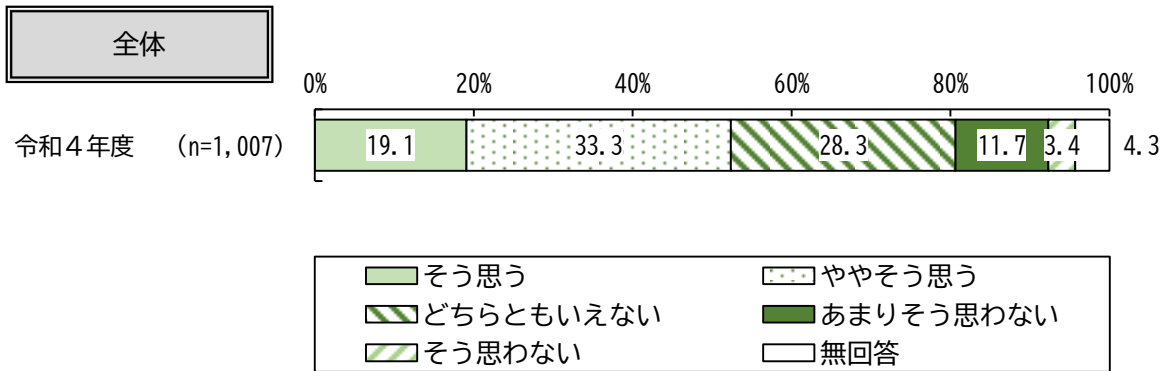
3位

年代別にみると、60代では「福祉に関する総合的な相談窓口」が39.1%と最も多くなっている。

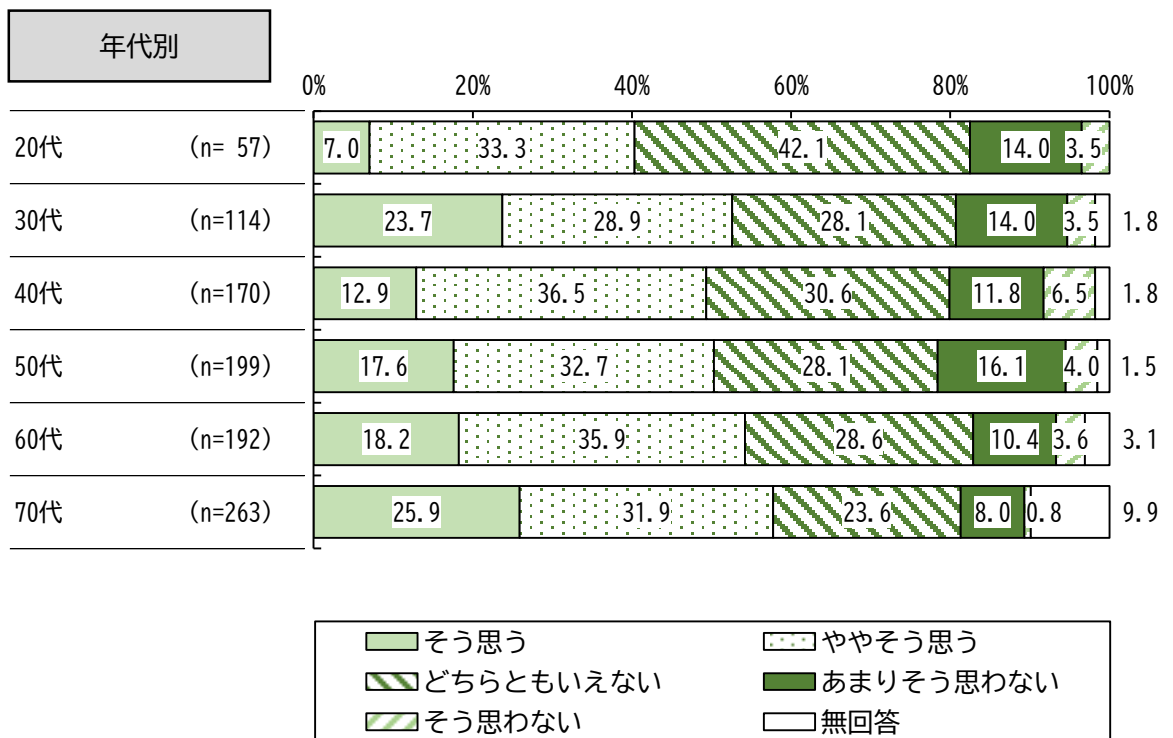
(6) 地域福祉活動を活発にするために必要なことについて

問 13 誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう地域の福祉を充実させていく上で、あなたのお住まいの地域における問題点についてお聞きします。以下の1～6の項目について、お答えください。(○は項目ごとに1つずつ)

1. 住民同士の連帯感(助け合い)の希薄化

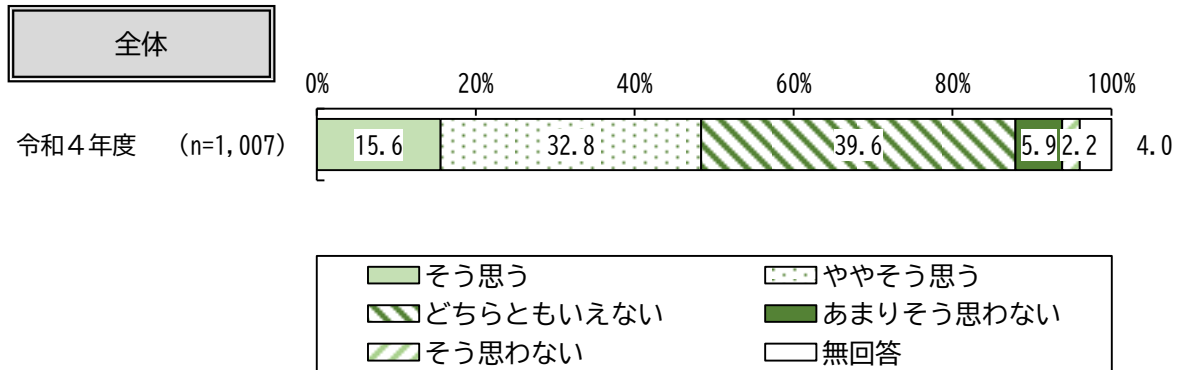


住民同士の連帯感(助け合い)の希薄化では、「ややそう思う」33.3%が最も多く、以下「どちらともいえない」28.3%、「そう思う」19.1%などとなっている。

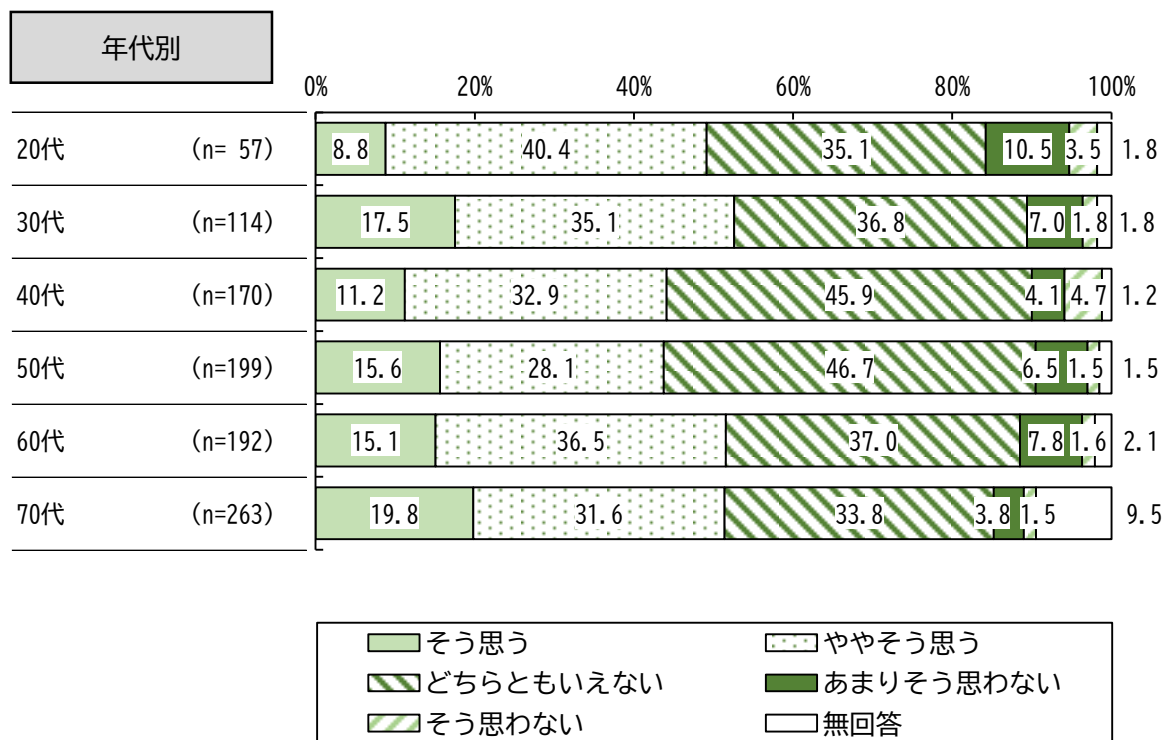


年代別にみると、「そう思う」は20代で7.0%と少なくなっている。

2. 住民の福祉への関心の薄さ

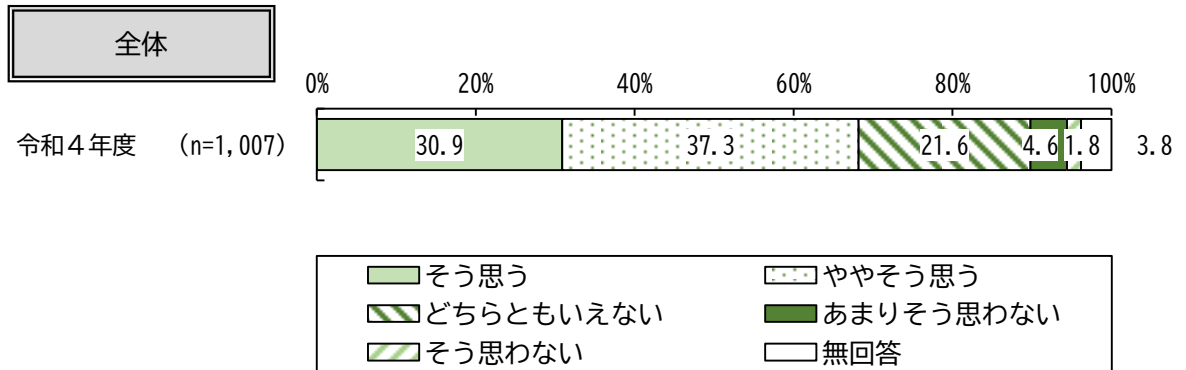


住民の福祉への関心の薄さでは、「どちらともいえない」39.6%が最も多く、以下「ややそう思う」32.8%、「そう思う」15.6%などとなっている。

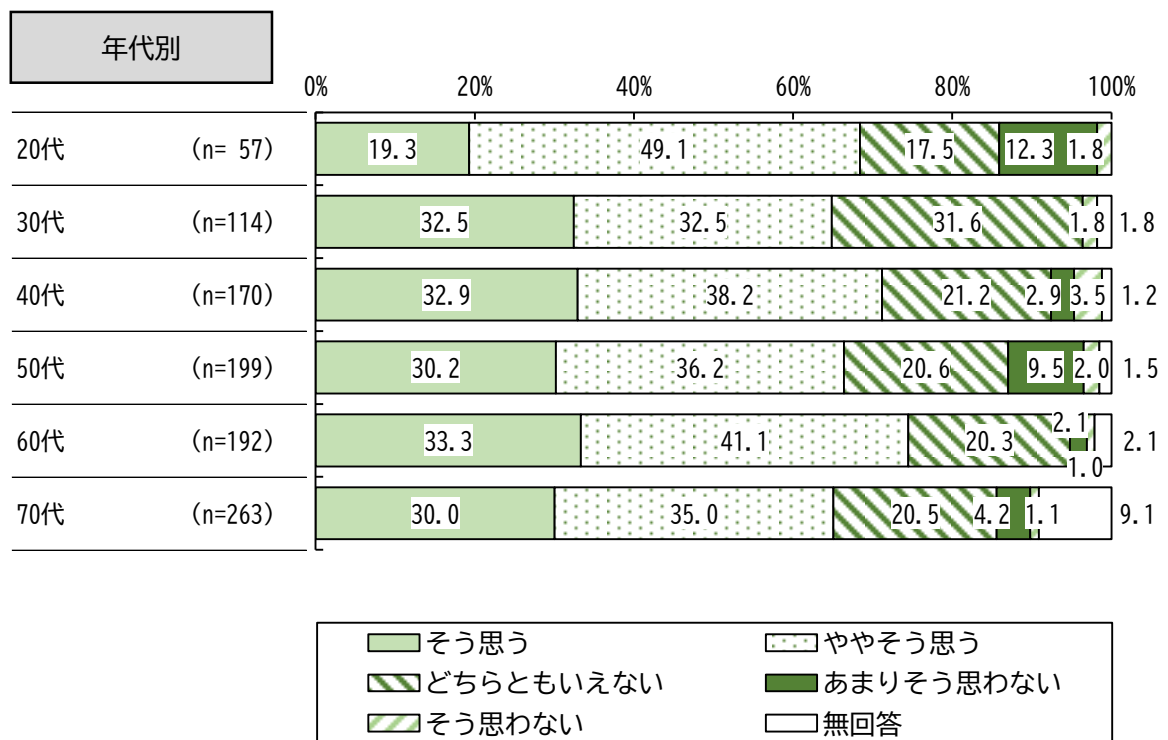


年代別にみると、20代では「ややそう思う」が40.4%と最も多くなっている。

3. 高齢化や過疎化による担い手不足

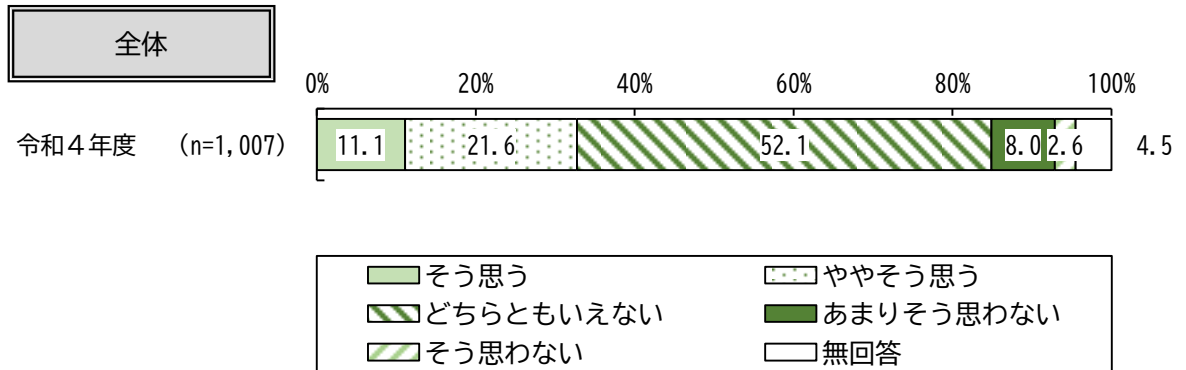


高齢化や過疎化による担い手不足は、「ややそう思う」37.3%が最も多く、以下「そう思う」30.9%、「どちらともいえない」21.6%などとなっている。

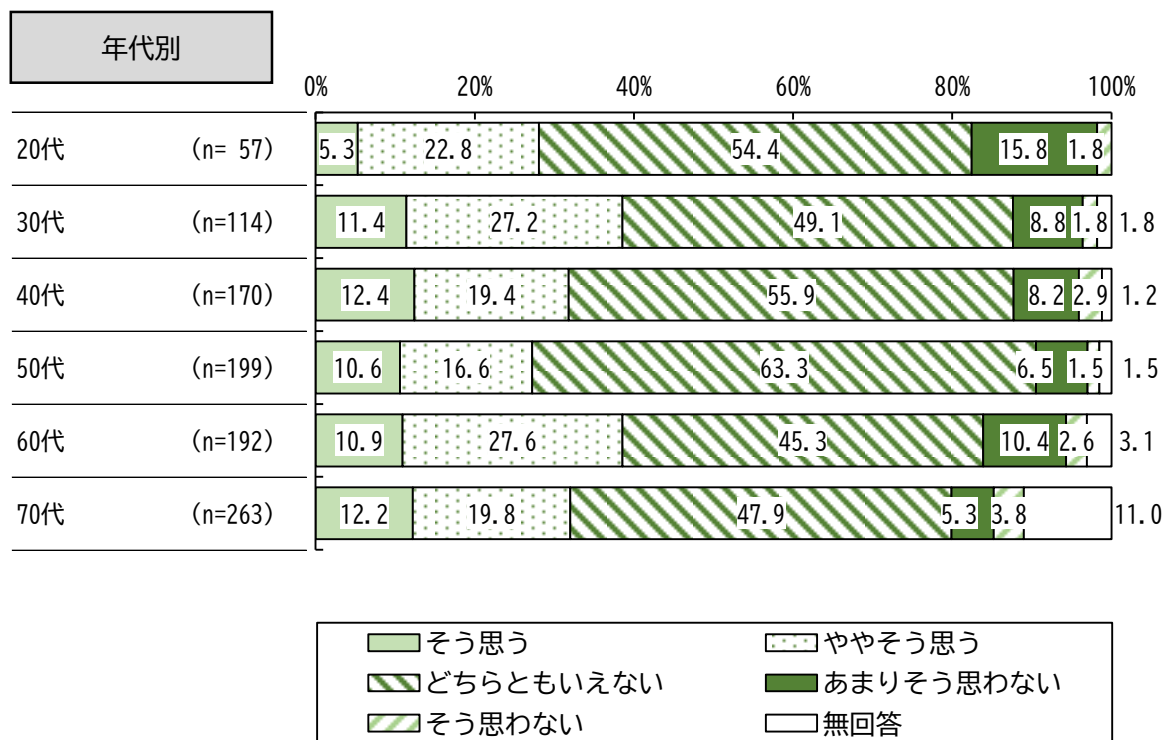


年代別にみると、「ややそう思う」は20代で49.1%と多くなっている。

4. 地域福祉を推進する組織が機能していない

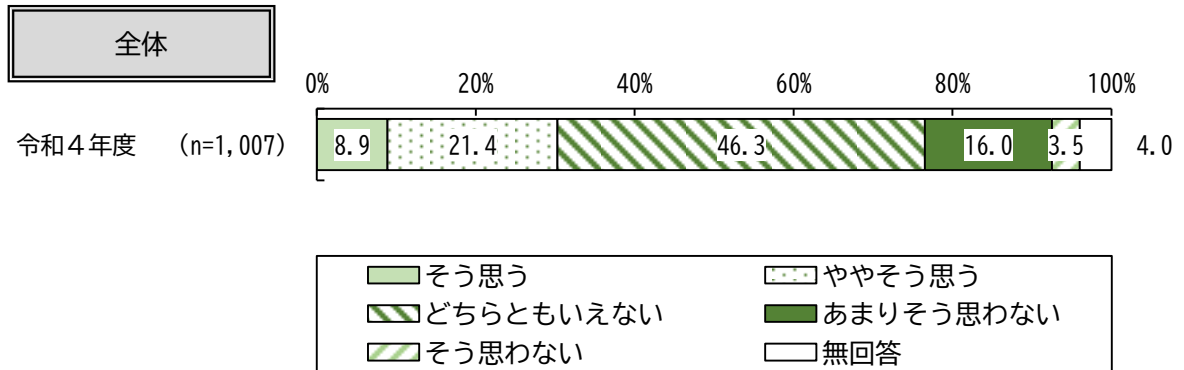


地域福祉を推進する組織が機能していないでは、「どちらともいえない」52.1%が最も多く、以下「ややそう思う」21.6%、「そう思う」11.1%などとなっている。

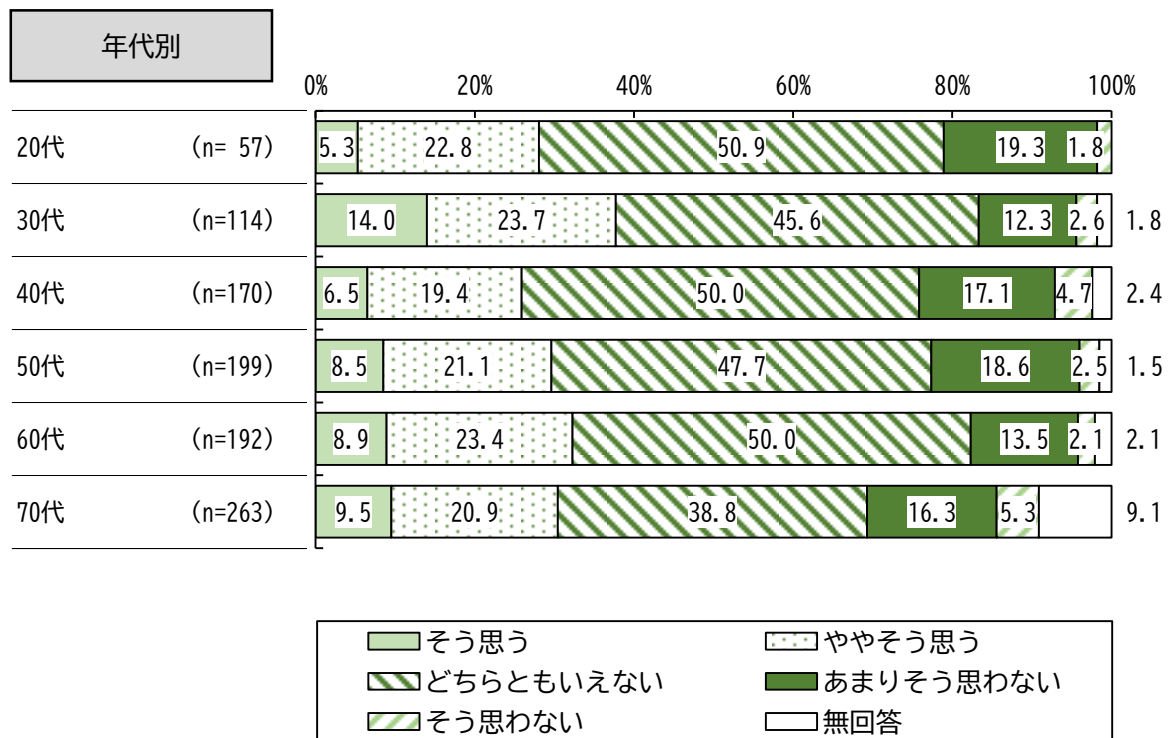


年代別にみると、「そう思う」は20代で5.3%と少なくなっている。

5. 防災、防犯などの安全・安心に関する体制が整っていない

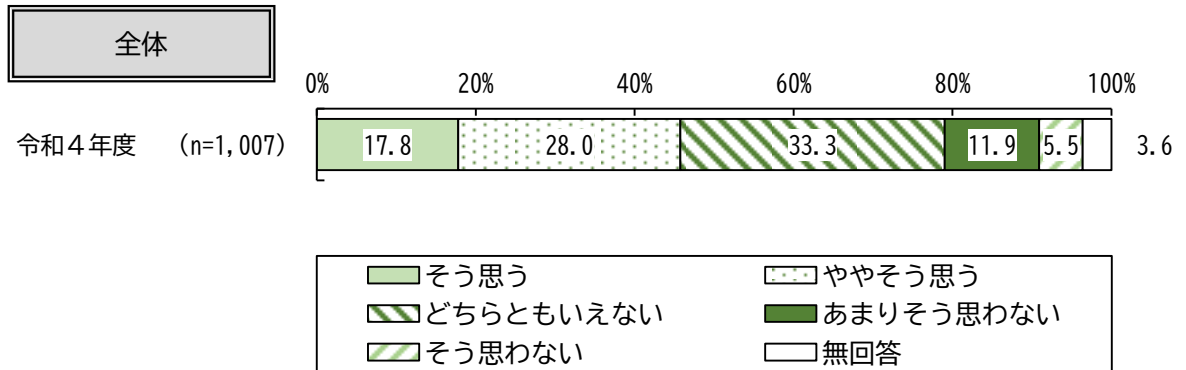


防災、防犯などの安全・安心に関する体制が整っていないでは、「どちらともいえない」46.3%が最も多く、以下「ややそう思う」21.4%、「あまりそう思わない」16.0%などとなっている。

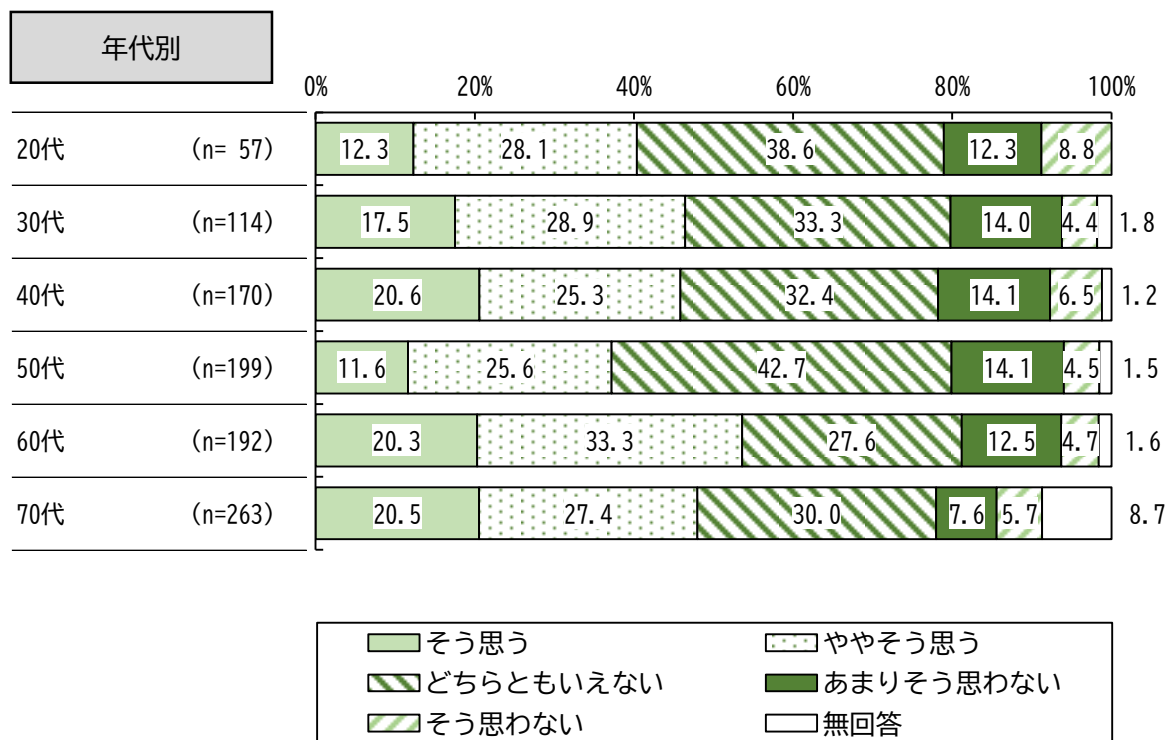


年代別にみると、「そう思う」は30代で14.0%と多くなっている。

6. 誰もが気軽に集まれる居場所がない



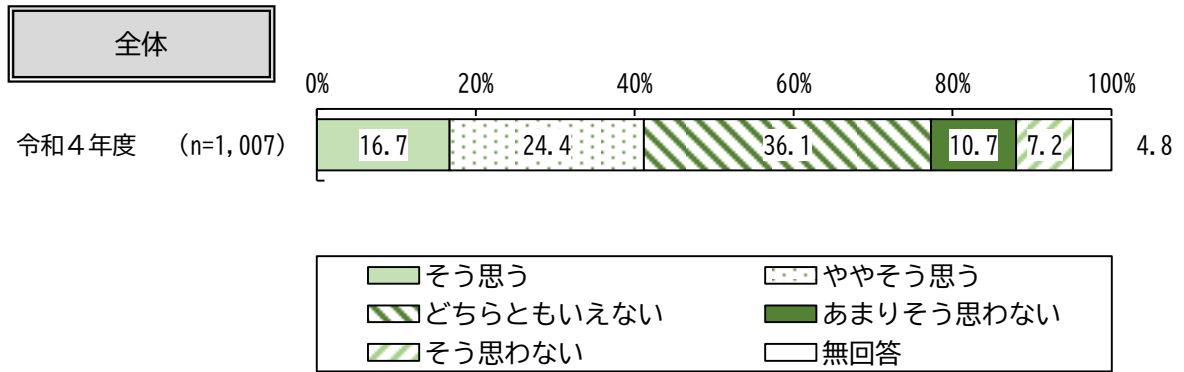
誰もが気軽に集まれる居場所がないでは、「どちらともいえない」33.3%が最も多く、以下「ややそう思う」28.0%、「そう思う」17.8%などとなっている。



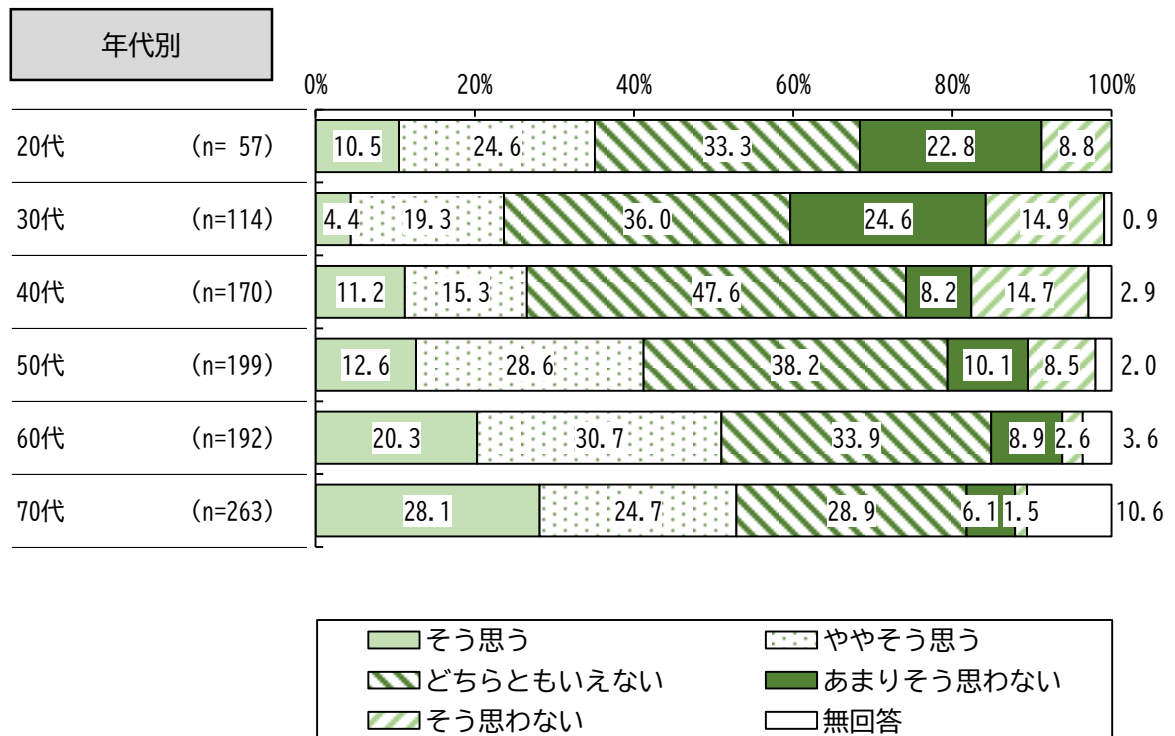
年代別にみると、60代では「ややそう思う」が最も多くなっている。

問 14 地域住民の支え合いをはぐくむために、地域住民が力を入れるべき取り組みについてお聞きします。以下の1～7の項目について、お答えください。
(○は項目ごとに1つずつ)

1. 自治会行事への参加を促進する

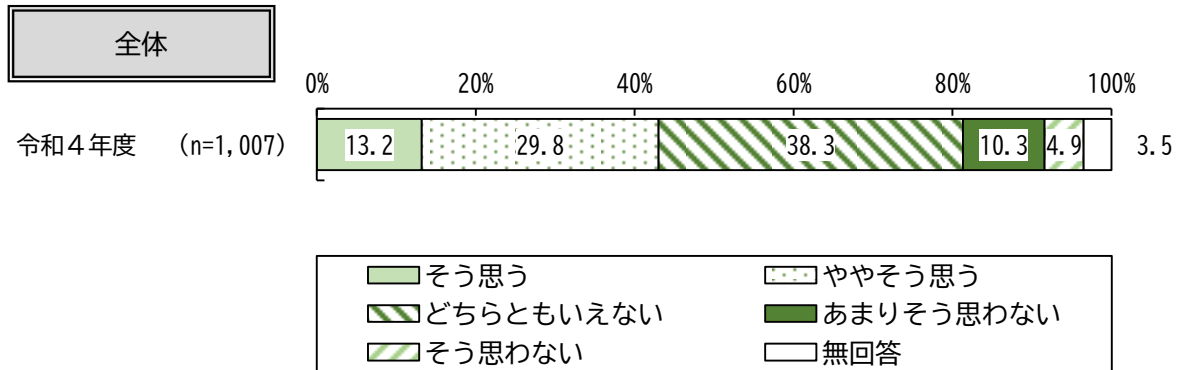


自治会行事への参加を促進するでは、「どちらともいえない」36.1%が最も多く、以下「ややそう思う」24.4%、「そう思う」16.7%などとなっている。

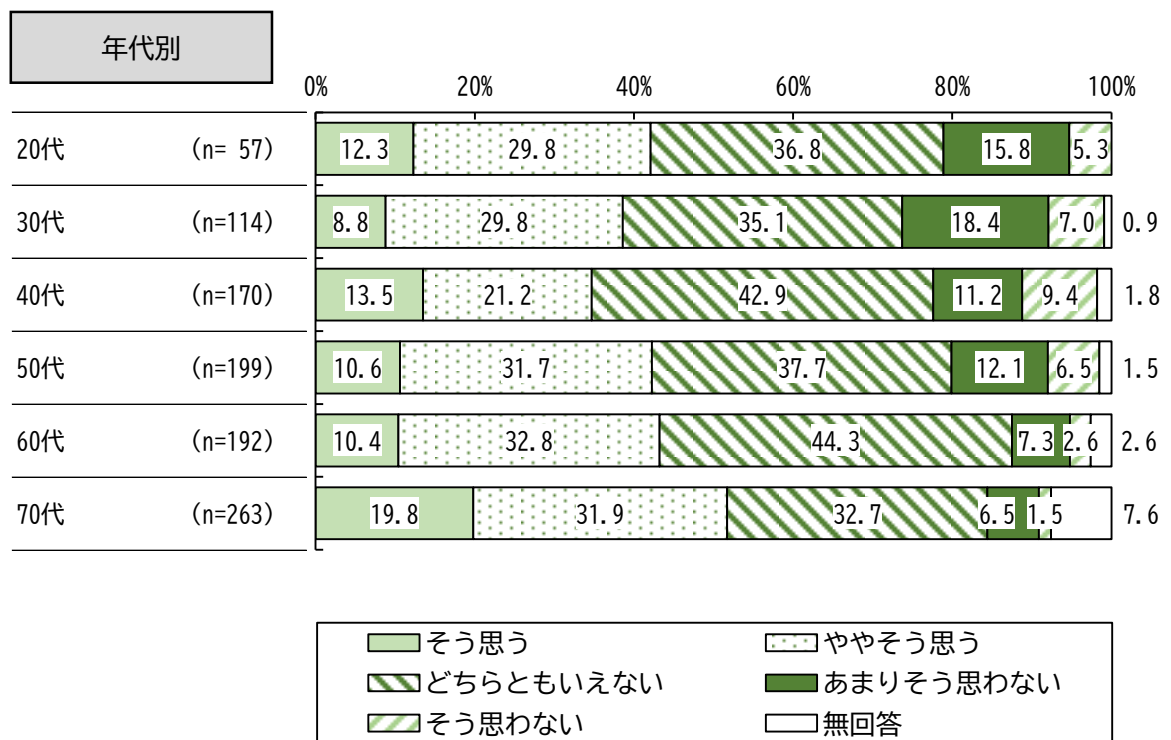


年代別にみると、「そう思う」は30代から70代まで年齢が上がるにつれて多くなっている。

2. 子ども会やシニアクラブなど地域組織の活動を活発にする

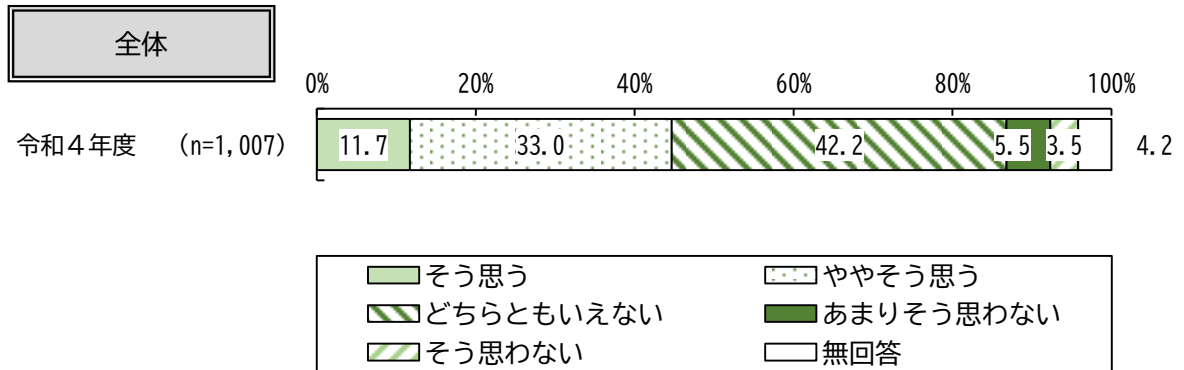


子ども会やシニアクラブなど地域組織の活動を活発にするでは、「どちらともいえない」38.3%が最も多く、以下「ややそう思う」29.8%、「そう思う」13.2%などとなっている。

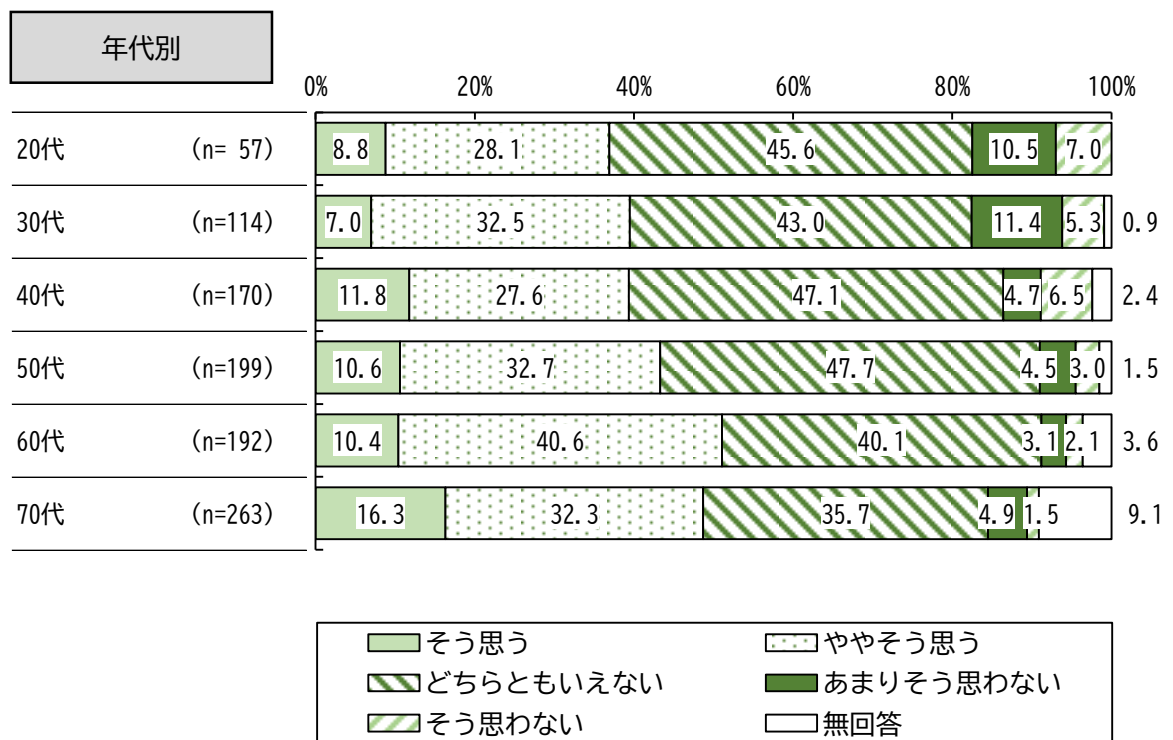


年代別にみると、「あまりそう思わない」と「そう思わない」は40代から70代まで年齢が上がるにつれて少なくなる傾向がみられる。

3. 地区社会福祉協議会などの地域福祉活動を充実する

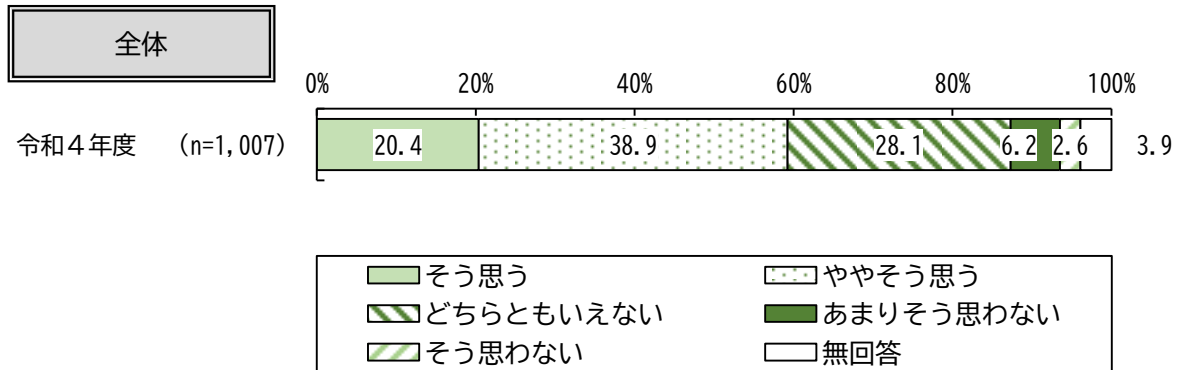


地区社会福祉協議会などの地域福祉活動を充実するでは、「どちらともいえない」42.2%が最も多く、以下「ややそう思う」33.0%、「そう思う」11.7%などとなっている。

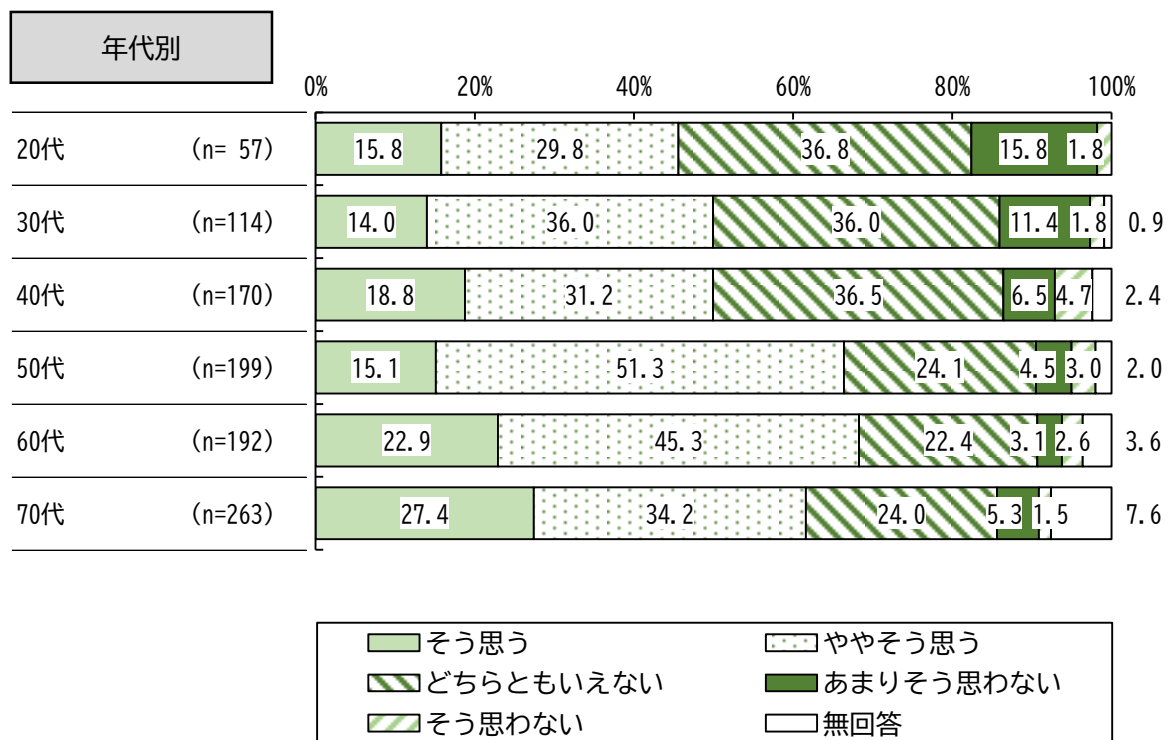


年代別にみると、60代では「ややそう思う」が40.6%と最も多くなっている。

4. 近隣との声かけなど付き合いを活発にする

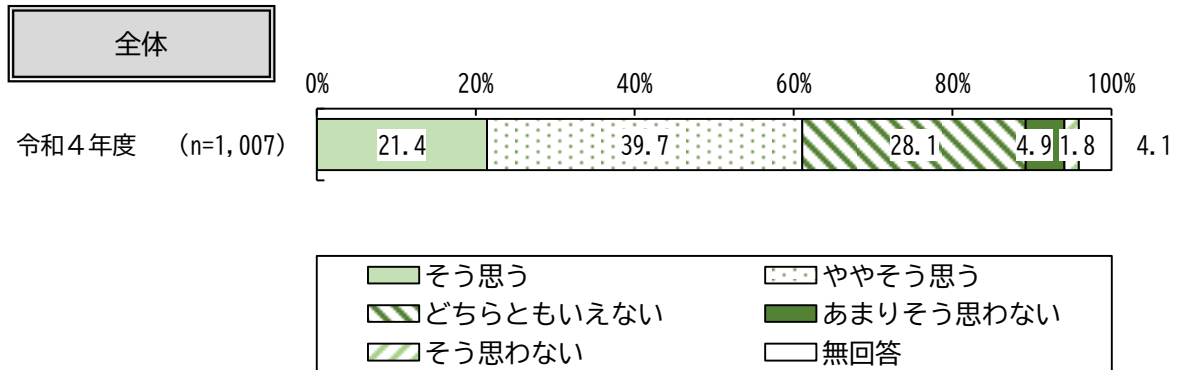


近隣との声かけなど付き合いを活発にするでは、「ややそう思う」38.9%が最も多く、以下「どちらともいえない」28.1%、「そう思う」20.4%などとなっている。

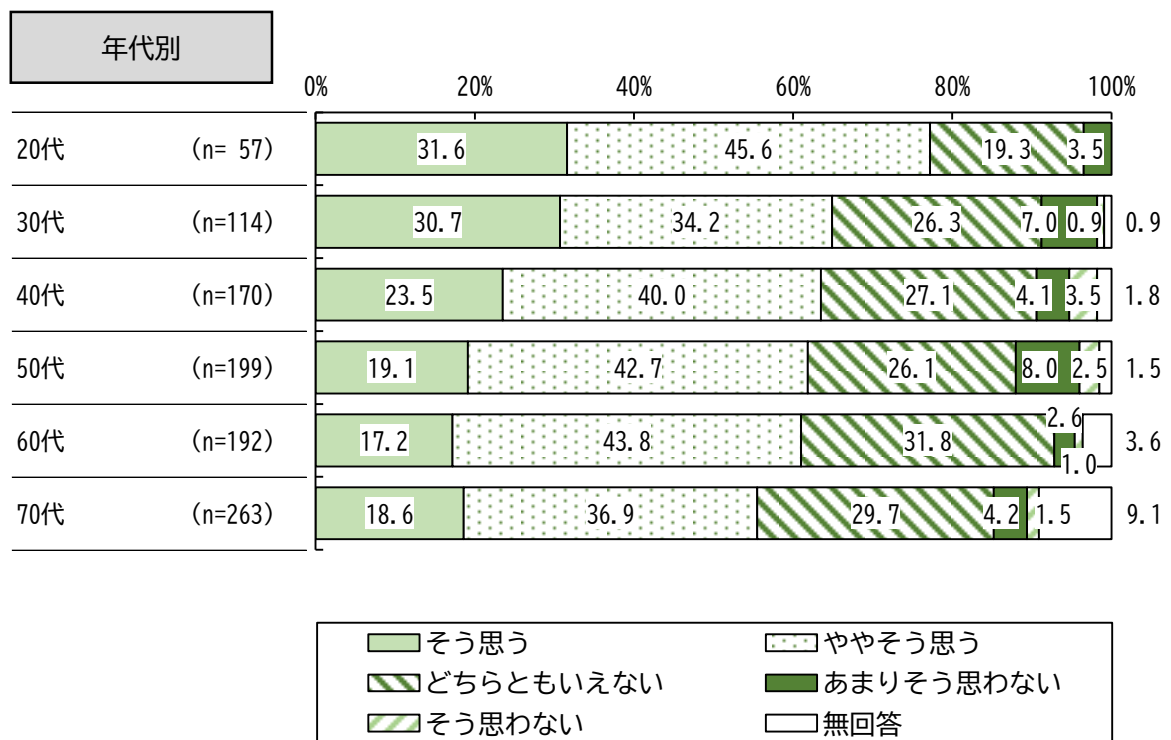


年代別にみると、「ややそう思う」は50代、60代で多くなっている。

5. 子育て、子どもの見守り、教育への協力を行う

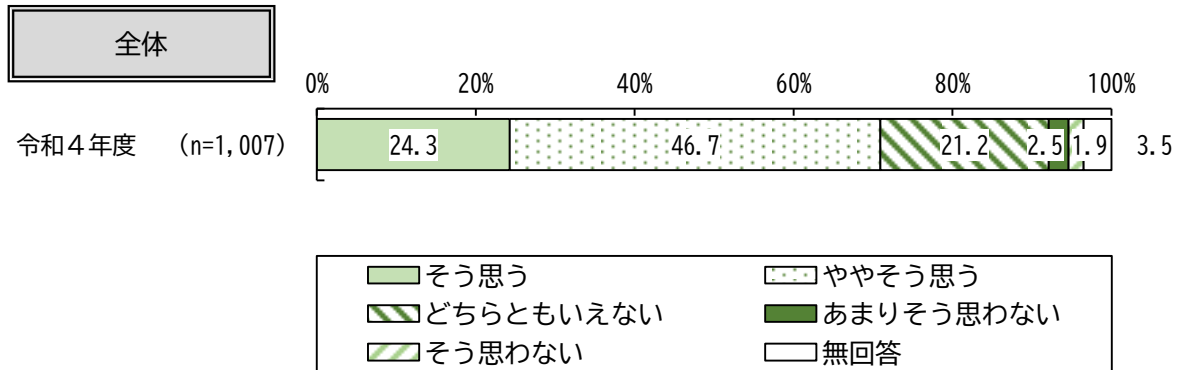


子育て、子どもの見守り、教育への協力を行うでは、「ややそう思う」39.7%が最も多く、以下「どちらともいえない」28.1%、「そう思う」21.4%などとなっている。

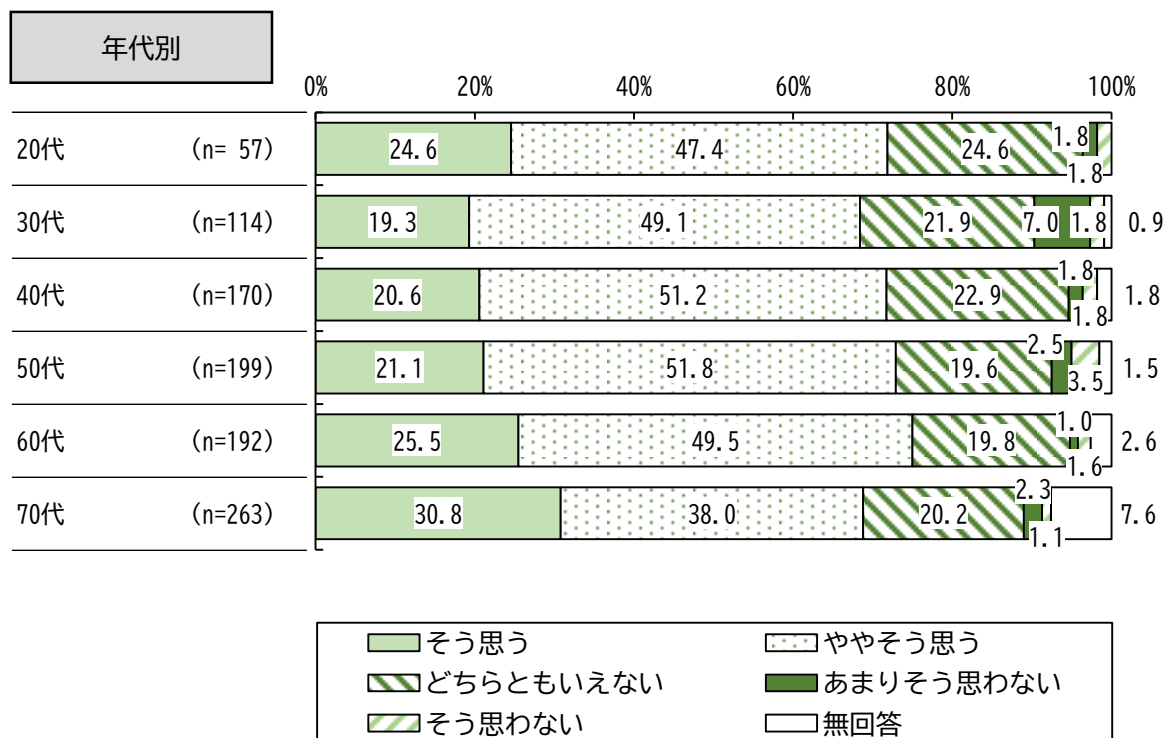


年代別にみると、「そう思う」と「ややそう思う」は年齢が上がるにつれて少なくなる傾向がみられる。

6. 防犯・防災に関する地域での協力を推進する

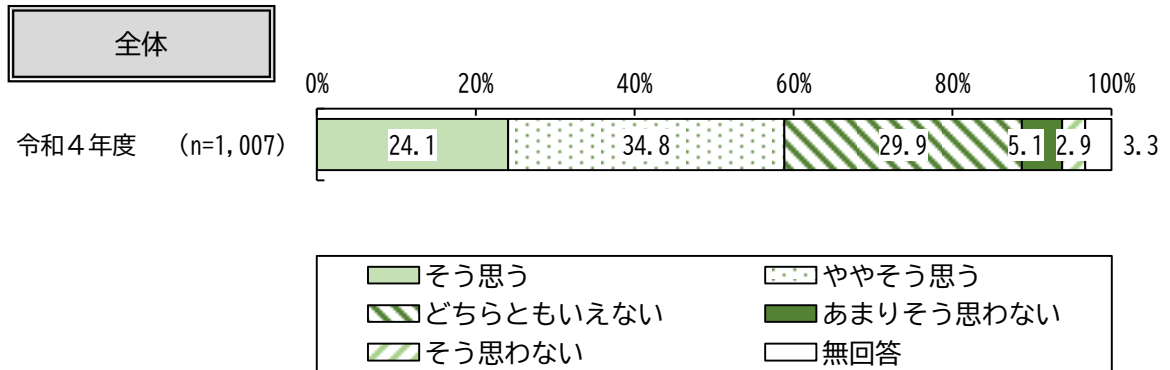


防犯・防災に関する地域での協力を推進するには、「ややそう思う」46.7%が最も多く、以下「そう思う」24.3%、「どちらともいえない」21.2%などとなっている。

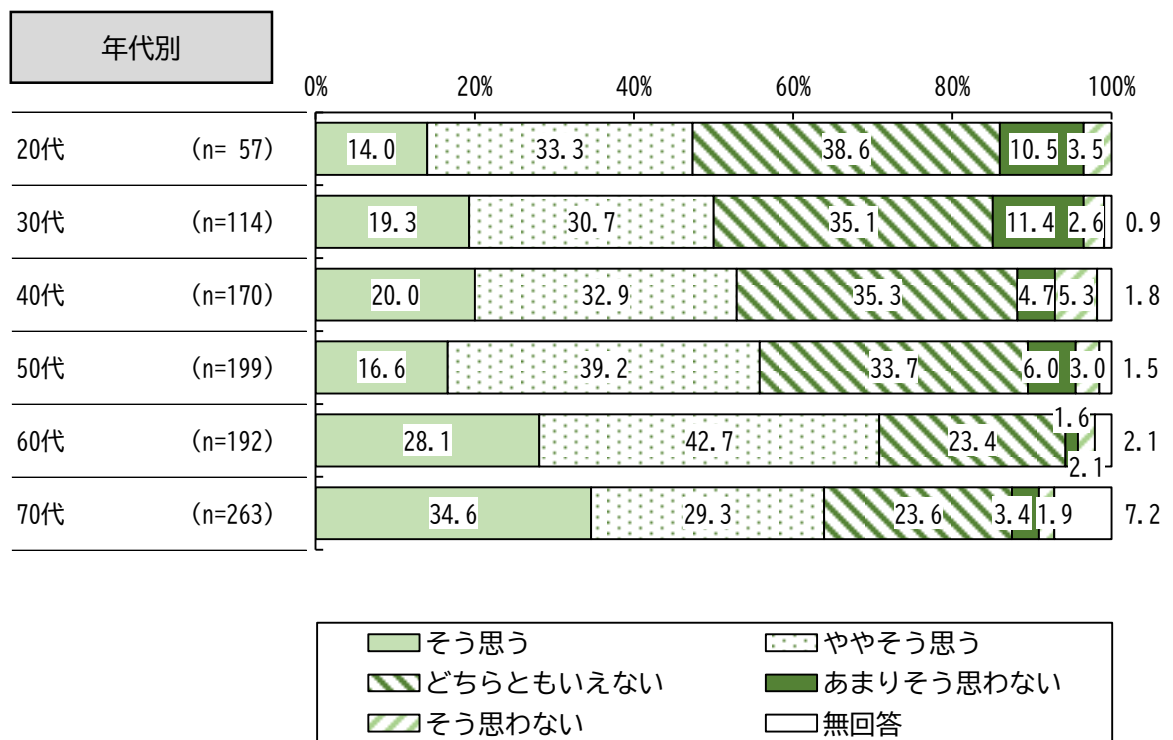


年代別にみると、「そう思う」は30代から70代まで年齢が上がるにつれて多くなっている。

7. 誰もが集まれる身近な居場所づくりを行う



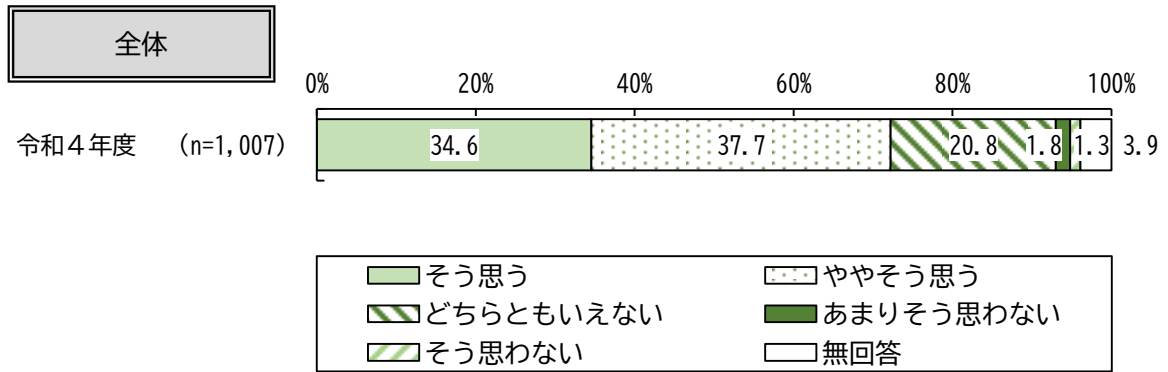
誰もが集まれる身近な居場所づくりを行うでは、「ややそう思う」34.8%が最も多く、以下「どちらともいえない」29.9%、「そう思う」24.1%などとなっている。



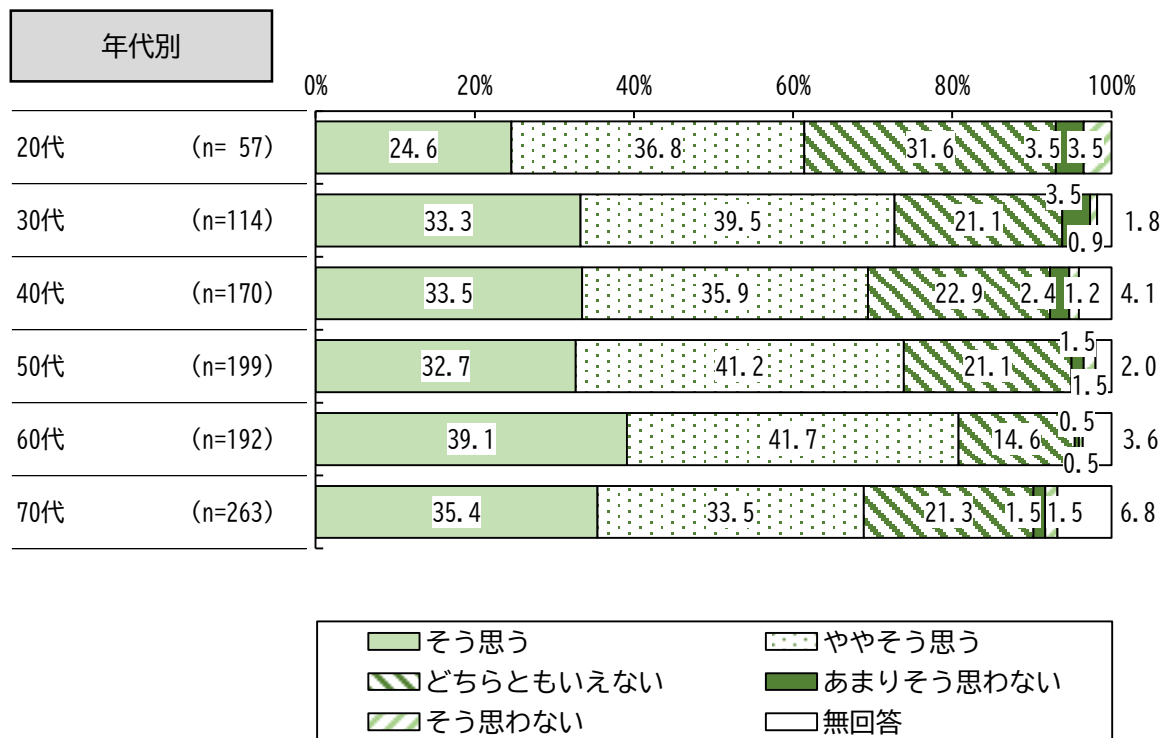
年代別にみると、20代から40代までは「どちらともいえない」が最も多く、70代では「そう思う」が34.6%と最も多くなっている。

問 15 誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう地域の福祉を充実させていく上で、浜松市が力を入れるべき点についてお聞きます。以下の1～9の項目について、お答えください。(○は項目ごとに1つつ)

1. 関係機関のネットワークや地域福祉を推進するためのしくみづくり

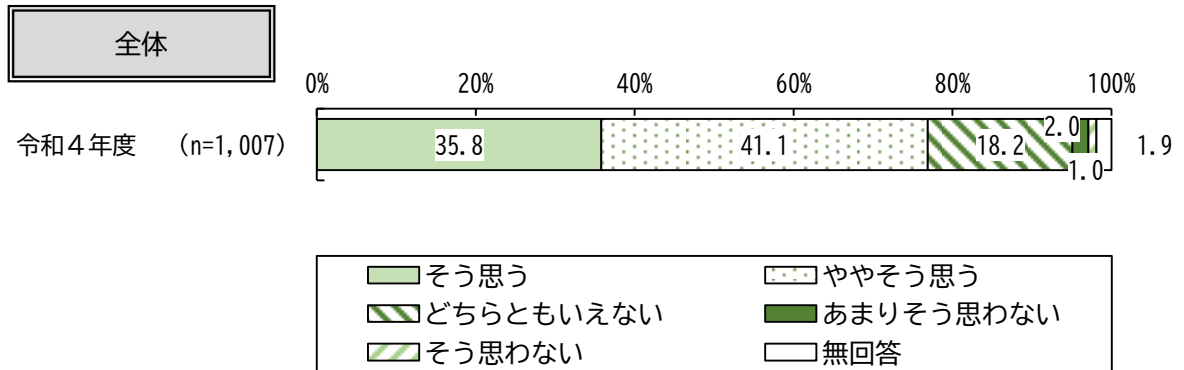


関係機関のネットワークや地域福祉を推進するためのしくみづくりでは、「ややそう思う」37.7%が最も多く、以下「そう思う」34.6%、「どちらともいえない」20.8%などとなっている。

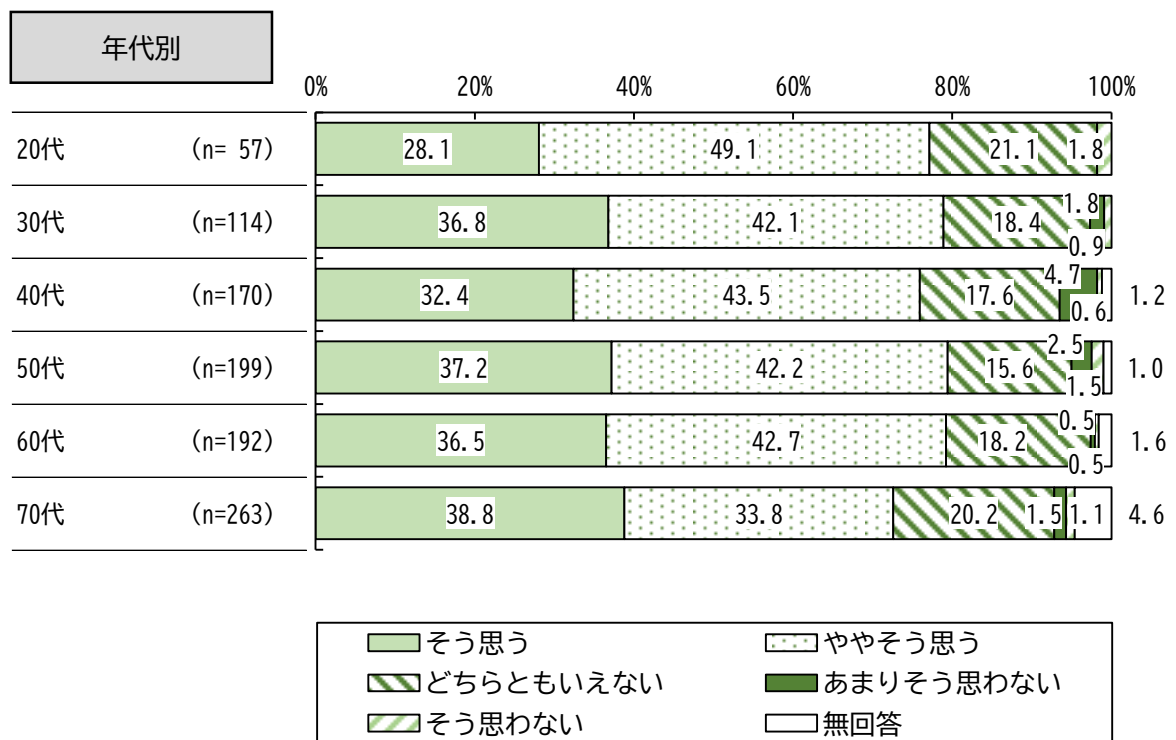


年代別にみると、70代では「そう思う」が35.4%と最も多くなっている。

2. 社会的な孤立を予防・解消するための総合的な支援

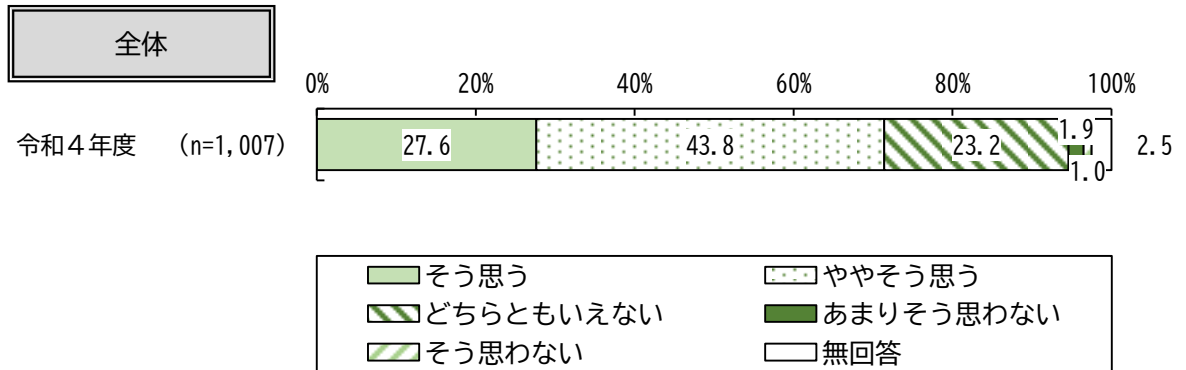


社会的な孤立を予防・解消するための総合的な支援では、「ややそう思う」41.1%が最も多く、以下「そう思う」35.8%、「どちらともいえない」18.2%などとなっている。

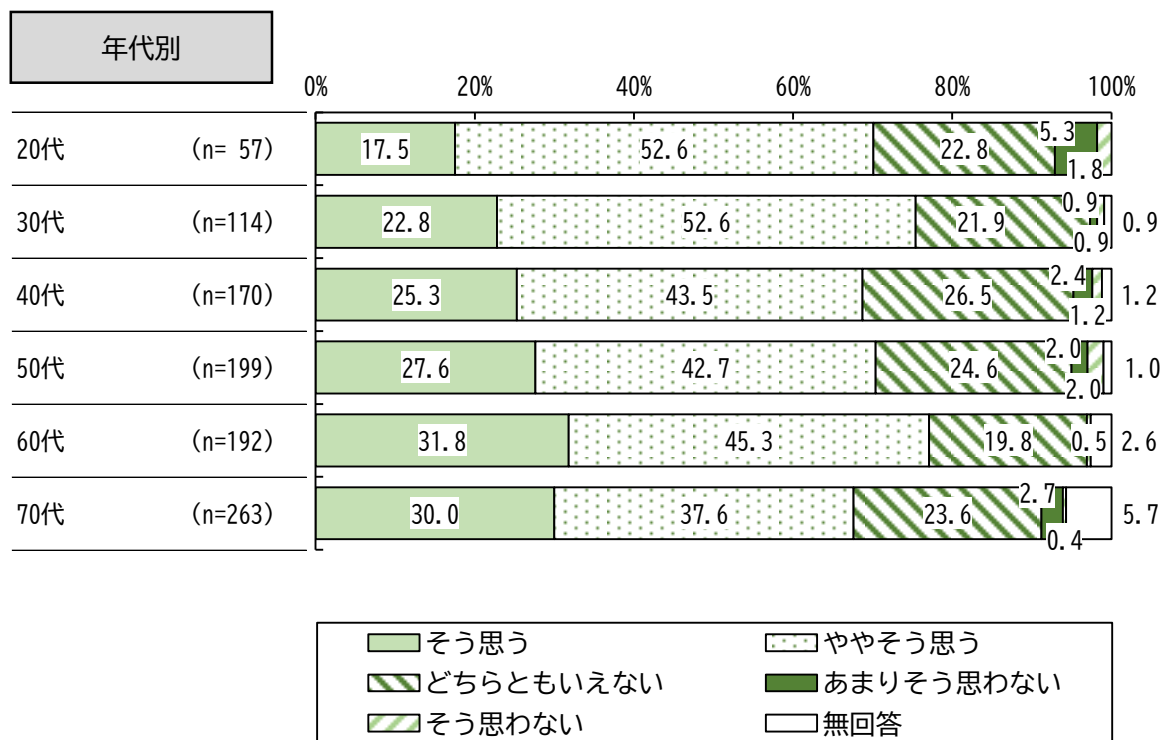


年代別にみると、70代では「そう思う」が38.8%と最も多くなっている。

3. 福祉に関する情報提供や意識啓発

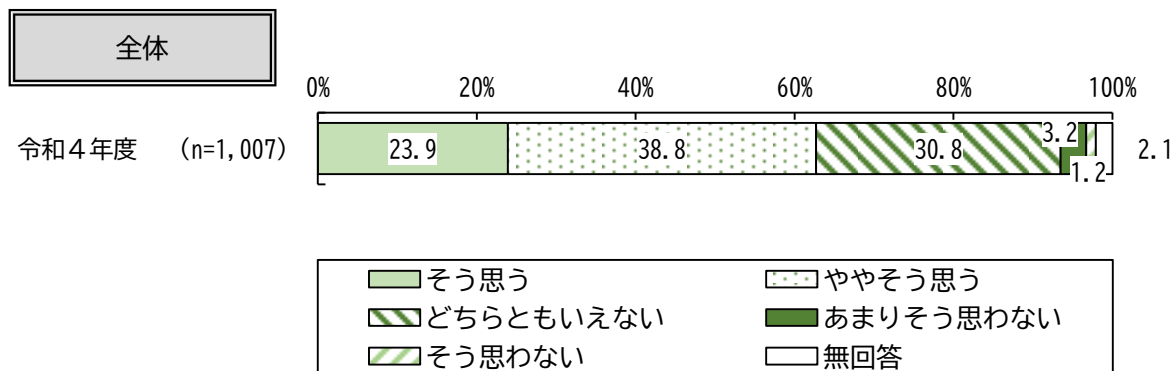


福祉に関する情報提供や意識啓発では、「ややそう思う」43.8%が最も多く、以下「そう思う」27.6%、「どちらともいえない」23.2%などとなっている。

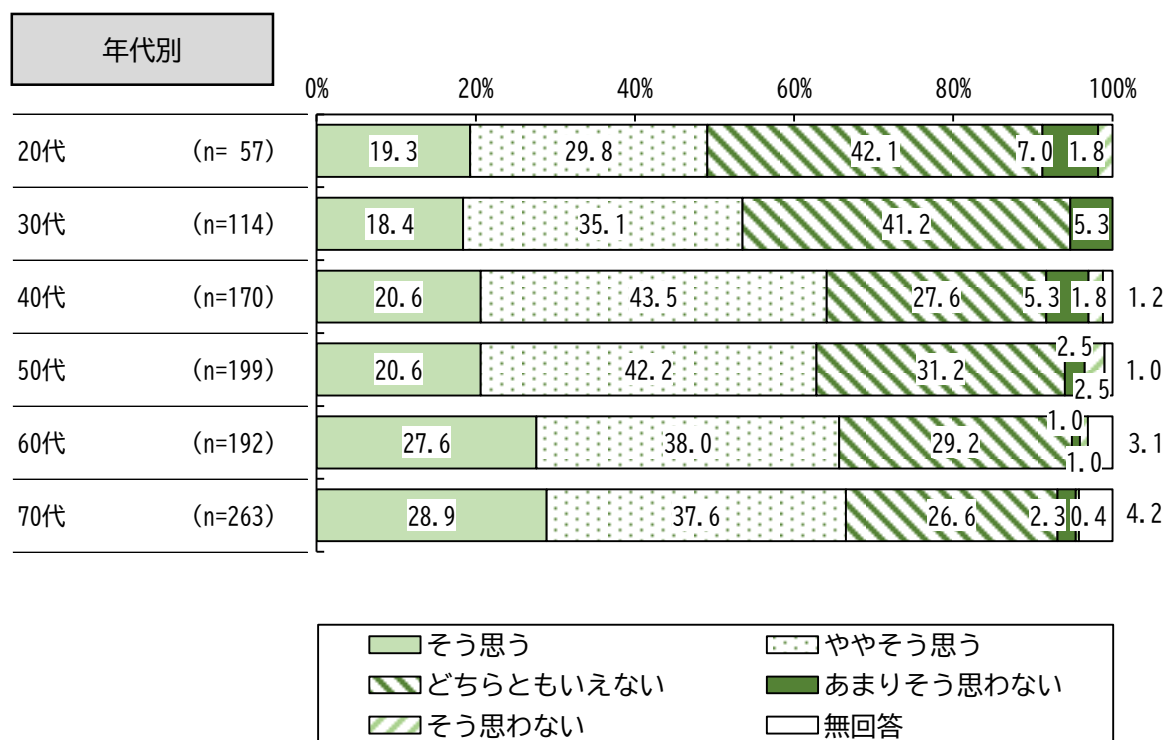


年代別にみると、「そう思う」は20代から60代まで年齢が上がるにつれて多くなっている。

4. ボランティア活動への支援

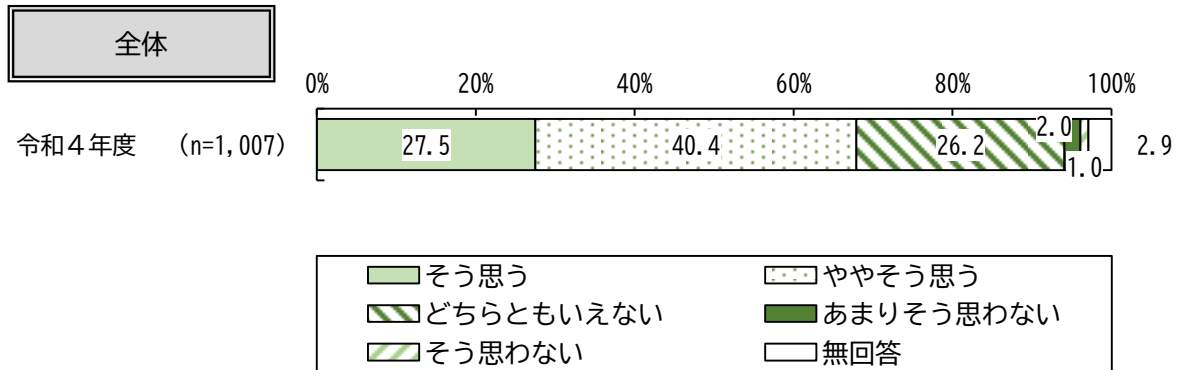


ボランティア活動への支援では、「ややそう思う」38.8%が最も多く、以下「どちらともいえない」30.8%、「そう思う」23.9%などとなっている。

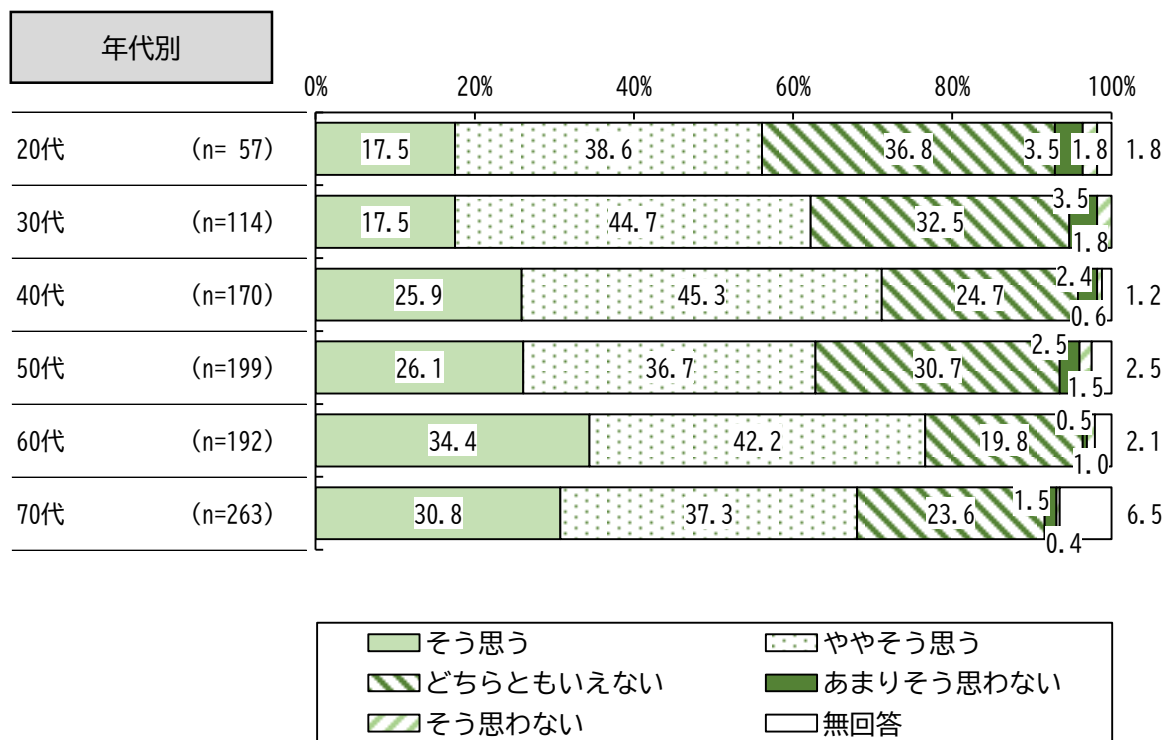


年代別にみると、「そう思う」は60代、70代で約3割と多くなっている。

5. 地域福祉活動を推進する人材の育成

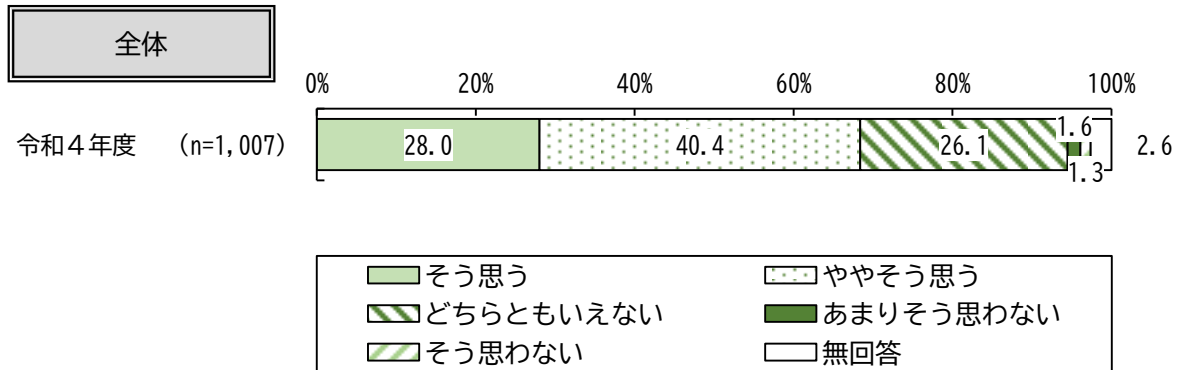


地域福祉活動を推進する人材の育成では、「ややそう思う」40.4%が最も多く、以下「そう思う」27.5%、「どちらともいえない」26.2%などとなっている。

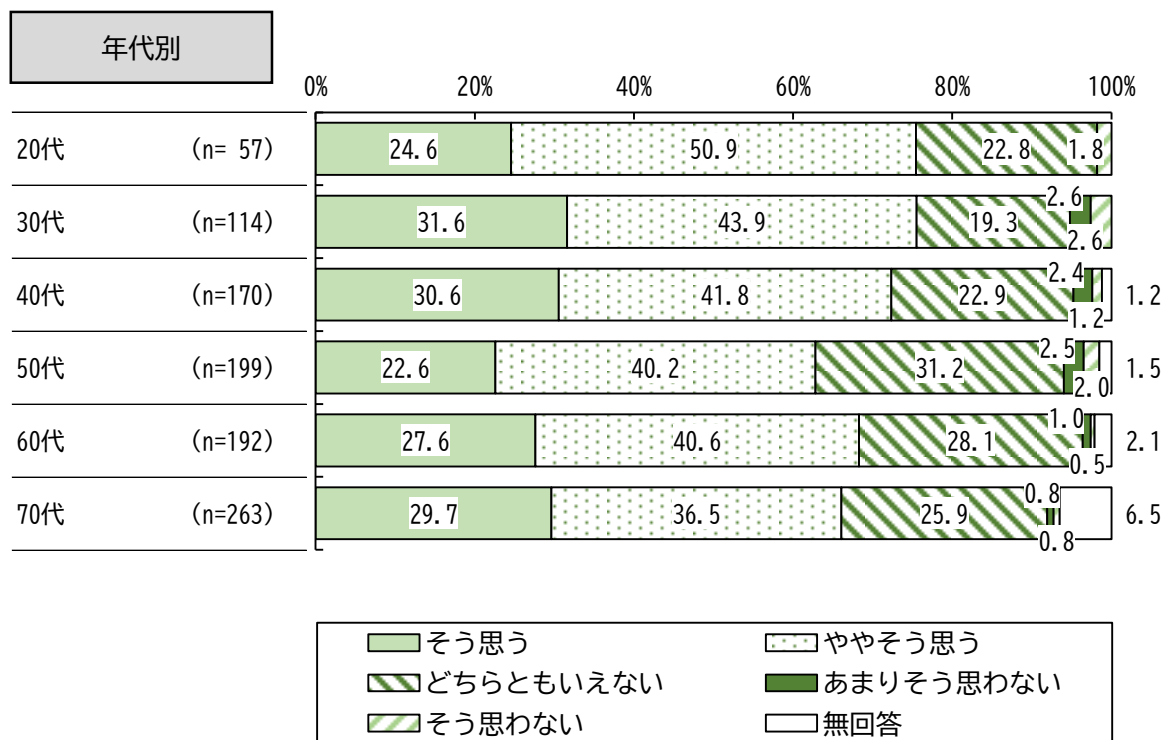


年代別にみると、「そう思う」は60代、70代で3割を超えて多くなっている。

6. 小中学校や地域での福祉教育の推進

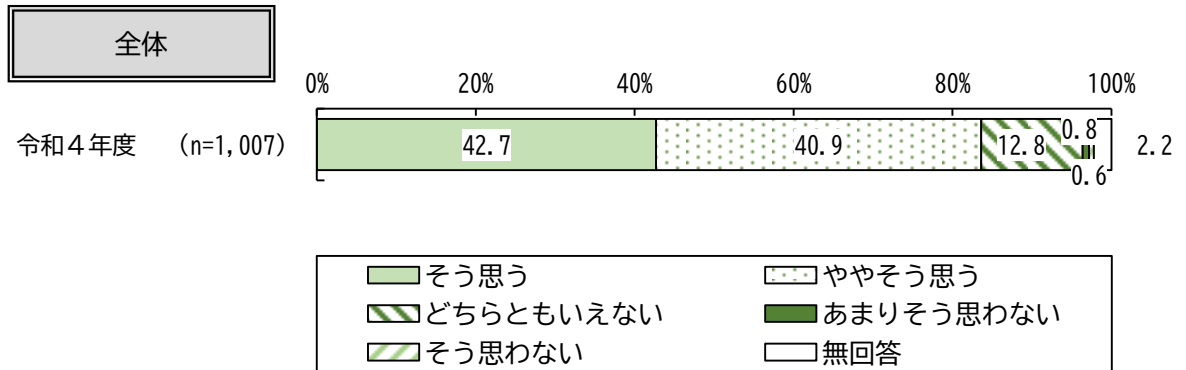


小中学校や地域での福祉教育の推進では、「ややそう思う」40.4%が最も多く、以下「そう思う」28.0%、「どちらともいえない」26.1%などとなっている。

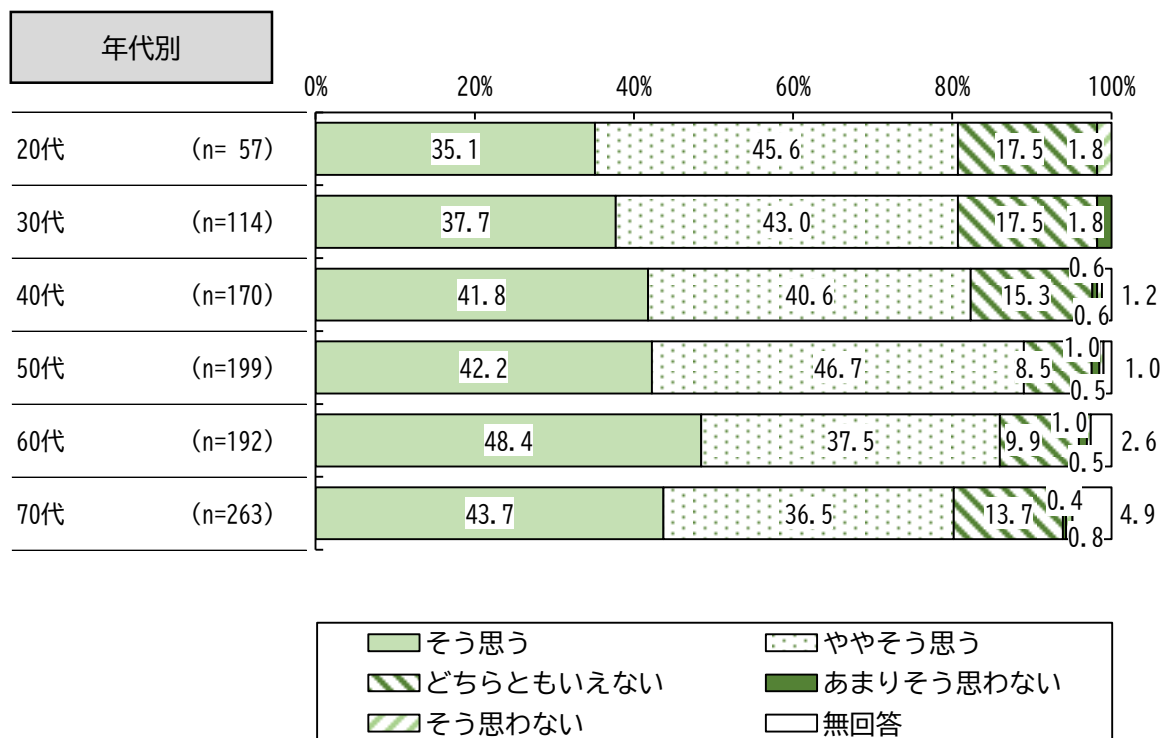


年代別にみると、「ややそう思う」は20代で50.9%と多くなっている。

7. 災害時の避難に支援の必要な人への対策

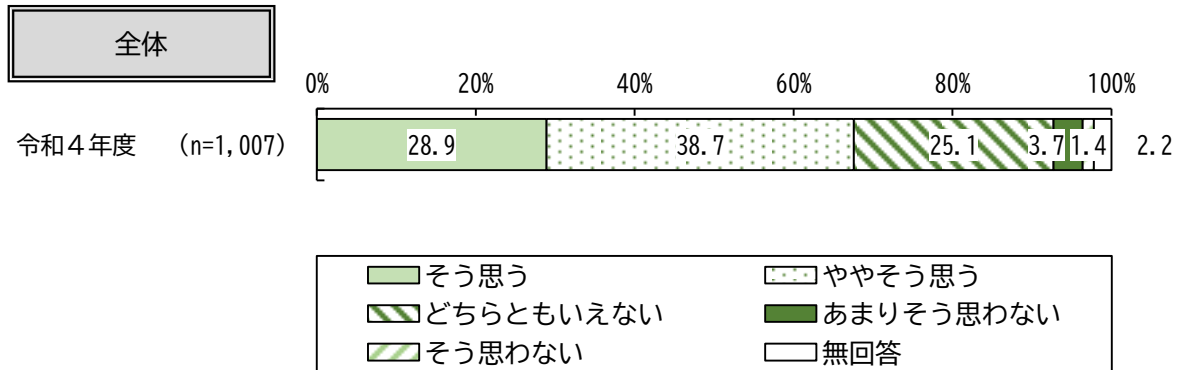


災害時の避難に支援の必要な人への対策では、「そう思う」42.7%が最も多く、以下「ややそう思う」40.9%、「どちらともいえない」12.8%などとなっている。

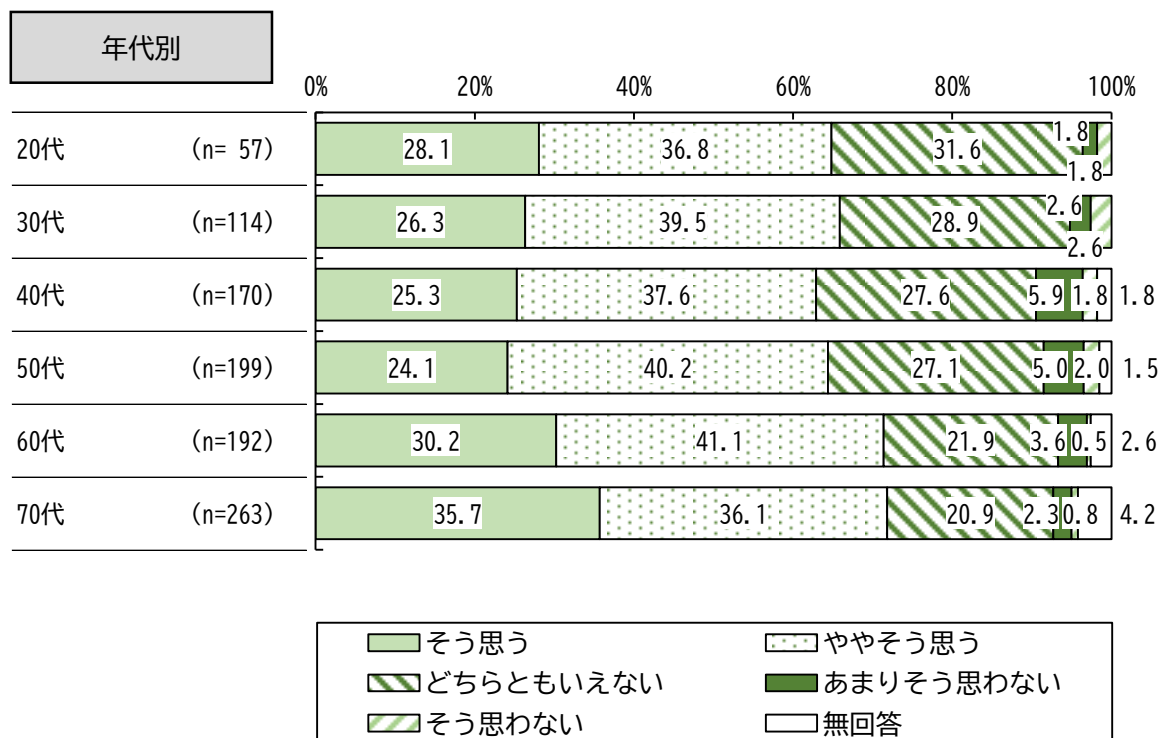


年代別にみると、「そう思う」は20代から60代まで年齢が上がるにつれて多くなっている。

8. 生きがいがづくり、健康づくり事業の充実

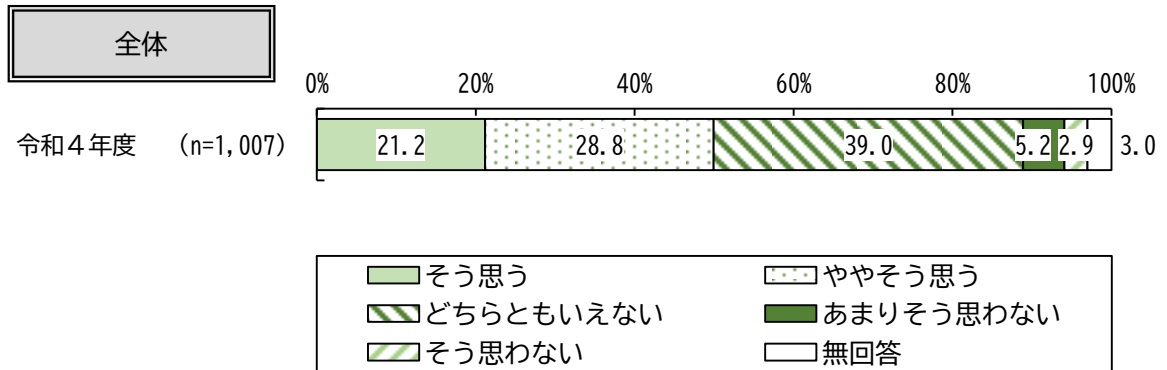


生きがいがづくり、健康づくり事業の充実では、「ややそう思う」38.7%が最も多く、以下「そう思う」28.9%、「どちらともいえない」25.1%などとなっている。

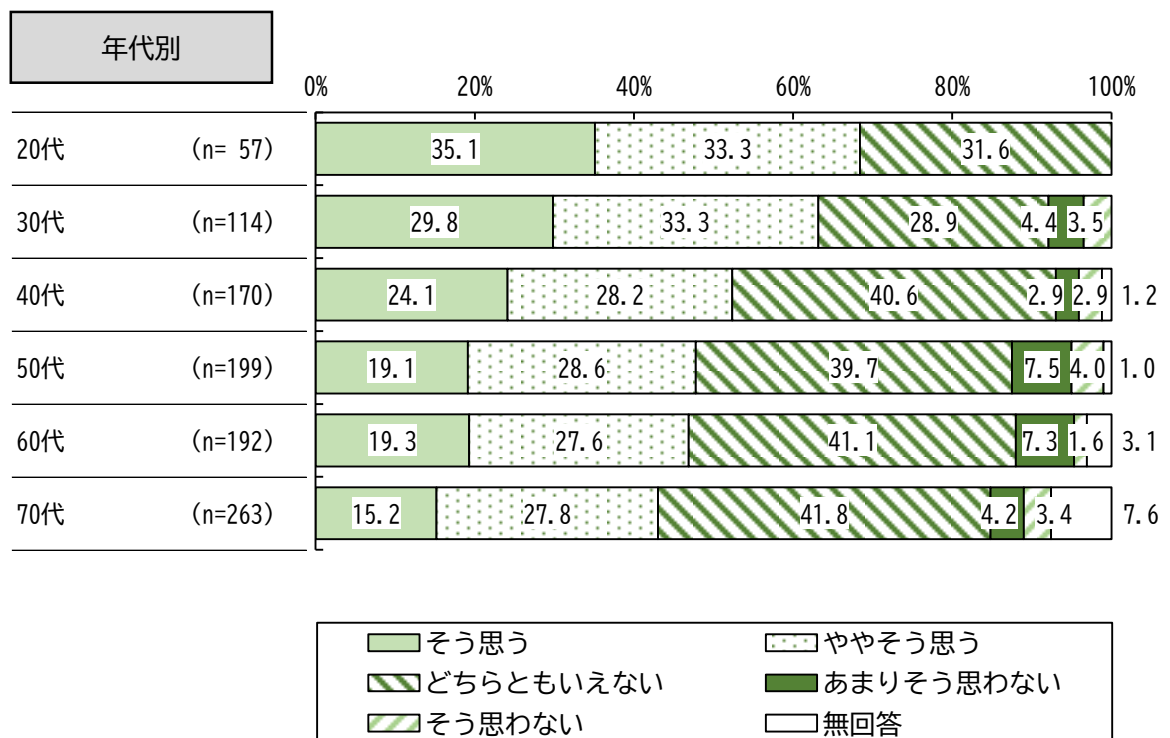


年代別にみると、いずれの年代も「ややそう思う」が最も多くなっている。

9. ユニバーサルデザインの普及、推進



ユニバーサルデザインの普及、推進では、「どちらともいえない」39.0%が最も多く、以下「ややそう思う」28.8%、「そう思う」21.2%などとなっている。



年代別にみると、「そう思う」は年齢が上がるにつれて少なくなる傾向がみられる。

第3章 資料編

第3章 資料編

1 地域特性

今回のアンケート結果から得られた特徴的な地域特性を整理すると、以下のようになっている。

(1) カイ2乗検定による分析

地域と他の質問の間で統計的に有意な差があるかどうかを、カイ2乗検定を用いて分析したところ、以下の4問において、地域特性が見られた(△は有意に多い、▼は有意に少ないことを示す)。

・近所の人との付き合いの程度

	何か困ったときに助け合う親しい人がいる	道で会えば立ち話をする程度の人ならいる	あいさつをする程度の人しかいない	顔は知っているが、言葉を交わすほどではない	ほとんど付き合いはない
中区	▼ 44	82	68	△ 13	25
東区	29	48	31	1	15
西区	39	▼ 33	28	6	12
南区	30	41	31	5	16
北区	27	45	31	2	10
浜北区	39	49	31	1	8
天竜区	△ 51	52	▼ 18	2	▼ 2

地域的な特徴が見られたのは、中区、西区、天竜区の3地域となった。中区においては、「何か困ったときに助け合う親しい人がいる」が少なく、「顔は知っているが、言葉を交わすほどではない」が多く、西区においては、「道で会えば立ち話をする程度の人ならいる」が少なかった。天竜区においては、「何か困ったときに助け合う親しい人がいる」が多く、「あいさつ程度の人しかいない」「ほとんど付き合いはない」が少ない結果となった。

ここから、中区においては、近所の人との深い付き合いが少なく、西区においても中区程ではないが近所づきあいが少なく、天竜区では多いという傾向が読み取れる。

・地域内での行事や活動への参加の有無

	参加している	参加していない
中区	▼ 97	△ 134
東区	68	56
西区	62	56
南区	69	54
北区	68	46
浜北区	80	49
天竜区	△ 91	▼ 34

地域的な特徴が見られたのは、中区と天竜区の2地域となった。中区においては、地域内での行事や活動への参加について「参加している」が少なく、天竜区では「参加している」が多いという結果となった。

ここから、中区では地域内での行事や活動への参加が少なく、天竜区では多いという傾向が読み取れる。

・困った時の相談先【(福) 浜松市社会福祉協議会】

	知っていて、 利用したことがある	知っているが、 利用したことが ない	知らない
中区	11	137	82
東区	▼ 0	79	40
西区	6	75	36
南区	7	68	44
北区	10	67	36
浜北区	4	76	48
天竜区	△ 13	79	32

地域的な特徴が見られたのは、東区と天竜区の2地域となった。東区においては、困った時の相談先【(福) 浜松市社会福祉協議会】について「知っていて、利用したことがある」が少なく、天竜区では「知っていて、利用したことがある」が多いという結果となった。

ここから、東区では困った時の相談先に(福) 浜松市社会福祉協議会を利用したことが少なく、天竜区では多いという傾向が読み取れる。

・高齡化や過疎化による担い手不足

	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない
中区	66	83	55	16	4
東区	▼ 28	△ 61	25	3	2
西区	36	43	29	3	1
南区	35	45	28	7	2
北区	29	50	28	4	1
浜北区	38	39	33	9	△ 6
天竜区	△ 70	▼ 37	▼ 11	4	2

地域的な特徴が見られたのは、東区と浜北区と天竜区の3地域となった。東区においては、高齡化や過疎化による担い手不足について「そう思う」が少なく、「ややそう思う」が多くなっている。浜北区では「そう思わない」が多くなっている。天竜区では「そう思う」が多く、「ややそう思う」と「どちらともいえない」が少ないという結果となった。

ここから、東区と浜北区では高齡化や過疎化による担い手不足について、重く考える割合が低く、天竜区では重く考える割合が高いという傾向が読み取れる。

(2) クロス集計における地区別の傾向

今回のアンケート結果から得られた単純集計結果と異なる傾向を示したクロス集計結果は以下のようになっている。

<中区>

- 地域内の行事や活動の参加有無においては、「参加している」が多くなっているが、中区では「参加していない」が多くなっている。

<東区>

- 東区においては、全体の傾向と異なる傾向を示す結果はなかった。

<西区>

- 近所の人との付き合いの程度においては、全体では「道で会えば立ち話をする程度の人ならいる」が最も多いが、西区では「何か困ったときに助け合う親しい人がいる」が最も多くなっている。
- 隣近所はあてにしたいくないので、自分のことは自分で行うにおいては、「ややそう思う」が最も多いが、西区では「どちらともいえない」が最も多くなっている。
- 日々の生活で困った時に、どこに相談すればいいかわからないことがあったかにおいては、「はい（わからないことがあった）」が最も多いが、西区では「いいえ（わからないことはなかった）」が最も多くなっている。

<南区>

- 住民が相互に協力して地域をよくする活動に参加したいにおいては、「ややそう思う」が最も多いが、南区では「どちらともいえない」が最も多くなっている。
- 隣人はあてにしたいくないので、自分のことは自分で行うにおいては、「ややそう思う」が最も多いが、南区では「どちらともいえない」が最も多くなっている。
- 日々の生活で困った時に、どこに相談すればいいかわからないことがあったかにおいては、「はい（わからないことがあった）」が最も多いが、南区では「いいえ（わからないことはなかった）」が最も多くなっている。
- 誰もが気軽に集まれる居場所がないにおいては、「どちらともいえない」が最も多いが、南区では「ややそう思う」が最も多くなっている。
- 誰もが集まれる身近な居場所づくりを行うにおいては、「ややそう思う」が最も多いが、南区では「どちらともいえない」が最も多くなっている。
- ボランティア活動への支援においては、「ややそう思う」が最も多いが、南区では「どちらともいえない」が最も多くなっている。

<北区>

- 住民が相互に協力して地域をよくする活動に参加したいにおいては、「ややそう思う」が最も多いが、北区では「どちらともいえない」が最も多くなっている。
- 隣近所はあてにしたくないので、自分のことは自分で行うにおいては、「ややそう思う」が最も多いが、北区では「どちらともいえない」が最も多くなっている。

<浜北区>

- 障がい者相談支援センターにおいては、「知らない」が最も多くなっているが、浜北区では「知っているが、利用したことがない」が最も多くなっている。
- 住民同士の連帯感（助け合い）の希薄化においては、「ややそう思う」が最も多いが、浜北区では「どちらともいえない」が最も多くなっている。
- 近隣との声かけなど付き合いを活発にするにおいては、「ややそう思う」が最も多いが、浜北区では「どちらともいえない」が最も多くなっている。
- 誰もが集まれる身近な居場所づくりを行うにおいては、「ややそう思う」が最も多いが、浜北区では「どちらともいえない」が最も多くなっている。

<天竜区>

- 住民同士の連帯感（助け合い）の希薄化においては、「ややそう思う」が最も多いが、天竜区では「どちらともいえない」が最も多くなっている。
- ボランティア活動への支援においては、「ややそう思う」が最も多いが、天竜区では「どちらともいえない」が最も多くなっている。

2 居住地別集計

F1 性別

上段：人、下段：%

	調査数	男性	女性	選 べ な い	無 回 答
全体	1,007 100.0	434 43.1	559 55.5	2 0.2	12 1.2
中区	232 100.0	89 38.4	142 61.2	1 0.4	0 0.0
東区	124 100.0	52 41.9	72 58.1	0 0.0	0 0.0
西区	118 100.0	58 49.2	60 50.8	0 0.0	0 0.0
南区	123 100.0	52 42.3	70 56.9	1 0.8	0 0.0
北区	115 100.0	56 48.7	59 51.3	0 0.0	0 0.0
浜北区	129 100.0	56 43.4	73 56.6	0 0.0	0 0.0
天竜区	125 100.0	61 48.8	64 51.2	0 0.0	0 0.0

F2 年齢

上段：人、下段：%

	調査数	2 0 代	3 0 代	4 0 代	5 0 代	6 0 代	7 0 代	8 0 歳 以 上	無 回 答
全体	1,007 100.0	57 5.7	114 11.3	170 16.9	199 19.8	192 19.1	263 26.1	0 0.0	12 1.2
中区	232 100.0	13 5.6	26 11.2	42 18.1	45 19.4	37 15.9	69 29.7	0 0.0	0 0.0
東区	124 100.0	5 4.0	17 13.7	22 17.7	24 19.4	24 19.4	32 25.8	0 0.0	0 0.0
西区	118 100.0	9 7.6	12 10.2	18 15.3	26 22.0	26 22.0	27 22.9	0 0.0	0 0.0
南区	123 100.0	6 4.9	18 14.6	14 11.4	24 19.5	29 23.6	32 26.0	0 0.0	0 0.0
北区	115 100.0	5 4.3	11 9.6	24 20.9	21 18.3	25 21.7	29 25.2	0 0.0	0 0.0
浜北区	129 100.0	9 7.0	14 10.9	23 17.8	28 21.7	22 17.1	33 25.6	0 0.0	0 0.0
天竜区	125 100.0	6 4.8	14 11.2	22 17.6	29 23.2	24 19.2	30 24.0	0 0.0	0 0.0

F3 職業

上段：人、下段：%

	調査数	自営業	会社員	公務員	パート・アルバイト	家事専業	学生	無職	その他	無回答
全体	1,007 100.0	94 9.3	327 32.5	39 3.9	188 18.7	105 10.4	8 0.8	212 21.1	20 2.0	14 1.4
中区	232 100.0	18 7.8	76 32.8	9 3.9	41 17.7	23 9.9	5 2.2	54 23.3	5 2.2	1 0.4
東区	124 100.0	9 7.3	44 35.5	6 4.8	19 15.3	14 11.3	0 0.0	31 25.0	1 0.8	0 0.0
西区	118 100.0	9 7.6	40 33.9	6 5.1	24 20.3	11 9.3	1 0.8	25 21.2	2 1.7	0 0.0
南区	123 100.0	11 8.9	43 35.0	3 2.4	26 21.1	18 14.6	0 0.0	19 15.4	3 2.4	0 0.0
北区	115 100.0	13 11.3	40 34.8	3 2.6	17 14.8	11 9.6	1 0.9	24 20.9	5 4.3	1 0.9
浜北区	129 100.0	16 12.4	37 28.7	5 3.9	26 20.2	13 10.1	0 0.0	29 22.5	3 2.3	0 0.0
天竜区	125 100.0	15 12.0	42 33.6	5 4.0	28 22.4	11 8.8	1 0.8	22 17.6	1 0.8	0 0.0

F4 世帯構成

上段：人、下段：%

	調査数	ひとり暮らし	夫婦のみ	親と子（2世代）	親と子と孫（3世代）	その他	無回答
全体	1,007 100.0	99 9.8	273 27.1	488 48.5	116 11.5	17 1.7	14 1.4
中区	232 100.0	33 14.2	68 29.3	114 49.1	13 5.6	3 1.3	1 0.4
東区	124 100.0	7 5.6	35 28.2	61 49.2	18 14.5	3 2.4	0 0.0
西区	118 100.0	14 11.9	33 28.0	55 46.6	13 11.0	2 1.7	1 0.8
南区	123 100.0	13 10.6	35 28.5	57 46.3	18 14.6	0 0.0	0 0.0
北区	115 100.0	13 11.3	24 20.9	61 53.0	16 13.9	1 0.9	0 0.0
浜北区	129 100.0	6 4.7	36 27.9	65 50.4	21 16.3	1 0.8	0 0.0
天竜区	125 100.0	9 7.2	36 28.8	62 49.6	13 10.4	5 4.0	0 0.0

F5 あなたの同居者に「同居の家族以外からの支援を必要とするような方」はいますか。

上段：人、下段：%

	調査数	はい	いいえ	無回答
全体	1,007 100.0	89 8.8	891 88.5	27 2.7
中区	232 100.0	23 9.9	205 88.4	4 1.7
東区	124 100.0	9 7.3	113 91.1	2 1.6
西区	118 100.0	8 6.8	108 91.5	2 1.7
南区	123 100.0	8 6.5	113 91.9	2 1.6
北区	115 100.0	17 14.8	96 83.5	2 1.7
浜北区	129 100.0	10 7.8	116 89.9	3 2.3
天竜区	125 100.0	14 11.2	111 88.8	0 0.0

F5-1 その方はどのような方ですか。

上段：人、下段：%

	調査数	介護を必要とする人	認知症の人	障がい・知的・精神など	その他	無回答
全体	89 100.0	50 56.2	12 13.5	35 39.3	10 11.2	0 0.0
中区	23 100.0	15 65.2	7 30.4	6 26.1	2 8.7	0 0.0
東区	9 100.0	6 66.7	0 0.0	5 55.6	0 0.0	0 0.0
西区	8 100.0	4 50.0	2 25.0	3 37.5	0 0.0	0 0.0
南区	8 100.0	4 50.0	0 0.0	2 25.0	2 25.0	0 0.0
北区	17 100.0	7 41.2	1 5.9	7 41.2	3 17.6	0 0.0
浜北区	10 100.0	5 50.0	1 10.0	7 70.0	0 0.0	0 0.0
天竜区	14 100.0	9 64.3	1 7.1	5 35.7	3 21.4	0 0.0

F6 お住まいの区名と町名を記入してください。

上段：人、下段：%

	調査数	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区	無回答
全体	1,007 100.0	232 23.0	124 12.3	118 11.7	123 12.2	115 11.4	129 12.8	125 12.4	41 4.1
中区	232 100.0	232 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
東区	124 100.0	0 0.0	124 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
西区	118 100.0	0 0.0	0 0.0	118 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
南区	123 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	123 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
北区	115 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	115 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
浜北区	129 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	129 100.0	0 0.0	0 0.0
天竜区	125 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 100.0	125 100.0	0 0.0

F7 現在のお住まいでの居住年数はどのぐらいですか。

上段：人、下段：%

	調査数	3年未満	3年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上15年未満	15年以上20年未満	20年以上	無回答
全体	1,007 100.0	92 9.1	56 5.6	101 10.0	102 10.1	85 8.4	533 52.9	38 3.8
中区	232 100.0	27 11.6	20 8.6	27 11.6	23 9.9	31 13.4	104 44.8	0 0.0
東区	124 100.0	8 6.5	5 4.0	18 14.5	10 8.1	8 6.5	75 60.5	0 0.0
西区	118 100.0	13 11.0	5 4.2	11 9.3	17 14.4	10 8.5	62 52.5	0 0.0
南区	123 100.0	16 13.0	9 7.3	13 10.6	10 8.1	10 8.1	65 52.8	0 0.0
北区	115 100.0	8 7.0	7 6.1	10 8.7	10 8.7	5 4.3	75 65.2	0 0.0
浜北区	129 100.0	8 6.2	7 5.4	12 9.3	19 14.7	12 9.3	71 55.0	0 0.0
天竜区	125 100.0	12 9.6	3 2.4	10 8.0	13 10.4	9 7.2	78 62.4	0 0.0

問1 ご近所の人たちとの程度お付き合いをしていますか。

上段：人、下段：%

	調査数	親しい人がいる 何か困ったときに助け合う	程度で会えば立ち話を する	しあさいをする程度の人 はいない	顔は知ってるが、言葉 交わすほどではない	ほとんど付き合いはない	無回答
全体	1,007 100.0	269 26.7	361 35.8	244 24.2	30 3.0	90 8.9	13 1.3
中区	232 100.0	44 19.0	82 35.3	68 29.3	13 5.6	25 10.8	0 0.0
東区	124 100.0	29 23.4	48 38.7	31 25.0	1 0.8	15 12.1	0 0.0
西区	118 100.0	39 33.1	33 28.0	28 23.7	6 5.1	12 10.2	0 0.0
南区	123 100.0	30 24.4	41 33.3	31 25.2	5 4.1	16 13.0	0 0.0
北区	115 100.0	27 23.5	45 39.1	31 27.0	2 1.7	10 8.7	0 0.0
浜北区	129 100.0	39 30.2	49 38.0	31 24.0	1 0.8	8 6.2	1 0.8
天竜区	125 100.0	51 40.8	52 41.6	18 14.4	2 1.6	2 1.6	0 0.0

問2 地域内での行事や活動に参加していますか。

上段：人、下段：%

	調査数	参加している	参加していない	無回答
全体	1,007 100.0	552 54.8	441 43.8	14 1.4
中区	232 100.0	97 41.8	134 57.8	1 0.4
東区	124 100.0	68 54.8	56 45.2	0 0.0
西区	118 100.0	62 52.5	56 47.5	0 0.0
南区	123 100.0	69 56.1	54 43.9	0 0.0
北区	115 100.0	68 59.1	46 40.0	1 0.9
浜北区	129 100.0	80 62.0	49 38.0	0 0.0
天竜区	125 100.0	91 72.8	34 27.2	0 0.0

問2-1 どのような活動に参加していますか。

上段：人、下段：%

	調査数	自治会活動	P T A 活動	子ども会	シニアクラブ	お祭り	地域の環境美化 (花づくり、清掃) 活動	防犯・交通安全関係の活動	その他	無回答
全体	552 100.0	444 80.4	58 10.5	78 14.1	29 5.3	232 42.0	135 24.5	47 8.5	32 5.8	0 0.0
中区	97 100.0	76 78.4	10 10.3	11 11.3	4 4.1	31 32.0	16 16.5	5 5.2	4 4.1	0 0.0
東区	68 100.0	55 80.9	4 5.9	17 25.0	3 4.4	29 42.6	17 25.0	4 5.9	1 1.5	0 0.0
西区	62 100.0	48 77.4	11 17.7	8 12.9	6 9.7	26 41.9	10 16.1	5 8.1	7 11.3	0 0.0
南区	69 100.0	57 82.6	4 5.8	5 7.2	4 5.8	14 20.3	14 20.3	5 7.2	7 10.1	0 0.0
北区	68 100.0	60 88.2	8 11.8	11 16.2	1 1.5	34 50.0	24 35.3	6 8.8	3 4.4	0 0.0
浜北区	80 100.0	61 76.3	8 10.0	13 16.3	7 8.8	34 42.5	15 18.8	6 7.5	4 5.0	0 0.0
天竜区	91 100.0	75 82.4	10 11.0	10 11.0	4 4.4	55 60.4	38 41.8	15 16.5	5 5.5	0 0.0

問3 地域社会におけるかかわりについて、以下の1～5の項目について、あなたはどうか考えですか。

1. 隣人との支え合い助け合いなど、付き合いを大切にしたい

上段：人、下段：%

	調査数	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体	1,007 100.0	428 42.5	296 29.4	193 19.2	57 5.7	21 2.1	12 1.2
中区	232 100.0	79 34.1	71 30.6	55 23.7	21 9.1	6 2.6	0 0.0
東区	124 100.0	46 37.1	44 35.5	26 21.0	3 2.4	5 4.0	0 0.0
西区	118 100.0	55 46.6	31 26.3	25 21.2	6 5.1	1 0.8	0 0.0
南区	123 100.0	55 44.7	38 30.9	19 15.4	7 5.7	4 3.3	0 0.0
北区	115 100.0	53 46.1	30 26.1	23 20.0	7 6.1	2 1.7	0 0.0
浜北区	129 100.0	60 46.5	39 30.2	19 14.7	8 6.2	3 2.3	0 0.0
天竜区	125 100.0	65 52.0	35 28.0	21 16.8	4 3.2	0 0.0	0 0.0

2. 住民が相互に協力して地域をよくする活動に参加したい

上段：人、下段：%

	調査数	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体	1,007 100.0	206 20.5	328 32.6	304 30.2	103 10.2	51 5.1	15 1.5
中区	232 100.0	37 15.9	82 35.3	69 29.7	28 12.1	14 6.0	2 0.9
東区	124 100.0	17 13.7	42 33.9	37 29.8	20 16.1	8 6.5	0 0.0
西区	118 100.0	23 19.5	43 36.4	36 30.5	10 8.5	6 5.1	0 0.0
南区	123 100.0	32 26.0	31 25.2	42 34.1	11 8.9	7 5.7	0 0.0
北区	115 100.0	24 20.9	36 31.3	40 34.8	9 7.8	6 5.2	0 0.0
浜北区	129 100.0	27 20.9	46 35.7	36 27.9	13 10.1	7 5.4	0 0.0
天竜区	125 100.0	38 30.4	41 32.8	35 28.0	9 7.2	2 1.6	0 0.0

3. 隣近所はあてにしたくないので、自分のことは自分で行う

上段：人、下段：%

	調査数	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体	1,007 100.0	179 17.8	276 27.4	268 26.6	152 15.1	115 11.4	17 1.7
中区	232 100.0	47 20.3	70 30.2	65 28.0	32 13.8	14 6.0	4 1.7
東区	124 100.0	25 20.2	37 29.8	32 25.8	19 15.3	11 8.9	0 0.0
西区	118 100.0	18 15.3	30 25.4	34 28.8	15 12.7	20 16.9	1 0.8
南区	123 100.0	26 21.1	24 19.5	38 30.9	22 17.9	13 10.6	0 0.0
北区	115 100.0	24 20.9	27 23.5	30 26.1	20 17.4	14 12.2	0 0.0
浜北区	129 100.0	19 14.7	41 31.8	32 24.8	18 14.0	19 14.7	0 0.0
天竜区	125 100.0	16 12.8	37 29.6	31 24.8	23 18.4	18 14.4	0 0.0

4. 時間に余裕がある人や、やる気のある人が地域にかかわればよい

上段：人、下段：%

	調査数	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体	1,007 100.0	166 16.5	271 26.9	316 31.4	139 13.8	101 10.0	14 1.4
中区	232 100.0	42 18.1	68 29.3	74 31.9	30 12.9	16 6.9	2 0.9
東区	124 100.0	24 19.4	36 29.0	39 31.5	13 10.5	12 9.7	0 0.0
西区	118 100.0	16 13.6	32 27.1	42 35.6	17 14.4	11 9.3	0 0.0
南区	123 100.0	24 19.5	27 22.0	35 28.5	18 14.6	19 15.4	0 0.0
北区	115 100.0	18 15.7	31 27.0	36 31.3	20 17.4	10 8.7	0 0.0
浜北区	129 100.0	16 12.4	38 29.5	38 29.5	19 14.7	18 14.0	0 0.0
天竜区	125 100.0	19 15.2	32 25.6	42 33.6	20 16.0	12 9.6	0 0.0

5. プライバシーに立ち入られるのが嫌なので、隣近所に助けてもらうのは気が進まない

上段：人、下段：%

	調査数	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体	1,007 100.0	82 8.1	205 20.4	338 33.6	212 21.1	156 15.5	14 1.4
中区	232 100.0	28 12.1	52 22.4	80 34.5	38 16.4	32 13.8	2 0.9
東区	124 100.0	9 7.3	28 22.6	42 33.9	29 23.4	16 12.9	0 0.0
西区	118 100.0	9 7.6	24 20.3	38 32.2	27 22.9	20 16.9	0 0.0
南区	123 100.0	9 7.3	26 21.1	32 26.0	32 26.0	24 19.5	0 0.0
北区	115 100.0	11 9.6	21 18.3	40 34.8	23 20.0	20 17.4	0 0.0
浜北区	129 100.0	9 7.0	28 21.7	49 38.0	24 18.6	19 14.7	0 0.0
天竜区	125 100.0	6 4.8	21 16.8	46 36.8	30 24.0	22 17.6	0 0.0

問4 ご近所の人にどのようなお手伝いをした経験がありますか。

上段：人、下段：%

	調査数	声かけ	食事などのおすそわけ	掃除や洗濯	話し相手・相談相手	買い物	通院や散歩などの外出支援	ごみ出し	その他	特 に ない	無 回 答
全体	1,007 100.0	409 40.6	219 21.7	14 1.4	252 25.0	29 2.9	29 2.9	61 6.1	27 2.7	442 43.9	13 1.3
中区	232 100.0	77 33.2	36 15.5	4 1.7	53 22.8	1 0.4	0 0.0	13 5.6	1 0.4	121 52.2	4 1.7
東区	124 100.0	54 43.5	32 25.8	2 1.6	28 22.6	3 2.4	4 3.2	8 6.5	5 4.0	52 41.9	2 1.6
西区	118 100.0	45 38.1	25 21.2	1 0.8	32 27.1	2 1.7	1 0.8	7 5.9	0 0.0	56 47.5	1 0.8
南区	123 100.0	52 42.3	25 20.3	2 1.6	34 27.6	2 1.6	5 4.1	7 5.7	1 0.8	53 43.1	3 2.4
北区	115 100.0	47 40.9	21 18.3	1 0.9	23 20.0	2 1.7	3 2.6	6 5.2	4 3.5	52 45.2	2 1.7
浜北区	129 100.0	53 41.1	34 26.4	1 0.8	32 24.8	3 2.3	2 1.6	6 4.7	9 7.0	52 40.3	0 0.0
天竜区	125 100.0	64 51.2	41 32.8	3 2.4	36 28.8	14 11.2	13 10.4	12 9.6	5 4.0	39 31.2	0 0.0

問5 あなたやあなたの家族が高齢になったり、病気や事故などで日常生活が不自由となったりしたとき、地域で何をしてほしいですか。

上段：人、下段：%

	調査数	声かけ	食事などのおすそわけ	掃除や洗濯	話し相手・相談相手	買い物	通院や散歩などの外出支援	ごみ出し	その他	特 に ない	無 回 答
全体	1,007 100.0	540 53.6	68 6.8	77 7.6	417 41.4	224 22.2	241 23.9	234 23.2	20 2.0	190 18.9	9 0.9
中区	232 100.0	116 50.0	11 4.7	14 6.0	84 36.2	36 15.5	42 18.1	48 20.7	4 1.7	56 24.1	2 0.9
東区	124 100.0	67 54.0	7 5.6	8 6.5	52 41.9	28 22.6	25 20.2	29 23.4	1 0.8	26 21.0	1 0.8
西区	118 100.0	60 50.8	8 6.8	8 6.8	50 42.4	31 26.3	38 32.2	30 25.4	5 4.2	19 16.1	1 0.8
南区	123 100.0	60 48.8	4 3.3	9 7.3	51 41.5	25 20.3	29 23.6	28 22.8	1 0.8	23 18.7	3 2.4
北区	115 100.0	70 60.9	7 6.1	8 7.0	43 37.4	29 25.2	34 29.6	36 31.3	4 3.5	23 20.0	1 0.9
浜北区	129 100.0	73 56.6	13 10.1	14 10.9	63 48.8	30 23.3	25 19.4	34 26.4	2 1.6	18 14.0	0 0.0
天竜区	125 100.0	73 58.4	13 10.4	12 9.6	54 43.2	34 27.2	36 28.8	21 16.8	3 2.4	19 15.2	1 0.8

問6 地域における災害時の備えとして、重要だと思うことは何ですか。

上段：人、下段：%

	調査数	地域での日頃からの つきあい、声かけや あいさつ	地域での危険箇所の把握	地域での避難訓練	地域における援助体制 づくり	災害時に支援を必要として いる人の把握	防災の学習会	災害ボランティアへの受入れ体制 の強化	その他	無回答
全体	1,007 100.0	698 69.3	573 56.9	370 36.7	383 38.0	457 45.4	151 15.0	241 23.9	19 1.9	12 1.2
中区	232 100.0	151 65.1	114 49.1	78 33.6	79 34.1	106 45.7	29 12.5	52 22.4	7 3.0	3 1.3
東区	124 100.0	88 71.0	75 60.5	40 32.3	46 37.1	59 47.6	18 14.5	29 23.4	0 0.0	1 0.8
西区	118 100.0	79 66.9	73 61.9	37 31.4	49 41.5	63 53.4	26 22.0	28 23.7	2 1.7	2 1.7
南区	123 100.0	88 71.5	71 57.7	46 37.4	46 37.4	55 44.7	13 10.6	25 20.3	3 2.4	3 2.4
北区	115 100.0	79 68.7	63 54.8	42 36.5	47 40.9	54 47.0	24 20.9	27 23.5	2 1.7	2 1.7
浜北区	129 100.0	92 71.3	73 56.6	54 41.9	52 40.3	51 39.5	17 13.2	36 27.9	2 1.6	0 0.0
天竜区	125 100.0	93 74.4	77 61.6	57 45.6	47 37.6	53 42.4	19 15.2	28 22.4	2 1.6	0 0.0

問7 日々の生活で困っていること、悩みはなんですか。

上段：人、下段：%

	調査数	子育てのこと	健康のこと	介護のこと	住まいのこと	仕事のこと	経済的なこと	近所づきあいのこと	防犯や交通安全などのこと	災害等緊急時の対応のこと	認知症のこと	移動手段のこと	家事・片付けのこと	その他	特になし	無回答
全体	1,007 100.0	75 7.4	244 24.2	105 10.4	95 9.4	114 11.3	180 17.9	48 4.8	79 7.8	124 12.3	59 5.9	52 5.2	39 3.9	24 2.4	402 39.9	18 1.8
中区	232 100.0	21 9.1	56 24.1	21 9.1	13 5.6	22 9.5	36 15.5	8 3.4	18 7.8	21 9.1	11 4.7	6 2.6	12 5.2	5 2.2	95 40.9	5 2.2
東区	124 100.0	15 12.1	32 25.8	19 15.3	12 9.7	12 9.7	20 16.1	6 4.8	11 8.9	21 16.9	11 8.9	5 4.0	4 3.2	1 0.8	55 44.4	1 0.8
西区	118 100.0	5 4.2	29 24.6	11 9.3	13 11.0	14 11.9	24 20.3	10 8.5	11 9.3	18 15.3	7 5.9	10 8.5	3 2.5	3 2.5	45 38.1	3 2.5
南区	123 100.0	5 4.1	28 22.8	13 10.6	16 13.0	16 13.0	20 16.3	4 3.3	11 8.9	15 12.2	5 4.1	5 4.1	4 3.3	0 0.0	51 41.5	3 2.4
北区	115 100.0	6 5.2	26 22.6	15 13.0	11 9.6	14 12.2	21 18.3	8 7.0	10 8.7	10 8.7	6 5.2	8 7.0	2 1.7	3 2.6	44 38.3	1 0.9
浜北区	129 100.0	12 9.3	29 22.5	10 7.8	14 10.9	11 8.5	25 19.4	3 2.3	7 5.4	11 8.5	5 3.9	5 3.9	5 3.9	1 0.8	53 41.1	1 0.8
天竜区	125 100.0	9 7.2	32 25.6	12 9.6	15 12.0	17 13.6	24 19.2	6 4.8	7 5.6	22 17.6	11 8.8	10 8.0	7 5.6	8 6.4	48 38.4	2 1.6

問8 あなたが日々の生活で困った時に、どこに相談すればいいかわからないことがありましたか。

上段：人、下段：%

	調査数	はい （分らないことが あった）	ない （分らないことは なかった）	困 った こと は ない	無 回 答
全体	1,007 100.0	300 29.8	326 32.4	357 35.5	24 2.4
中区	232 100.0	67 28.9	79 34.1	83 35.8	3 1.3
東区	124 100.0	42 33.9	39 31.5	40 32.3	3 2.4
西区	118 100.0	36 30.5	40 33.9	38 32.2	4 3.4
南区	123 100.0	31 25.2	47 38.2	40 32.5	5 4.1
北区	115 100.0	37 32.2	28 24.3	48 41.7	2 1.7
浜北区	129 100.0	33 25.6	44 34.1	51 39.5	1 0.8
天竜区	125 100.0	36 28.8	36 28.8	49 39.2	4 3.2

問9 困った時の相談先として、以下の機関、団体等で知っているものはありますか。

1. 民生委員・児童委員

上段：人、下段：%

	調査数	利 用 し て い る こ と が あ る	利 用 し て い る が 、 な い	知 ら な い	無 回 答
全体	1,007 100.0	45 4.5	761 75.6	180 17.9	21 2.1
中区	232 100.0	9 3.9	172 74.1	46 19.8	5 2.2
東区	124 100.0	4 3.2	93 75.0	24 19.4	3 2.4
西区	118 100.0	4 3.4	93 78.8	20 16.9	1 0.8
南区	123 100.0	6 4.9	93 75.6	21 17.1	3 2.4
北区	115 100.0	5 4.3	86 74.8	20 17.4	4 3.5
浜北区	129 100.0	6 4.7	99 76.7	21 16.3	3 2.3
天竜区	125 100.0	7 5.6	94 75.2	23 18.4	1 0.8

2. (福)浜松市社会福祉協議会

上段：人、下段：%

	調査数	利知 用つて いたこと がある	利知 用つて いるが、 がない	知 らない	無 回答
全体	1,007 100.0	53 5.3	606 60.2	330 32.8	18 1.8
中区	232 100.0	11 4.7	137 59.1	82 35.3	2 0.9
東区	124 100.0	0 0.0	79 63.7	40 32.3	5 4.0
西区	118 100.0	6 5.1	75 63.6	36 30.5	1 0.8
南区	123 100.0	7 5.7	68 55.3	44 35.8	4 3.3
北区	115 100.0	10 8.7	67 58.3	36 31.3	2 1.7
浜北区	129 100.0	4 3.1	76 58.9	48 37.2	1 0.8
天竜区	125 100.0	13 10.4	79 63.2	32 25.6	1 0.8

3. 地域包括支援センター(高齢者相談センター)

上段：人、下段：%

	調査数	利知 用つて いたこと がある	利知 用つて いるが、 がない	知 らない	無 回答
全体	1,007 100.0	133 13.2	480 47.7	379 37.6	15 1.5
中区	232 100.0	27 11.6	114 49.1	89 38.4	2 0.9
東区	124 100.0	15 12.1	60 48.4	46 37.1	3 2.4
西区	118 100.0	15 12.7	63 53.4	39 33.1	1 0.8
南区	123 100.0	17 13.8	52 42.3	51 41.5	3 2.4
北区	115 100.0	14 12.2	54 47.0	45 39.1	2 1.7
浜北区	129 100.0	16 12.4	62 48.1	51 39.5	0 0.0
天竜区	125 100.0	23 18.4	57 45.6	43 34.4	2 1.6

4. 障がい者相談支援センター

上段：人、下段：%

	調査数	利用しているが、 利用したことがある	利用しているが、 利用していない	知らない	無回答
全体	1,007 100.0	36 3.6	452 44.9	496 49.3	23 2.3
中区	232 100.0	7 3.0	106 45.7	113 48.7	6 2.6
東区	124 100.0	5 4.0	51 41.1	64 51.6	4 3.2
西区	118 100.0	3 2.5	51 43.2	63 53.4	1 0.8
南区	123 100.0	3 2.4	48 39.0	68 55.3	4 3.3
北区	115 100.0	5 4.3	53 46.1	54 47.0	3 2.6
浜北区	129 100.0	5 3.9	67 51.9	56 43.4	1 0.8
天竜区	125 100.0	6 4.8	57 45.6	59 47.2	3 2.4

5. 生活自立相談支援センターつながり

上段：人、下段：%

	調査数	利用しているが、 利用したことがある	利用しているが、 利用していない	知らない	無回答
全体	1,007 100.0	11 1.1	240 23.8	724 71.9	32 3.2
中区	232 100.0	5 2.2	54 23.3	166 71.6	7 3.0
東区	124 100.0	0 0.0	28 22.6	91 73.4	5 4.0
西区	118 100.0	1 0.8	26 22.0	89 75.4	2 1.7
南区	123 100.0	1 0.8	24 19.5	94 76.4	4 3.3
北区	115 100.0	2 1.7	32 27.8	77 67.0	4 3.5
浜北区	129 100.0	0 0.0	30 23.3	96 74.4	3 2.3
天竜区	125 100.0	2 1.6	35 28.0	83 66.4	5 4.0

6. 若者相談支援窓口「わかば」

上段：人、下段：%

	調査数	利知 用つて いたこと がある	利知 用つて いるが、 ない	知 らない	無 回答
全体	1,007 100.0	3 0.3	151 15.0	822 81.6	31 3.1
中区	232 100.0	1 0.4	36 15.5	190 81.9	5 2.2
東区	124 100.0	0 0.0	15 12.1	104 83.9	5 4.0
西区	118 100.0	1 0.8	17 14.4	98 83.1	2 1.7
南区	123 100.0	0 0.0	16 13.0	102 82.9	5 4.1
北区	115 100.0	1 0.9	18 15.7	93 80.9	3 2.6
浜北区	129 100.0	0 0.0	18 14.0	107 82.9	4 3.1
天竜区	125 100.0	0 0.0	23 18.4	97 77.6	5 4.0

7. 発達相談支援センタールピオ

上段：人、下段：%

	調査数	利知 用つて いたこと がある	利知 用つて いるが、 ない	知 らない	無 回答
全体	1,007 100.0	18 1.8	204 20.3	750 74.5	35 3.5
中区	232 100.0	3 1.3	48 20.7	174 75.0	7 3.0
東区	124 100.0	4 3.2	22 17.7	92 74.2	6 4.8
西区	118 100.0	5 4.2	19 16.1	92 78.0	2 1.7
南区	123 100.0	2 1.6	22 17.9	94 76.4	5 4.1
北区	115 100.0	2 1.7	30 26.1	79 68.7	4 3.5
浜北区	129 100.0	0 0.0	32 24.8	93 72.1	4 3.1
天竜区	125 100.0	1 0.8	23 18.4	96 76.8	5 4.0

8. 児童家庭支援センター

上段：人、下段：%

	調査数	利用しているが、 利用したことがある	利用しているが、 利用していない	知らない	無回答
全体	1,007 100.0	5 0.5	248 24.6	718 71.3	36 3.6
中区	232 100.0	2 0.9	60 25.9	163 70.3	7 3.0
東区	124 100.0	0 0.0	31 25.0	88 71.0	5 4.0
西区	118 100.0	1 0.8	23 19.5	91 77.1	3 2.5
南区	123 100.0	0 0.0	24 19.5	94 76.4	5 4.1
北区	115 100.0	2 1.7	27 23.5	82 71.3	4 3.5
浜北区	129 100.0	0 0.0	34 26.4	91 70.5	4 3.1
天竜区	125 100.0	0 0.0	38 30.4	81 64.8	6 4.8

9. 教育総合支援センター

上段：人、下段：%

	調査数	利用しているが、 利用したことがある	利用しているが、 利用していない	知らない	無回答
全体	1,007 100.0	4 0.4	195 19.4	771 76.6	37 3.7
中区	232 100.0	2 0.9	43 18.5	180 77.6	7 3.0
東区	124 100.0	0 0.0	27 21.8	92 74.2	5 4.0
西区	118 100.0	1 0.8	18 15.3	95 80.5	4 3.4
南区	123 100.0	0 0.0	22 17.9	96 78.0	5 4.1
北区	115 100.0	1 0.9	24 20.9	86 74.8	4 3.5
浜北区	129 100.0	0 0.0	24 18.6	101 78.3	4 3.1
天竜区	125 100.0	0 0.0	27 21.6	92 73.6	6 4.8

問 10 福祉について関心を持っていることは、次のうちどれですか。

上段：人、下段：%

	調査数	介護のこと	障害のこと	子どものこと	健康のこと	ボランティア活動のこと	家庭内暴力、虐待のこと	成年後見制度	その他	特 に ない	無 回 答
全体	1,007 100.0	540 53.6	185 18.4	215 21.4	411 40.8	174 17.3	73 7.2	102 10.1	3 0.3	182 18.1	13 1.3
中区	232 100.0	116 50.0	47 20.3	48 20.7	91 39.2	44 19.0	13 5.6	25 10.8	1 0.4	47 20.3	3 1.3
東区	124 100.0	68 54.8	23 18.5	31 25.0	50 40.3	24 19.4	7 5.6	16 12.9	0 0.0	15 12.1	2 1.6
西区	118 100.0	58 49.2	17 14.4	26 22.0	43 36.4	23 19.5	10 8.5	21 17.8	0 0.0	25 21.2	3 2.5
南区	123 100.0	68 55.3	20 16.3	27 22.0	48 39.0	18 14.6	14 11.4	8 6.5	2 1.6	23 18.7	2 1.6
北区	115 100.0	57 49.6	21 18.3	20 17.4	43 37.4	13 11.3	6 5.2	14 12.2	0 0.0	30 26.1	2 1.7
浜北区	129 100.0	71 55.0	24 18.6	30 23.3	53 41.1	22 17.1	5 3.9	9 7.0	0 0.0	22 17.1	0 0.0
天竜区	125 100.0	73 58.4	23 18.4	24 19.2	63 50.4	24 19.2	14 11.2	7 5.6	0 0.0	17 13.6	1 0.8

問 11 地域のボランティア活動に今後、参加したいと思いますか。

上段：人、下段：%

	調査数	参加 したい	参加 したくない	無 回 答
全体	1,007 100.0	357 35.5	619 61.5	31 3.1
中区	232 100.0	78 33.6	148 63.8	6 2.6
東区	124 100.0	43 34.7	78 62.9	3 2.4
西区	118 100.0	38 32.2	75 63.6	5 4.2
南区	123 100.0	42 34.1	75 61.0	6 4.9
北区	115 100.0	46 40.0	68 59.1	1 0.9
浜北区	129 100.0	38 29.5	86 66.7	5 3.9
天竜区	125 100.0	56 44.8	68 54.4	1 0.8

問 11-1 今後、ボランティア活動に参加したくない理由は、次のうちどれですか。

上段：人、下段：%

調査数	仕事や家事が忙しく時間が取れないから	小さな子どもや介護を必要とする家族がいるから	興味や関心の持てる活動がないから	健康に自信がないから	参加する必要性を感じないから	人と接することが好きではないから	活動のための資格や技術がないから	身近に活動グループや仲間がいらないから	知らないような活動があるから	活動への参加方法が分からないから	家族や職場の理解が得られないから	現在参加しているが、負担に感じているから	その他	無回答	
全体	619 100.0	351 56.7	90 14.5	66 10.7	167 27.0	50 8.1	112 18.1	76 12.3	97 15.7	146 23.6	72 11.6	15 2.4	20 3.2	36 5.8	4 0.6
中区	148 100.0	82 55.4	19 12.8	14 9.5	42 28.4	9 6.1	25 16.9	11 7.4	15 10.1	32 21.6	12 8.1	4 2.7	4 2.7	9 6.1	2 1.4
東区	78 100.0	39 50.0	16 20.5	8 10.3	25 32.1	7 9.0	16 20.5	8 10.3	13 16.7	22 28.2	10 12.8	1 1.3	4 5.1	7 9.0	0 0.0
西区	75 100.0	50 66.7	11 14.7	9 12.0	21 28.0	7 9.3	16 21.3	8 10.7	17 22.7	24 32.0	10 13.3	2 2.7	2 2.7	3 4.0	0 0.0
南区	75 100.0	43 57.3	10 13.3	12 16.0	17 22.7	9 12.0	10 13.3	10 13.3	13 17.3	17 22.7	15 20.0	1 1.3	1 1.3	1 1.3	0 0.0
北区	68 100.0	35 51.5	14 20.6	6 8.8	20 29.4	2 2.9	12 17.6	11 16.2	15 22.1	17 25.0	9 13.2	3 4.4	3 4.4	6 8.8	2 2.9
浜北区	86 100.0	45 52.3	10 11.6	11 12.8	20 23.3	8 9.3	19 22.1	12 14.0	12 14.0	18 20.9	11 12.8	1 1.2	2 2.3	6 7.0	0 0.0
天竜区	68 100.0	47 69.1	7 10.3	5 7.4	13 19.1	7 10.3	9 13.2	14 20.6	9 13.2	11 16.2	3 4.4	3 4.4	3 4.4	4 5.9	0 0.0

問 12 (福)浜松市社会福祉協議会は、社会福祉法により設置が規定された民間の社会福祉法人で、住民の福祉活動の組織化や社会福祉を目的とする事業などを推進しています。

(福)浜松市社会福祉協議会が行う以下の活動の内、今後も力を入れてほしい活動は、次のうちどれですか。

上段：人、下段：%

調査数	福祉に関する啓発活動	ボランティア活動への費用負担	ボランティアに係る人材育成	ボランティアの構築	ボランティアの拠点確保や各種支援活動	災害時におけるボランティア活動の拠点	福祉に関する総合的な相談窓口	福祉に関する総合的な相談窓口	児童・高齢者・障がい者の見守り体制の構築	生活困窮者支援に関する事業	成年後見制度の利用促進	その他	特にない	無回答
全体	1,007 100.0	218 21.6	169 16.8	188 18.7	156 15.5	358 35.6	338 33.6	424 42.1	199 19.8	67 6.7	15 1.5	134 13.3	35 3.5	
中区	232 100.0	51 22.0	36 15.5	39 16.8	40 17.2	78 33.6	74 31.9	99 42.7	40 17.2	9 3.9	5 2.2	28 12.1	7 3.0	
東区	124 100.0	33 26.6	22 17.7	29 23.4	24 19.4	58 46.8	45 36.3	64 51.6	26 21.0	15 12.1	0 0.0	15 12.1	2 1.6	
西区	118 100.0	26 22.0	21 17.8	28 23.7	30 25.4	45 38.1	43 36.4	52 44.1	26 22.0	7 5.9	2 1.7	14 11.9	6 5.1	
南区	123 100.0	23 18.7	17 13.8	17 13.8	14 11.4	48 39.0	35 28.5	52 42.3	27 22.0	6 4.9	0 0.0	16 13.0	4 3.3	
北区	115 100.0	31 27.0	20 17.4	24 20.9	22 19.1	33 28.7	36 31.3	40 34.8	27 23.5	13 11.3	2 1.7	19 16.5	6 5.2	
浜北区	129 100.0	19 14.7	27 20.9	24 18.6	12 9.3	39 30.2	43 33.3	48 37.2	27 20.9	10 7.8	2 1.6	18 14.0	4 3.1	
天竜区	125 100.0	26 20.8	20 16.0	19 15.2	11 8.8	46 36.8	48 38.4	53 42.4	18 14.4	4 3.2	3 2.4	21 16.8	2 1.6	

問 13 誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう地域の福祉を充実させていく上で、あなたのお住まいの地域における問題点についてお聞きします。以下の1～6の項目について、お答えください。

1. 住民同士の連帯感(助け合い)の希薄化

上段：人、下段：%

	調査数	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体	1,007 100.0	192 19.1	335 33.3	285 28.3	118 11.7	34 3.4	43 4.3
中区	232 100.0	53 22.8	84 36.2	56 24.1	23 9.9	6 2.6	10 4.3
東区	124 100.0	21 16.9	44 35.5	42 33.9	9 7.3	4 3.2	4 3.2
西区	118 100.0	19 16.1	40 33.9	36 30.5	14 11.9	4 3.4	5 4.2
南区	123 100.0	31 25.2	40 32.5	31 25.2	13 10.6	3 2.4	5 4.1
北区	115 100.0	19 16.5	45 39.1	29 25.2	13 11.3	5 4.3	4 3.5
浜北区	129 100.0	18 14.0	39 30.2	44 34.1	20 15.5	3 2.3	5 3.9
天竜区	125 100.0	25 20.0	32 25.6	34 27.2	22 17.6	8 6.4	4 3.2

2. 住民の福祉への関心の薄さ

上段：人、下段：%

	調査数	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体	1,007 100.0	157 15.6	330 32.8	399 39.6	59 5.9	22 2.2	40 4.0
中区	232 100.0	41 17.7	65 28.0	94 40.5	15 6.5	6 2.6	11 4.7
東区	124 100.0	27 21.8	41 33.1	47 37.9	2 1.6	2 1.6	5 4.0
西区	118 100.0	16 13.6	40 33.9	50 42.4	6 5.1	1 0.8	5 4.2
南区	123 100.0	24 19.5	40 32.5	45 36.6	6 4.9	2 1.6	6 4.9
北区	115 100.0	13 11.3	46 40.0	45 39.1	6 5.2	2 1.7	3 2.6
浜北区	129 100.0	16 12.4	48 37.2	50 38.8	8 6.2	4 3.1	3 2.3
天竜区	125 100.0	16 12.8	39 31.2	51 40.8	13 10.4	5 4.0	1 0.8

3. 高齢化や過疎化による担い手不足

上段：人、下段：%

	調査数	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体	1,007 100.0	311 30.9	376 37.3	218 21.6	46 4.6	18 1.8	38 3.8
中区	232 100.0	66 28.4	83 35.8	55 23.7	16 6.9	4 1.7	8 3.4
東区	124 100.0	28 22.6	61 49.2	25 20.2	3 2.4	2 1.6	5 4.0
西区	118 100.0	36 30.5	43 36.4	29 24.6	3 2.5	1 0.8	6 5.1
南区	123 100.0	35 28.5	45 36.6	28 22.8	7 5.7	2 1.6	6 4.9
北区	115 100.0	29 25.2	50 43.5	28 24.3	4 3.5	1 0.9	3 2.6
浜北区	129 100.0	38 29.5	39 30.2	33 25.6	9 7.0	6 4.7	4 3.1
天竜区	125 100.0	70 56.0	37 29.6	11 8.8	4 3.2	2 1.6	1 0.8

4. 地域福祉を推進する組織が機能していない

上段：人、下段：%

	調査数	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体	1,007 100.0	112 11.1	218 21.6	525 52.1	81 8.0	26 2.6	45 4.5
中区	232 100.0	27 11.6	50 21.6	114 49.1	20 8.6	6 2.6	15 6.5
東区	124 100.0	18 14.5	26 21.0	67 54.0	9 7.3	0 0.0	4 3.2
西区	118 100.0	17 14.4	23 19.5	60 50.8	8 6.8	4 3.4	6 5.1
南区	123 100.0	12 9.8	27 22.0	68 55.3	7 5.7	4 3.3	5 4.1
北区	115 100.0	12 10.4	26 22.6	63 54.8	7 6.1	3 2.6	4 3.5
浜北区	129 100.0	9 7.0	26 20.2	71 55.0	14 10.9	5 3.9	4 3.1
天竜区	125 100.0	14 11.2	30 24.0	62 49.6	15 12.0	3 2.4	1 0.8

5. 防災、防犯などの安全・安心に関する体制が整っていない

上段：人、下段：%

	調査数	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体	1,007 100.0	90 8.9	215 21.4	466 46.3	161 16.0	35 3.5	40 4.0
中区	232 100.0	20 8.6	48 20.7	101 43.5	47 20.3	6 2.6	10 4.3
東区	124 100.0	14 11.3	26 21.0	54 43.5	20 16.1	6 4.8	4 3.2
西区	118 100.0	9 7.6	30 25.4	50 42.4	18 15.3	4 3.4	7 5.9
南区	123 100.0	13 10.6	29 23.6	55 44.7	18 14.6	3 2.4	5 4.1
北区	115 100.0	9 7.8	24 20.9	64 55.7	10 8.7	5 4.3	3 2.6
浜北区	129 100.0	11 8.5	19 14.7	66 51.2	22 17.1	8 6.2	3 2.3
天竜区	125 100.0	8 6.4	33 26.4	58 46.4	22 17.6	2 1.6	2 1.6

6. 誰もが気軽に集まれる居場所がない

上段：人、下段：%

	調査数	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体	1,007 100.0	179 17.8	282 28.0	335 33.3	120 11.9	55 5.5	36 3.6
中区	232 100.0	43 18.5	69 29.7	76 32.8	23 9.9	12 5.2	9 3.9
東区	124 100.0	24 19.4	37 29.8	42 33.9	14 11.3	3 2.4	4 3.2
西区	118 100.0	25 21.2	27 22.9	39 33.1	19 16.1	4 3.4	4 3.4
南区	123 100.0	17 13.8	39 31.7	37 30.1	17 13.8	8 6.5	5 4.1
北区	115 100.0	17 14.8	36 31.3	43 37.4	8 7.0	8 7.0	3 2.6
浜北区	129 100.0	17 13.2	34 26.4	48 37.2	18 14.0	9 7.0	3 2.3
天竜区	125 100.0	30 24.0	30 24.0	36 28.8	19 15.2	8 6.4	2 1.6

問 14 地域住民の支え合いをはぐくむために、地域住民が力を入れるべき取り組みについてお聞きします。以下の1～7の項目について、お答えください。

1. 自治会行事への参加を促進する

上段：人、下段：%

	調査数	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体	1,007 100.0	168 16.7	246 24.4	364 36.1	108 10.7	73 7.2	48 4.8
中区	232 100.0	32 13.8	60 25.9	77 33.2	29 12.5	22 9.5	12 5.2
東区	124 100.0	17 13.7	33 26.6	47 37.9	13 10.5	10 8.1	4 3.2
西区	118 100.0	18 15.3	28 23.7	50 42.4	11 9.3	6 5.1	5 4.2
南区	123 100.0	27 22.0	27 22.0	41 33.3	13 10.6	10 8.1	5 4.1
北区	115 100.0	21 18.3	24 20.9	44 38.3	12 10.4	9 7.8	5 4.3
浜北区	129 100.0	20 15.5	35 27.1	51 39.5	11 8.5	7 5.4	5 3.9
天竜区	125 100.0	27 21.6	27 21.6	41 32.8	15 12.0	9 7.2	6 4.8

2. 子ども会やシニアクラブなど地域組織の活動を活発にする

上段：人、下段：%

	調査数	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体	1,007 100.0	133 13.2	300 29.8	386 38.3	104 10.3	49 4.9	35 3.5
中区	232 100.0	32 13.8	73 31.5	81 34.9	29 12.5	11 4.7	6 2.6
東区	124 100.0	14 11.3	35 28.2	53 42.7	12 9.7	6 4.8	4 3.2
西区	118 100.0	15 12.7	37 31.4	45 38.1	10 8.5	6 5.1	5 4.2
南区	123 100.0	22 17.9	33 26.8	45 36.6	10 8.1	8 6.5	5 4.1
北区	115 100.0	11 9.6	32 27.8	48 41.7	14 12.2	7 6.1	3 2.6
浜北区	129 100.0	14 10.9	39 30.2	51 39.5	14 10.9	7 5.4	4 3.1
天竜区	125 100.0	22 17.6	36 28.8	46 36.8	14 11.2	4 3.2	3 2.4

3. 地区社会福祉協議会などの地域福祉活動を充実する

上段：人、下段：%

	調査数	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体	1,007 100.0	118 11.7	332 33.0	425 42.2	55 5.5	35 3.5	42 4.2
中区	232 100.0	25 10.8	81 34.9	99 42.7	10 4.3	8 3.4	9 3.9
東区	124 100.0	16 12.9	43 34.7	49 39.5	8 6.5	2 1.6	6 4.8
西区	118 100.0	16 13.6	39 33.1	48 40.7	9 7.6	2 1.7	4 3.4
南区	123 100.0	17 13.8	33 26.8	53 43.1	8 6.5	7 5.7	5 4.1
北区	115 100.0	9 7.8	34 29.6	54 47.0	7 6.1	7 6.1	4 3.5
浜北区	129 100.0	18 14.0	37 28.7	59 45.7	6 4.7	5 3.9	4 3.1
天竜区	125 100.0	14 11.2	48 38.4	49 39.2	7 5.6	3 2.4	4 3.2

4. 近隣との声かけなど付き合いを活発にする

上段：人、下段：%

	調査数	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体	1,007 100.0	205 20.4	392 38.9	283 28.1	62 6.2	26 2.6	39 3.9
中区	232 100.0	38 16.4	94 40.5	61 26.3	23 9.9	6 2.6	10 4.3
東区	124 100.0	26 21.0	51 41.1	30 24.2	9 7.3	3 2.4	5 4.0
西区	118 100.0	27 22.9	48 40.7	30 25.4	8 6.8	1 0.8	4 3.4
南区	123 100.0	25 20.3	48 39.0	35 28.5	5 4.1	5 4.1	5 4.1
北区	115 100.0	23 20.0	43 37.4	38 33.0	4 3.5	4 3.5	3 2.6
浜北区	129 100.0	24 18.6	42 32.6	48 37.2	6 4.7	5 3.9	4 3.1
天竜区	125 100.0	33 26.4	52 41.6	30 24.0	5 4.0	2 1.6	3 2.4

5. 子育て、子どもの見守り、教育への協力を行う

上段：人、下段：%

	調査数	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体	1,007 100.0	216 21.4	400 39.7	283 28.1	49 4.9	18 1.8	41 4.1
中区	232 100.0	51 22.0	95 40.9	57 24.6	17 7.3	3 1.3	9 3.9
東区	124 100.0	21 16.9	56 45.2	39 31.5	1 0.8	2 1.6	5 4.0
西区	118 100.0	26 22.0	48 40.7	32 27.1	5 4.2	2 1.7	5 4.2
南区	123 100.0	30 24.4	42 34.1	32 26.0	9 7.3	4 3.3	6 4.9
北区	115 100.0	21 18.3	48 41.7	38 33.0	3 2.6	2 1.7	3 2.6
浜北区	129 100.0	26 20.2	45 34.9	44 34.1	8 6.2	2 1.6	4 3.1
天竜区	125 100.0	34 27.2	49 39.2	30 24.0	6 4.8	3 2.4	3 2.4

6. 防犯・防災に関する地域での協力を推進する

上段：人、下段：%

	調査数	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体	1,007 100.0	245 24.3	470 46.7	213 21.2	25 2.5	19 1.9	35 3.5
中区	232 100.0	52 22.4	113 48.7	49 21.1	8 3.4	3 1.3	7 3.0
東区	124 100.0	28 22.6	59 47.6	30 24.2	2 1.6	1 0.8	4 3.2
西区	118 100.0	32 27.1	59 50.0	21 17.8	2 1.7	1 0.8	3 2.5
南区	123 100.0	32 26.0	53 43.1	25 20.3	4 3.3	4 3.3	5 4.1
北区	115 100.0	22 19.1	59 51.3	24 20.9	3 2.6	4 3.5	3 2.6
浜北区	129 100.0	30 23.3	54 41.9	33 25.6	4 3.1	4 3.1	4 3.1
天竜区	125 100.0	37 29.6	57 45.6	23 18.4	2 1.6	2 1.6	4 3.2

7. 誰もが集まれる身近な居場所づくりを行う

上段：人、下段：%

	調査数	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体	1,007 100.0	243 24.1	350 34.8	301 29.9	51 5.1	29 2.9	33 3.3
中区	232 100.0	50 21.6	87 37.5	64 27.6	18 7.8	7 3.0	6 2.6
東区	124 100.0	30 24.2	42 33.9	38 30.6	8 6.5	2 1.6	4 3.2
西区	118 100.0	33 28.0	48 40.7	27 22.9	5 4.2	2 1.7	3 2.5
南区	123 100.0	28 22.8	36 29.3	41 33.3	7 5.7	6 4.9	5 4.1
北区	115 100.0	24 20.9	42 36.5	38 33.0	3 2.6	5 4.3	3 2.6
浜北区	129 100.0	33 25.6	36 27.9	47 36.4	5 3.9	4 3.1	4 3.1
天竜区	125 100.0	34 27.2	45 36.0	36 28.8	4 3.2	3 2.4	3 2.4

問 15 誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう地域の福祉を充実させていく上で、浜松市が力を入れるべき点についてお聞きます。以下の1～9の項目について、お答えください。

1. 関係機関のネットワークや地域福祉を推進するためのしくみづくり

上段：人、下段：%

	調査数	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体	1,007 100.0	348 34.6	380 37.7	209 20.8	18 1.8	13 1.3	39 3.9
中区	232 100.0	71 30.6	88 37.9	51 22.0	6 2.6	2 0.9	14 6.0
東区	124 100.0	44 35.5	54 43.5	19 15.3	3 2.4	1 0.8	3 2.4
西区	118 100.0	49 41.5	41 34.7	24 20.3	1 0.8	1 0.8	2 1.7
南区	123 100.0	38 30.9	55 44.7	21 17.1	4 3.3	2 1.6	3 2.4
北区	115 100.0	38 33.0	32 27.8	35 30.4	1 0.9	3 2.6	6 5.2
浜北区	129 100.0	43 33.3	54 41.9	25 19.4	0 0.0	3 2.3	4 3.1
天竜区	125 100.0	47 37.6	46 36.8	26 20.8	2 1.6	1 0.8	3 2.4

2. 社会的な孤立を予防・解消するための総合的な支援

上段：人、下段：%

	調査数	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体	1,007 100.0	361 35.8	414 41.1	183 18.2	20 2.0	10 1.0	19 1.9
中区	232 100.0	80 34.5	98 42.2	45 19.4	4 1.7	1 0.4	4 1.7
東区	124 100.0	49 39.5	53 42.7	17 13.7	2 1.6	0 0.0	3 2.4
西区	118 100.0	48 40.7	41 34.7	24 20.3	2 1.7	1 0.8	2 1.7
南区	123 100.0	43 35.0	46 37.4	23 18.7	6 4.9	2 1.6	3 2.4
北区	115 100.0	36 31.3	44 38.3	28 24.3	2 1.7	2 1.7	3 2.6
浜北区	129 100.0	42 32.6	62 48.1	19 14.7	2 1.6	3 2.3	1 0.8
天竜区	125 100.0	47 37.6	52 41.6	22 17.6	2 1.6	1 0.8	1 0.8

3. 福祉に関する情報提供や意識啓発

上段：人、下段：%

	調査数	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体	1,007 100.0	278 27.6	441 43.8	234 23.2	19 1.9	10 1.0	25 2.5
中区	232 100.0	62 26.7	106 45.7	53 22.8	5 2.2	1 0.4	5 2.2
東区	124 100.0	32 25.8	56 45.2	29 23.4	2 1.6	2 1.6	3 2.4
西区	118 100.0	38 32.2	47 39.8	28 23.7	1 0.8	1 0.8	3 2.5
南区	123 100.0	26 21.1	59 48.0	27 22.0	6 4.9	2 1.6	3 2.4
北区	115 100.0	39 33.9	39 33.9	33 28.7	0 0.0	1 0.9	3 2.6
浜北区	129 100.0	30 23.3	65 50.4	29 22.5	1 0.8	3 2.3	1 0.8
天竜区	125 100.0	35 28.0	52 41.6	31 24.8	2 1.6	0 0.0	5 4.0

4. ボランティア活動への支援

上段：人、下段：%

	調査数	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体	1,007 100.0	241 23.9	391 38.8	310 30.8	32 3.2	12 1.2	21 2.1
中区	232 100.0	49 21.1	94 40.5	72 31.0	11 4.7	1 0.4	5 2.2
東区	124 100.0	25 20.2	62 50.0	31 25.0	1 0.8	2 1.6	3 2.4
西区	118 100.0	31 26.3	48 40.7	31 26.3	5 4.2	1 0.8	2 1.7
南区	123 100.0	30 24.4	38 30.9	46 37.4	5 4.1	2 1.6	2 1.6
北区	115 100.0	26 22.6	43 37.4	39 33.9	3 2.6	2 1.7	2 1.7
浜北区	129 100.0	31 24.0	53 41.1	36 27.9	3 2.3	4 3.1	2 1.6
天竜区	125 100.0	33 26.4	41 32.8	46 36.8	2 1.6	0 0.0	3 2.4

5. 地域福祉活動を推進する人材の育成

上段：人、下段：%

	調査数	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体	1,007 100.0	277 27.5	407 40.4	264 26.2	20 2.0	10 1.0	29 2.9
中区	232 100.0	61 26.3	96 41.4	62 26.7	5 2.2	2 0.9	6 2.6
東区	124 100.0	31 25.0	59 47.6	30 24.2	1 0.8	0 0.0	3 2.4
西区	118 100.0	38 32.2	38 32.2	36 30.5	3 2.5	1 0.8	2 1.7
南区	123 100.0	28 22.8	52 42.3	34 27.6	3 2.4	1 0.8	5 4.1
北区	115 100.0	36 31.3	41 35.7	29 25.2	3 2.6	2 1.7	4 3.5
浜北区	129 100.0	37 28.7	53 41.1	31 24.0	3 2.3	2 1.6	3 2.3
天竜区	125 100.0	33 26.4	51 40.8	34 27.2	1 0.8	2 1.6	4 3.2

6. 小中学校や地域での福祉教育の推進

上段：人、下段：%

	調査数	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体	1,007 100.0	282 28.0	407 40.4	263 26.1	16 1.6	13 1.3	26 2.6
中区	232 100.0	60 25.9	94 40.5	69 29.7	3 1.3	2 0.9	4 1.7
東区	124 100.0	32 25.8	56 45.2	28 22.6	1 0.8	2 1.6	5 4.0
西区	118 100.0	30 25.4	51 43.2	31 26.3	2 1.7	1 0.8	3 2.5
南区	123 100.0	34 27.6	47 38.2	36 29.3	1 0.8	2 1.6	3 2.4
北区	115 100.0	40 34.8	40 34.8	27 23.5	3 2.6	2 1.7	3 2.6
浜北区	129 100.0	32 24.8	57 44.2	30 23.3	2 1.6	4 3.1	4 3.1
天竜区	125 100.0	41 32.8	45 36.0	34 27.2	3 2.4	0 0.0	2 1.6

7. 災害時の避難に支援の必要な人への対策

上段：人、下段：%

	調査数	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体	1,007 100.0	430 42.7	412 40.9	129 12.8	8 0.8	6 0.6	22 2.2
中区	232 100.0	92 39.7	103 44.4	28 12.1	3 1.3	1 0.4	5 2.2
東区	124 100.0	55 44.4	53 42.7	10 8.1	1 0.8	0 0.0	5 4.0
西区	118 100.0	54 45.8	40 33.9	20 16.9	1 0.8	1 0.8	2 1.7
南区	123 100.0	47 38.2	51 41.5	19 15.4	1 0.8	2 1.6	3 2.4
北区	115 100.0	50 43.5	44 38.3	17 14.8	0 0.0	1 0.9	3 2.6
浜北区	129 100.0	54 41.9	57 44.2	16 12.4	0 0.0	1 0.8	1 0.8
天竜区	125 100.0	61 48.8	47 37.6	15 12.0	1 0.8	0 0.0	1 0.8

8. 生きがいづくり、健康づくり事業の充実

上段：人、下段：%

	調査数	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体	1,007 100.0	291 28.9	390 38.7	253 25.1	37 3.7	14 1.4	22 2.2
中区	232 100.0	63 27.2	95 40.9	57 24.6	10 4.3	1 0.4	6 2.6
東区	124 100.0	40 32.3	53 42.7	23 18.5	4 3.2	1 0.8	3 2.4
西区	118 100.0	38 32.2	43 36.4	31 26.3	3 2.5	1 0.8	2 1.7
南区	123 100.0	30 24.4	51 41.5	33 26.8	3 2.4	4 3.3	2 1.6
北区	115 100.0	33 28.7	40 34.8	30 26.1	5 4.3	2 1.7	5 4.3
浜北区	129 100.0	37 28.7	48 37.2	38 29.5	2 1.6	3 2.3	1 0.8
天竜区	125 100.0	37 29.6	45 36.0	32 25.6	8 6.4	2 1.6	1 0.8

9. ユニバーサルデザインの普及、推進

上段：人、下段：%

	調査数	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
全体	1,007 100.0	213 21.2	290 28.8	393 39.0	52 5.2	29 2.9	30 3.0
中区	232 100.0	49 21.1	77 33.2	81 34.9	14 6.0	4 1.7	7 3.0
東区	124 100.0	23 18.5	42 33.9	48 38.7	4 3.2	3 2.4	4 3.2
西区	118 100.0	28 23.7	33 28.0	42 35.6	8 6.8	3 2.5	4 3.4
南区	123 100.0	24 19.5	29 23.6	52 42.3	7 5.7	7 5.7	4 3.3
北区	115 100.0	26 22.6	28 24.3	47 40.9	5 4.3	6 5.2	3 2.6
浜北区	129 100.0	27 20.9	37 28.7	59 45.7	3 2.3	2 1.6	1 0.8
天竜区	125 100.0	25 20.0	35 28.0	48 38.4	9 7.2	3 2.4	5 4.0

3 自由記載一覧

区	自由記載
中 区	<ul style="list-style-type: none"> ● 若者や子育て年代の自治会への参加者が減ってきています。アパート住民の増加により、地域への馴染みがないのか、意識が低いのかもかもしれません。様々な組織はできていますが、それを説明する場面は広報紙が中心です。配布物も多いこともあり、目を通さない人もいると聞いています。 ● 盲導犬が入れる場所をふやして下さい。 ● 私達の年代は助け合う事が当たり前とっていますが今の若い方には、どのように理解して、説明すればと一つ一つ言葉を選んで話を進めていかないと何とも変な時代ですね。でも人と言う漢字の様にお互いに支え合って生きているから、あの時と思う前に何か小さな実がそう考えさせられます。私事ですが来年から孫が特別支援教員に向けて頑張ってくれる事が楽しみです。 ● 家族のあり方も、変わってきています。只今、班長をしています。広報も、回覧板にて、各自おとり下さいということをやめ、各戸へポスティングをしています。特に高齢のお宅には、声かけをし、雑談しています。そのような時に、困り事などがわかり、改善できればと、思っています。また、地区費も高いため、考えさせられます。やはり、最初の一步で、あいさつは、大切だと思います。福祉とは、関係ないと思いますが、朝の散歩や、夜の散歩、犬の散歩は、暗いため、タスキ（光る）や、明るい服など、懐中電灯などは、大切です。 ● 個人情報保護も大切ですが、自治会にもう少し情報をいただければ自治会活動助かります。 ● 行政として地域福祉を推進するためのしくみづくりが一番大事だと考えます。ボランティア活動は、個人や民間がある程度までは、できると思います。しかし、個人、民間では資金力の面などで、限界があるため、そこを行政がカバーしていくとよいと思います。 ● 公共スペースの解放。一番人が集まる場所だと思うので、地域の事業、学生活動、自治体活動に協力的になってほしいです。 ● 地域の福祉の内容を知らない。活発にする、充実する、協力を行う、推進する、等では何をしたらよいのか理解できない。現行していることを具体的に伝えて欲しい。 ● 情報提供のきめ細かさ、わかりやすさ。 ● 自分の生活に、日々いっぱい、いっぱい、地域福祉にまで関心をもてない。日々の生活に余裕がありません。 ● 子育て環境の整備をこれからもお願いします（保育園・待機児童問題がかなり厳しいのでなんとかしてほしいと思います）。 ● 子育て中なのでまだ実感がわからない。 ● 子育て世代の親が地域活動に参加できる補助制度があれば環の中心となって活動できるし、指導者となってもらいたい。 ● 近所同志のあいさつがその先にある協力につながると信じています。

区	自由記載
	<ul style="list-style-type: none"> ● 仕事や家事だけで地域福祉についてあまり考えていなかったためこのアンケートに答えるだけでも、考えることができました。ただ私自身人と接することが苦手で、積極的に地域活動に参加することはできないと思うので、他の人におまかせする、というのも心苦しく地域福祉活動をボランティア活動として推進することについては、どうかなと思う。組長の負担が今以上増えるのもどんなものかと思う。生活に余裕がある人に、とか、誰かに負担をしいることのない地域福祉活動はどうすればできるのか、よく考えてもらいたいと思ったりします。 ● 自治会としての機能は崩壊しつつある。(町によって違いがある) もう少し広域にして、年齢問わず、参加できる仕組みがあると良いです。コロナのライン予約は良い手段だと思う。こういった機能をもっと有効活用して欲しい(あと、ワクチンの余っている病院があったら、予約出来る、表示するなどして欲しい)。浜松に大学があるので、住宅を支援し、地域活動をしてもらい、意見、情報を発信してもらいたい。 ● 浜松市には外国人の若者(技能実習生と思われる)が多く、家庭を持つ人(外国人)も多い。以前多くいた日系ブラジルの人たちは日本について祖父母たちから日本の文化や日本の歴史について話を聞いたことがあるらしく、もともとの私たちのような住民に、ある程度の礼節を感じた。今はブラジルでなくベトナムフィリピン(特にベトナム)の人が多と思うが、彼らに日本の文化や日本の歴史(神話時代から)について教えてあげてほしい。態度がでかくて不快な思いをすることがあります。日本社会では、ゆずり合いやつつしみが必要だと(ゴミ出しだけでなく)教えてほしいです。出身国を誇りに思う気持ちは尊重しますが、日本で金もうけをするなら、日本について、正しい理解も、持ってほしいです。技能実習生受け入れについてはこのような人としてのマナーをテストしてから、受け入れてほしいです。 ● 浜松城公園へ散歩に行きます。道がでこぼこしていたり、石がとび出ているところびそうになったり、捻挫しそうになることがあります。夜は樹がしげり、灯がたよりにならない時があります。昼間でなく、夜確認してほしい。 ● ボランティア活動や、ボランティア募集などの情報がわかりにくい。一部の人にしか目についていないのではないのでしょうか。実施されていることなどが公報などに公表されるとよい。 ● 地域における災害時の助け合いについて「自分だけ良ければ」と思っている人達がネットワークをくずしかねないため、人と人のつながりは難しいと思う。支援を必要とする人の見わけ方についてもとても難しい事と思います。 ● 本人は認知症のため意思疎通困難なため、回答できません(特養入所中)。経験を問う項目のみ、過去の状況から推定して回答しています。 ● 社会福祉協議会って何。ここに(富塚町)に住んで、一度も身近に感じた事はありません。年に何回か回覧板に入っているけど、読むべき所もなく興味が持てません。多分、良い事をやっているのですが、もっとわかりやすく内容を知らせて下さい。真面目すぎる。きっと必要な活動しているのでしょう。もったいない。

区	自由記載
	<ul style="list-style-type: none"> ● 人とのつながりが希薄なのは子ども時代からの教育が大きいと思う。幼少時にすり込まれた考え方は、大人になってから変えるのは難しいので、人とのつながりや福祉に関心を持つ、持たせるためには、幼児期・学童期での教育が不可欠である。社会を支える若者、子どもたちを育てることが健全な社会や福祉につながるので、年寄よりも子どもを大切にしてほしい。 ● 現在かかわっている方々はきっと一生懸命に取り組んでおられると思います。今のところ特にお世話に（直接的に）なっていませんがいつお世話になるかわかりませんので、ありがたく思っています。 ● 特に思いうかびません。 ● 自分は今のところ大きな病気はなく、友人親せきと行き来し、車で希望の場所へ行けませんが、年齢的に車から離れる時が間近ですので、コミュニティーカー等の普及を希みます。 ● 他町では健康づくり事業として月1回、ある場所へ集合して、健康づくり体操など実施している。それも送迎つきで。中島でもそんな事業が実施できれば参加したいと思う。全市民に平等でありたい。 ● L G B Tで同性のパートナーがいますが、浜松市のパートナーシップ制度には登録していません。賃貸を借りる際に、制度を利用したとしても何の効果もなく、大家の判断で決まるとのことでした。現状では、自己満足の範囲で留まっています。浜松市のL G B T支援が、当事者の利用したい制度、支援に力になって下さるように作っていただけることを期待しています。パートナーシップ制度を利用していると、婚姻関係と同等のサービス、扱いにすることを推進する企業への助成事業を設けるなど、市の政治的な考えが民間企業に良い動きをもたらしてくれると良いと思います。 ● 周りに我々高齢者が多くなっています。どうしても体力的にもひきこもりになりがちです。近場、公民館等で、高齢者が活動、楽しめる内容の場があれば良いと感じます。積極的な呼びかけが欲しいと思います。 ● あなた方は行きづまっているのですか。地域活動は担当者が先頭に立って計画立案及び活動決定するものです。もし自信がなければこの様な意見、要望をするのではなく、有識者に聞く事です。 ● 一般の方々が介護の仕組みを理解出来ていない為、地域包括支援センターのみが相談窓口と思っている。もっと地域で小さな相談窓口（居宅介護支援）が有る事を広く教えてほしい。生活保護を受けている人が介護費用全額負担され、保護を受けず、日々の暮らしを切り詰めて生活している人が負担されない現状が有る。 ● まずは、どんな人でも気軽に立ち寄れる場所作りが必要だと思います。組織とかだと構えてしまう方が多く、本当の問題解決にはつながらないので、ふらりと立ち寄った所で、困った事を話し、情報交換をし、必要なサービスに繋げお互いに（ボランティアと受ける側という関係だけでなく）できる人ができる事で助け合える関係が自然に生まれるのでは。他県で行っている所もあるので、参考になると思います。 ● 福祉課に行ったときに上から目線で冷たい態度で対応された。

区	自由記載
	<ul style="list-style-type: none"> ● 問9にあったように困った時に相談できる機関がある事を多くの人が知らない。もっと周知させないといけないと思う。家族が行政に携わる仕事をしている人は承知しているので大いに利用できるだろうが、それにスマホやPCなどで検索できる人はまだいいかもしれないが、そうでない人たちは頼れることさえ知らずに苦しんでいるのではないだろうか。一番は相談できる人、機関が身近に存在することを知らせてあげることだと思う。あとはボランティアを支える体制の強化、ネットワークづくり。困っている人だけでなくボランティアさんもしっかり支えないと福祉も難しそう。 ● 今後、松葉杖で歩ける道づくりをしてほしい。段差や道幅に工夫を。ベンチや雨よけなども、設置できるところに作ってほしい。孤立を防ぐ講座なども必要だと思います。中学生、高校生が集える場所も必要だと思います。少しの心のケアなどに。色々、ありがとうございます。 ● 団地住まいですが外国人との交流が必要。年代に寄っては近か寄りせず除外気味。その様では駄目だと思う。同じ住人だから同じ付き合いをと私は思う。もちろん相手方もその様になって自治会にも同様に参加して行くべきで受け入れて活動して行くべきだと思います。お互いもっと交流して行く方が良いと思います。お互い生活習慣が違い、難しいとは思いますが、1人住まいの高齢者の私ですが今のコロナ化で難しいですが、コミュニティハウスの様に気軽に集まり、話が出来、相談も出来る場所があったら良いと思う。空屋など活用し私は世話好きなので実現出来たらと考えます。元気な71才の老人ですが。 ● 昨年度末からコロナ後遺症の症状でほぼ寝たきりの状態です。私のような状況になり外出や身の回りの事もままならない人は沢山いらっしゃるのではないかと感じています。電話で話すだけでも大変な状態なのでそういった方達を支援するシステム（LINEで状況確認など）作りを進めて頂けたらと切に願っております。 ● 今の地域に引っ越して1年未満の為、地域の情報について知らないことばかりです。 ● 2022年4月に浜松に住みはじめ、地域福祉に関する活動が多くあると思っています。住み易い地域を目指して今後も活動の継続をお願いします。 ● 精神障がいがある方への支援。精神障害に対する一般市民の意識啓発を推進してほしい。又、動物などのふれあいを含めたセラピー、集まれる場所、せつかく愛護センターがあるので検討してほしい。 ● 私は、転勤族で、両親は遠方に暮らしていて、だんだん歳を取って色々心配です。他の県の福祉、行政に、浜松市の福祉、行政の方々が相談、連絡が出来るようなくみがあるのかを知りたいです。 ● 10年前と生活が変わり、人と会うことが苦痛となりました。生活がもどれば、異なる回答となるとおもいますが今はこれが精一杯の回答です。気が滅入るとき相談する場がありませんでした。又、人に話せることだとも思いませんでした。福祉がどこまで立ち入ることが出来るのでしょうか。 ● 地域の安全が一番。

区	自由記載
	<ul style="list-style-type: none"> ● 家族がA型事業所に以前お世話になった事が有ったのですが、事業所の会社運営優先の為、障害者が体調を悪くして、用事が有って仕事を休もうとすると、「欠勤が多いと会社を辞めてもらう」と人権より会社ありきの対応をされました。元々A型事業所というものなぜ作ったのか、市としても考え直していただきたいし、A型事業所の内部を調査してもらいたいです。障害者が勤務しないと事業所への補助金が出ない、仕組みに問題が有るのでは。 ● 少子高齢化がすすみ、定年の時期も延長が検討され、働ける年齢層は男女問わず働き続けている現在、近所づきあいを、作る時間はほぼ無い。その為、定年を過ぎた、元気な高齢者で支えあう、又は、中高生に、支えてもらうしか方法が無いように感じている。働きざかりの年齢層に、福祉を担ってもらうには、賃金のある、仕事として、対応してもらうということしかないのではと考えます。 ● 先々月に今の地域に引っ越してきました。地域に障がいを持っていそうな人をよく見かける事があり、なぜだろうと思い、調べたら、障がいを持った人の仕事先がいくつかある事をはじめて知りました。通勤の際にも、道路にはみだしながらも一生懸命バス停に向かう男性（障がいのある人）をよく見かけます。危ないと思いつつも声をかける人はいないので、地域での声かけや、ここが、どんな地域か情報を発進していただけると、よりこの地域に関心が持てると思いました。正直、物騒な社会なので、地域・近隣の人々と関わる事は個人情報を守るためにも怖いと思ってしまうのですが、本当は協力し合える社会が素敵だとは思っています。 ● マンション住まいで近所のつきあいはほぼ無いので地区民生委員の方から、公民館でのシニアの集まりの案内（コロナで今は中止）とか社協からの防災の本を頂いたり、敬老の日に小学生の手紙を添えたお菓子を届けて下さったり、民生委員の方の連絡先や安心情報キットも配布いただいているので、困った時には、相談できる安心感が有りとても心強いです。 ● 自治会活動で健康面の不安な面があるので、積極的に協力、参加できなく、全ての面で消極的に又、自分の生活維持に専らせざるをえない。 ● 公園や散歩がしやすい歩道（ベンチ）があまりない所では地域の交流が少ない気がします。市内で何か所か引っ越しをしたが、このようなアンケートの内容が出来ている所とそうでない所の差が大きいと思う。 ● 歩道が狭い、段差が多い、歩きづらい、危険。区画を斜めに貫いた道や、斜めの交差点が多くて通行しづらい。渋滞の元。地域で集まれる公園がない。四ツ池や浜松城のような規模の公園がほしい。 ● 民生委員、保護司の方と付き合っていますが頭がさがる思いです。感謝、感謝です。 ● 子育て世代ですが、他市町村と比較し、市政のバックアップが少ないと感じます。これからの社会を支える子どもたちに、浜松市として他の市町村に負けないようバックアップをお願いします。「浜松市」として特色ある政策、思いきった政策をお願いしたいです。「選ばれる浜松市」になることを期待します。

区	自由記載
	<ul style="list-style-type: none"> ● ボランティアという言葉がよく出てきたが、何もかもボランティアに頼るのもよくないと思う。今の若い人たちは、時間も、お金も余裕がない。 ● 福祉はどうでもいいです。
東 区	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分が問題にぶつかり支えてもらいたい時、初めて福祉について考えることが多いのですが、日常生活の中で支える側のお手伝いが少しでもできるようになればと思います。そのためには、もっと自治会の活動に関心をもち参加するのはもちろんですが福祉のネットワークなどが、分かりやすいとより良いと思います。 ● 民生委員に相応しくない人が2年間も民生委員をしていた時期があり、非常に不快であったので、各委員の人間性等の基準を満たしていない人物が委員になれないようにして欲しい（ある程度の個人情報扱うことになるので）。外部からの介護が使用できる程ではなく、しかし、移動等が困難で家族のみで介護介助等しているが、小さな子どもも居り、家族は限界であるが、全く補助無く疲弊している。もっと気軽に使えるサービス（人材等も含め）増やしていただきたい。実父、死亡、夫、単身赴任、1人で高齢者、知的障害者、幼児の世話はしんどいです。 ● ボランティアが自主的に当たり前に参加できる世の中になると良いなと思います。まだまだボランティアに参加することのハードルが高い印象があります。共同住宅の居住者（特に賃貸）は地域との関わりが軽薄であり自らもそれを望む節があります。最低限の繋がりを持てる環境が互いの意思で構築できたら悦ばしいです。 ● 自分が高齢になり置物など車社会が大変困ります。 ● 言葉だけではわかりにくい部分があったので、イラストや写真等があるとわかりやすいと思う。 ● ボランティア等が必要な事は理解できるが、強制や時間拘束されると無給なのにと感じてしまう。 ● 子供や高齢者に優しい地域作り。まず自分が子供や皆さんに挨拶の実行。何でもAIに頼るのでなく人間対人間の対話と親切な態度でも対応する。 ● 障害に対して偏見がなく、理解が深まればいい。自然と助け合える優しい地域になったら良い。子供についても、事件や事故に巻き込まれない様、見守りの体制ができていると安心。特に子育て世代は、日々の生活に追われ、時間をとって活動に参加することは負担になることもあるが、生活の中で、顔を知り、あいさつをして、少し話せるくらいの関係性が持っていると、互いに何かあった時助け合えると思う。 ● この度アンケート用紙を頂き有難う御座居ます。昨年突然の病にかかり身体不自由さを経験した結果、身体不自由とは言葉に表わす事が出来ない程大変だと思いました。私が願う事はそんな方々に寄り添って下さる地域福祉の方々の（やさしさと）触れ合いではないかと感じています。自分が体験して始めて気づく人々もおられると思います。だからボランティアが大切なのではと。私も元気になって誰かのためになりたいと思っています。 ● 近所での困っている人に声かけをしてほしい。人に対しての思いやりがない。

区	自由記載
	<ul style="list-style-type: none"> ● アパートですけれど、あいさつしても返事がないです。何か、さみしいですね。子どもさんの方が、元気ありますね（学校帰りの）。 ● ボランティアへの気持があっても、まずどうすればいいかわかりません。初心者でも、分る様な、情報があるといいと思います。 ● 地域に活動を促すだけでなく、核となる人（コーディネートできる人）がいないとスムーズに進まないと感じます。誰でもできるわけではないと思います。 ● 福祉とは何ですか。個人を幸福にするためのものであるとすれば現在の地域福祉についてアンケートを求める。自治会活動で相互理解を深めなさい。役所にはこういう良い制度があるのでPCかスマホで検索して下さい。高齢者の何%がPC、スマホを自由に使えますか。どうやって役所に行けますか。必要とする人の事を考えない福祉政策の典型ではありませんか。話をしてもこちらの求める答えを返さないで自分（役所）の立場のみを理解させようとする。福祉とは必要な相手を幸福にさせるための手段であるべきだと思います。 ● 問 13、14 など今の、現状を知らないのだから答えるのが難しかったです。コロナのワクチンの関係でラインの浜松市の登録をしましたが、今後の福祉サービスを考えるのであれば、ラインで情報発信していく等の仕組み作りがより求められると思います。必要な人に必要な情報が届けられるようお願い申し上げます。 ● 自治会行事やボランティア活動はやりたい人、時間のある人がやってほしい。川の草刈りはやりたい人、業者にたのみたい。2ヶ所あるのでとても苦痛です。 ● 社会福祉協議会の行っていることをもっとPRすべき。何をやっているかわからない人が多い。 ● 訪問看護をしているので、日々色々なことを目にします。超高齢社会に向けて、地域での助け合いが当たり前のこととなるよう、子供の頃から学校や家庭で教育していく必要があると思います。これからの若い世代の肩に間違いなくのしかかってくる負担です。心構え含め、どうしたらこれからは乗り越えていけるかを共に考えなければいけないと思います。でも自分に余裕がなければ人助けは中々できません。子供たちが幸せな環境におかれていなければ、人と人との助け合い、ましてやボランティアなどは難しいと思います。 ● 浜松駅の東側（中田島街道）高架下の障害者の方が乗降できるスペースがわかりにくく、不自由にしているのを見ました。看板の設置、道路面にわかりやすいサインを設けた方がいいと思いました。宜しくをお願いします。 ● 天王町 710 の橋に設置した横断歩道が暗くなると歩行者が見えなく危ないので標識の外側に夜間見える様にしてほしい。横断歩道有りと電光掲示板で表示するなど、周囲を明るくしてほしい。対向車のライトで全く見えない。去年、近所が冠水したので対策してほしい（大雨が降ると毎回同じ場所が溢れる）。
西 区	<ul style="list-style-type: none"> ● コロナでイベント、中止が多くて、顔をあわせる機会が減って淋しい思いが強かった。集いがチャンスと感じている。

区	自由記載
	<ul style="list-style-type: none"> ● 意見、要望を書くほど知識、経験が無い。 ● ボランティアの募集、育成には限界があると思います。地域のキーマンを中心に周りを巻き込んで。市民全員の意識が変わらない限りは福祉の充実は成功しないと思います。市が地域を変えるのではなく、地域が自発的に成長して、地域を変えて、サポートを市がするという形が理想形ですね。頑張ってください。頑張りますので。あと、若い人に求められる事が示されていると、気かけやすいです。 ● コロナ渦により、地域のイベント、コミュニティが減少した感じを受けます。近隣者との声かけは、班ベースでの顔見知り、あいさつ、声かけは出来るが素性の知らない近隣者も借家などで滞在しているので、不用意に近づけない。相手の事が判らなければ声かけはとても出来ないと考えます。地域のイベント、行事などの「きっかけ」を通じた顔見知り、声かけの出来る体制が今後の時代を造るしくみとなると考えます。スマホ時代のため、コミュニティの案内もスマホ対応含めてすべきかと。 ● 高齢化が進む中、若者の参加が必要。自治会活動において定年制を取り入れ、積極的に若年齢化をはかる。 ● 近隣で一人暮らしをされている方が年々、行動が怪しくなっており、認知症の進行を心配しています。別の町内に住まわれている娘さん夫婦は施設に入れる気持ちも同居される気持ちもないご様子で地域に助けてもらいたいというお考えのようで、困っています。地域包括へ連絡しましたが、大きな動きは未だなく、悩んで地域包括へ相談してみたもののどう動いてどうなったのか等の話は何もなく、モヤモヤした気持ちだけが残っています。地域に助けてもらうと考える前にまずは娘さん夫婦が真剣に考えるべきことだと思うのですが、そうしたことを言えるのは近隣住民ではなく、地域包括等の専門の方と思うのですが、いかがでしょうか。 ● 高齢者のいる家への民生委員のかかわり方が良くわからない。たとえば、月1回訪問してもらうには、こちらからお願いするのか、とか、どんな内容で民生委員を利用出来るのか、等。 ● 前にも記入しましたが、今切れ口のテトラポット（Tの字）に船で人を渡している。万が一事故があった場合、国、県、市と業者の責任が問われる。絶対にあぶない場所で釣りをしているのでこれを許してはいけない。市、県で鉄柵とか、柵をつくり入れさせない様にしてほしい。一部の業者が、それで、仕事をしている遊船部はだめとっているが一行にやっている、人が死ねば、補償の問題が出てくる。絶対にやらせてはいけない。大至急対応策願いたいです（有刺鉄線等で、入れない様にして下さい）。 ● 具体的な活動に乏しい。口だけではダメ。行動あるのみ。 ● 現在自治会の活動に参加していますが、仕事もあり、毎回参加するのは難しいです。組長など、必要性は感じておりますが働きながらの活動には無理があります。同居の両親も、近所の方も高齢で、任せられることでもなく、仕事を休んでまで行うことになってしまいます。もう少し、役割や、行事を減らす方向で考えて、頂きたく思います。 ● 浜松市は福祉予算を削り過ぎだと思えます。

区	自由記載
	<ul style="list-style-type: none"> ● 弁天島駅にエスカレーターか、エレベーターをつけてほしい（体が不自由な人、妊婦さん、荷物が多い人など大変そうに昇っている所を見かけたときがあるため）。 ● 包括支援センター職員です。市民の数が多くて大変ですが、機能的な関わりや、施策をお願いしたいです。 ● 災害時等の広報無線がまったくきこえない。災害時等の備品の配布先がわからない（ビニールシート、土嚢等）。 ● 高齢者が利用しやすい交通機関の整備、自治会単位で行えるデイサービスやデイケア等の検討（知らない人たちの中に入っていけない高齢者がいる）、介護サービスを利用していない高齢者宅への訪問（生活環境の把握等）など老老介護宅は把握しておいた方がよいのではと思う（3ヶ月に1回くらいの声かけ又は様子見守りがあるといい）。安価で利用できるシッター制度、子育てを地域で出来るような場の提供、3世代が交流できるようなイベントの検討などいかがでしょうか。ボランティア活動についてももっと情報を提供して参加しやすい体制がつけるといい。やっぱりマンパワーはとても貴重です。 ● 自分の地域は交通困難なのだが、市からのマイクロバスとかでなく住民の車の乗り合いという形がすすんでいる。だがその乗りあいをする相手が容易に見つからない人間はどうするのか。皆が皆、それが可能な環境にないからの公共の交通ではないのか。湖西市等のマイクロバスを見ると非常にありがたい気がする。陸の孤島となってしまった地域の人間としては、時間を決めたルートバスが通ることを祈るしかない。 ● 新型コロナが始まってから、より他人との関わりがなくなった。ボランティアや地域住民の活動を、そもそも日々の生活で発見するのが困難。もっと一般の人間がわかる様にしてほしい。 ● 介護タクシーについて早急の検討をお願い致します。自宅に高齢の母がおりまして急に介護タクシーをお願いする事になりました。すぐに間に合うタクシーが見つからず西区には1件もない事が初めてわかりました。お年寄りに優しい社会とっておりますが目の前にやらなければことは多いとは思いますが少子化ゆえ高齢者が増えていることはわかりきっております。是非1日も早く動いていただきたいと思っております。 ● 私自身、TNR猫活動しておりませんが活動されている方には、感心、感謝しております。しかし、市民の理解・認知度が低く、心痛めることがあります。地域猫も地域福祉のひとつですので認知度をあげるようHPに分かりやすく解説する（今のHPでは分かりません）。ポスター作成し、理解を求める等（自治会に配布、説明する等）もっと力を入れてほしいです。活動しているボランティアの方のためにもお願いします。市長交代に伴い、方針が変わることないよう継続願います。 ● ご近所の方が困っている事があれば、協力したいと思いますが、範囲が広がると少し考えてしまいます。 ● 親が車を持っていないなど子ども、障害を持つ子の登校の送りができない家庭がある。登校の支援はなんとかならないのでしょうか。教育を受ける権利を保障できるようにしなくては。

区	自由記載
	<ul style="list-style-type: none"> ● 災害時の避難・支援に必要なインフラ整備が遅れている。天竜川に掛かる橋の本数が少ない。湖西方向の道路（浜名湖北面）も同様（津波等が来た場合西方面への移動道路がなくなる）浜松市内東西に分断している遠州鉄道の高架化、周辺の道路整備、以上の車輛や避難の際支障が出る恐れの実整備を市で行う事。 ● 今まで、社会福祉協議会という所があって、地域福祉を行っていると知りませんでした。このアンケートは記入したのですが、具体的に、どの様な事を行っているのか、よく分かりません。 ● 精神に障害を持つ人たちが通院や入院で地域福祉の恩恵にあずかれない現状を行政は知ってほしい。入院患者については真実の声をていねいに継続的に聞いてやってほしい。通院患者については医師のモラハラによってどれだけ傷つき、回復を遅らせているかを聞く窓口を作ってほしい。行政は聞くだけでなく、強い権力を持つ医師や病院に処遇改善を求め、改善されない場合は、それらの名前を公表するぐらいの措置をとってほしい。それができるのが、行政の強みではないか。行政が人権を守ってくれるという安心感が地域の人々の心をしぜん共助へと向かわせると思う。浜松市が全国に先がけて“心を守る”まちづくりをしてもらいたい。 ● ひきこもりが多くなっているので、そこを何とかしてほしい。 ● 地域福祉を住民に頼ると、結果的に若手に多くの負担がかかると思うので、行政が担うべきであると思う。地域の子どもに対する援助は積極的にしていきたいが、高齢者までは負担が大きい。なお、行政が担うにあたって税負担が増えることは仕方ないと思う。 ● 要介護1、2程度の高齢者は、家族への負担がとても大きく、近隣の方々へのご迷惑や、ご協力が必要だった経緯があります。要介護1、2の高齢者は症状の悪化が著しく、見守る事の難しさを、本人の安全を考がみて、100%の見守りは不可能です。当人の年金の中で入所できる施設が、必要です。見守る側も、高齢になり、健康不安に陥っています。要介護1、2の高齢者への対応は、これからぜひ手厚くしていただきたいと思います。民生委員は、割合役割が機能していないように思われます。今年、義父母が、相次いで他界しまして、私の経験から、施設にお世話になるまでが、非常に大変でした。 ● 日頃仕事でほとんど家にはいないので、福祉については、どんなことがなされているか、意識したことがありませんでした。そういう意味で、曖昧な回答になっていることをご了承下さい。一方で昔にくらべると近所付き合いは、なくなってきたと感じています。社会の流れがそうさせているのかもしれませんが、まずは、この近所付き合いを良くして風通しよくしておくのが何の活動においても一番大事ではないかと思えます。お互いが頼れる社会の第1歩と思うので、そこに力をそそいで頂きたいです。 ● 元気な老人はいっぱいいるし、その人達でお互いに支えあうのはどうなのか。人を押しつけて歩いたりする人多いから力はあると思う。なんでも若者とか下の世代に甘えられても、私達も自分達できついし、尊敬できるような老人が少ないというか、わがまますぎてイライラする人が目につくから、介護、支援とかしたくない。 ● よりそうことと安心。

区	自由記載
	<ul style="list-style-type: none"> ● 私は自治会に所属していませんが、引っ越してきた時に、所属したくないと伝えた際、近所の方ともめました。年間 4,400 円の会費に、プラスで任意という名のほぼ強制的な募金約 3,500 円。毎年 8,000 円ほどかかる会費を払いたくないと伝えたところ、ゴミを出すなといわれました。地域の付き合いは大事ですが、このような自治会の仕組みには反対です。みんなで支えあうことは大事ですがあまり付き合いたくないマイノリティの立場も確立してほしいです。 ● 自身が現在福祉関係で世話になる事が無い為関心が薄い。今後高齢になった時の生活についてこちらから情報も求めるのではなく、市側から十分な情報が下りてくる様な福祉情報がほしい。 ● 自分に毎日不安が多く自信がない。収少が、少なくこの先不安。手取り 12 万、13 万でほぼお金が残らない。以前に適応障害と診断され仕事復帰は、今現在は仕事していますがまた悩みが出てくるのではと毎日が不安。ときどき自殺することも考えてしまうこともある。
南 区	<ul style="list-style-type: none"> ● 以前から手話を習いたいと思っていたがどこに教室があるのか、等わからなくてあきらめている。機会があったら習いたい。 ● 近年、水害が発生するなど、災害への関心が高まっていると思いますが、避難指示が出て、実際に避難した人はほとんどいませんでした。十分な知識がない、住民が多い。災害発生から、避難所までの移動にリスクがないと考えるなど、意識が低いなど、対策が必要と考える。 ● 地域での助け合いについての基本がご近所の人との助け合いだと思いますのでまずご近所の人とのコミュニケーションを取りたいと思います。 ● はじめて聞く言葉が多くて、理解が難しすぎる。地域に組織をもっとわかりやすくして欲しい。 ● 福祉の活動自体、あまり、知らない。わかりにくい。20 年、30 年以上、浜松市に住んでいるが市政が、市民の声を聞かず、企業の声のみで、進んでいる（特にスタジアムの件など）。市民にとって住みにくい、浜松市より、自分は、市外へ移住します。 ● 地域福祉の核となる人や組織の姿が身近に見えると安心感が増します（広範な地域へ手が廻らないとは思いますが。日頃のご活動に感謝致します）。ありがとうございます。 ● 地域福祉について（それ以外もだが）基本行政は、豊かな人が得をして、豊かではない人が損をしている気がする。極論、これを回答してもどこでどの様に対応されたかの F B が必要。せっかくやるなら、しっかりと行ってほしい。様々な事に関して、反映があれば、この様なアンケートの回答率も up すると思う。以上。 ● 今年から賃貸アパートに入居し、自治会に入り会費を払いましたが、ごみ当番は来るのに防災訓練は知らせてもらえなかった。管理会社次第なののでしょうか。よくわかりません。空いている土地にどんどん家が建って、気付いたら知らない人が住んでいるような土地です。特に仲良くしたり集まったりしたいとは思いません。 ● 子供達に安全な未来を。

区	自由記載
	<ul style="list-style-type: none"> ● 南区は小学生の学童を外れた子を受け入れてくれるような場所が無く、働く親にとっても、子どもにとっても不都合が多い。夏休みだけでも受け入れてもらえるような所があると助かる。 ● 自分自身が当事者や家族がサポートを必要にならないと自ら調べたり（どんな事がサポート受けられたり、資格があるのか）動かない。私自身も、母子家庭になった事ありますが、給食代や、入学準備金など支援金がある事も知らず苦勞しました。最近では母親が介護5の認定になり、受けられるサポートなど調べたりしました。いかに知ってもらうか（必要としてない人たちに）。 ● 先日社協だよりにて、少しボランティアを読ませていただきペットボトルのキャップなど集めていましたが、その処理にどこへ持っていけば良いのかわからず困っていた所アルミ缶、使用済み切手など、ベルマークなどあるので協力させていただきます。 ● 高齢（80代）になっても車を運転している人は多くいます。それだけ不便な（地域）所ということだと思います。どこかに出掛けたくても、地域の行事に参加しようと思っても不便です。以前、街中に走っていた赤いバスはどうなったのでしょうか。ぜひ不便な地域に利用して下さい。自転車が安心して走れる道を作って下さい。家の内にいないで、外に出ていけば人と話す機会もふえ、元気が出ます。仲間もでき地域の（ボランティア、行事にも参加したいという気持ちになると思います。 ● 今後、少子高齢化が増々進むので、地域住民の相互協力が重要になってくると思います。住民の集まる機会、場所を多くして、お互いを、よく知り理解している事が、大切だと思います。これからの浜松の未来を背負っていく子供達を大切に育てていきたいと思ひます。 ● 買物に行くスーパーマーケットが遠州浜団地内にほしい。高齢者もいずれ自動車を買物に行く事が出来なくなる。近所の方も大多数の方が同じ考えです。ぜひ検討して住みやすい町にして下さい。お願い致します。市でスーパーをさがして町内で店を出店する業者を空地提供してやってはどうですか。 ● 支援や手伝いを必要とする人たちが、他者から見てすぐに分かるよう、マタニティマークのようなものを身につけてもらうなどすれば、手伝う気持ちがあっても声が掛けづらい人などは、手助けしやすくなると思う。それにはそのマークの普及、周知が必要。 ● 市や自治体を中心となり健康寿命の延伸、障がい者の社会復帰をサポートして下さい。特に高齢者が医療機関に頼らずにイキイキと行動できることが大切です。節税にも繋がります。特に話題になっているストレッチをもっと積極的に推進して下さい。ストレッチと言っても幅広くラジオ体操、乾布摩擦、己々が行うストレッチ、プロにお任せするパーソナルストレッチなど様々です。住民が元気に住みやすい社会の為職員の皆様がんばって下さい。 ● 自費でボランティア活動するだけの経済力がない為、ほとんどの人は活動が難しい。ボランティアといっても国か市が費用負担してくれれば少しは活性化するのではと思ひております。

区	自由記載
	<ul style="list-style-type: none"> ● ゴミステーションが遠距離にあるので近くに作ってほしい。 ● 発達障害に関する知識（特にお年寄りに広がってほしいです）。 ● 今後、困り事が起きた時に、どこに相談したらよいか探し方がわかりません。まず困った事がある方は「ここへ」と代表的に機関が欲しい。そこで聞いた内容によって次の相談施設へと言うような形はどうでしょうか。情報がホームページなどデジタル化も必要ですが、苦手な人もいますので誰もが情報を受け取れる手段を考えて頂きたい。広報はままつも、もっとみやすくしてほしい。文字だらけなので絵など入れてみやすくしてほしいです。 ● 賃貸住まいなので、長期的な協力はできないかもしれないが、情報がこないのも問題有。自分で情報を集められれば良いが、高齢者は難しいのでは、ないかと思う。小中学校を通して、お知らせがあると、ありがたい。 ● 浜松市に嫁いできて早くも 50 年を過ぎました。子育て時代には保育料が高いことに、又当時施設が少ないことに悩みました。今後 1 人で暮さなければなる可能性があり、回りで見守ってくれる人がいない為不安です。市の政策ではないと思いますが健康保険料、介護保険料の値上げが家計に大きく響いて不安がつります。こうした時にゴミ有料化がとりざたされており、認める訳にはいきません。住みつづけたい町になるよう期待しています。 ● これからの人口推移や、構成の分布などは、既に予想がつき、それに対する対策の遅れが、今あらわれていると思います。全く違う視点での福祉（出来ること）をデザインしないと、色々難しいのではないのでしょうか（今回の設問事体が、古い感覚であると思います）。 ● 自治会費高い。一部を福祉支援活動費等に。 ● 地域によって、婦人部（女性部）、子ども会まで、なくす様になっている。女性が働いて、時間がないのも分かるが、ほとんどが、忙しい、役員になりたくない、ずるい。いやでも、やってみると楽しくなり、知り合いになることもある。町内の為に、子ども達の楽しみ、思い出づくりの為にという気持ちがなくなっている。せめて、子ども会だけでも、無くしてほしくない。
北 区	<ul style="list-style-type: none"> ● ひとり暮らしのため今後は心配自治会の中でひとり暮らしの方が死後何日も経ってから発見されたケースがある。 ● もっと自由に生きさせてやってほしい。縛ったり、拘束したりしない、警察じゃないから。 ● 地域の高齢者のみで住んでいる世帯で自治会活動への参加や役員を引き受けることが難しいが増えている。このような方たちへの配慮をしていかなければいけないと感じています。 ● 地域社会とのかかわりについてのおたずねの問2について。現在コロナ禍において地域の行事等が行われておらず回答に迷いました。コロナ禍前には、お祭りや清掃等の行事に参加することはありました。

区	自由記載
	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域コミュニティの必要性を感じます。リーダーの育成と活動の仕組作り（価値観を共通出来る仲間作り）小コミュニティのモデルを作り、成功例を横展開する。 ● 人数が少ない地域又は高齢者が多い地域では、会合、お祭り、草かり、等、行事が多く、参加することも多くなってしまふ。地域の方が、参加しなくても、専門業者等（草かり）や（会合の配布物の準備・制作など）（お祭りの清掃）にお願いできれば、負担が減ると思われる。仕事を退職後、健康なら、今より、地域の行事にも参加できると思う。ボランティアにも参加したいと思う。 ● 災害時慢性疾患の人たちの支援。障害者の人たちの援助が病院の施設、地域と連携ができるのか、対策が整っているのかとても不安です。 ● 住み慣れた地域で安心して暮らしています。40年になりますが高齢者世帯が多くなりました。自治会等の当番制担当は大変ですよ。地域での検討課題の1つです。 ● 小学生の登下校で横断を見守っている方など、とても助かっています（小学生の安全だけでなく、運転している地域住民も安心できます）。空き家への不法投棄やのら猫へのえさやりなど、周囲の住民が困るようなことをしている人がいて困っています。空き家は当時の組長さんが頑張ってくれて解消されましたが、野良猫問題はとてもひどく、困っています。我が家でもかなりの金額をかけて対策しています。市でも対策してもらえると助かります（ご近所さんと困ることも多いので）。 ● 地域福祉ではないかもしれませんが、真面目に国民年金を積んだ人より、何の貯えもなく生活保護を満喫していることは、到底許されることではないと思います。年金積立てをしていた人よりも楽をしていることが許されません。是非検討してほしいと思います。 ● 老人と子供がふれ合い、おたがいが助けあえる場所があるといいですね。働くシングルの人が少し子供を見てもらえるような。 ● 将来的に後継が見込めない中、成年後見制度に対しては感心があります。障害の子供も持つ親としては、気がきではありません。田舎暮らしも今、現在は良いかもしれないが将来的に地域に迷惑をかけるのかなと思うと心配です。成年後見人制度事態においても、良く分かりませんのでのちのち相談に行きたいと思っています。 ● 今までではもっと福祉の充実を意識していたのですが、年々、自分の体のおとろえを感じ協力が出来なくなっている自分がいて情けないです。娘の障がいもあり悩みどころです。 ● 「公務員の考える力」の不足するところを「民間の力」の自助力を利用する。この考え方が世の中をすこしだけ動かすでしょう。規律と規則では何かをより大きくすすめることは難しいと私は強く考えます。 ● 歩道がせまく、子供達や自転車、お年寄りが歩きにくそう。特に学校周辺（三方原）、街灯も少ない。古い地域の整備を希望します。 ● コロナ禍になり身近な人が数名、認知症に。偶然かもしれませんが、人との会話も減り、外に出なくなってしまったのが原因なのかなと思ったりしています。地域ごとに集まる場所で楽しめる事ができたらと思います。 ● 学童保育の充実、公園の増加。

区	自由記載
	<ul style="list-style-type: none"> ● 相談先が分からないので、アプリ等を利用し、YES、NOを答えていくと、相談先が分かるような、ものをつくってほしい。 ● 我が家の母親も高齢で、引っ越しきたのであまり友達がいなかったため、週1の特養でカフェの参加にしたいと言っているが、中々一人で行動できずにいる。私がいってあげたいが仕事しているため中々都合合わない。チラシは入ってくるが、もう少し気軽にいけるような音頭をとるボランティアさんがいたらいきやすい。支援にもならずはまだ健康な為施設との関わりが中々できないでいる。 ● 通学時間帯に通学路に地域の安全会のような方が横断歩道等で交通指導してくれると、車を運転する側としては、少し安心できる。通学路に歩道が不足していると感じる。 ● 浜松市は教育環境（発達障がい等も含め）、福祉活動、ボランティア活動に対する積極的な取り組みが弱く感じます。他都市の見本、リードするような取り組みを期待します。 ● 地域福祉といわれても漠然としていてこのアンケートに上手く答えられたのか分かりません。その人その人、その地域その地域で必要とするものは違っていると思います。必要な人に適格に必要なことが届けられる安心して信頼出来るしくみをお願いします。 ● 関心がない、興味ない。現在、自分の生活でいっぱい、イッパイなので他人の事まで心配する余裕がない。自分が困っている時に助けてもらえないから、関心ない。煩わしいことには関わりたくない。ワーキングプアなので生活保護者がうらやましいとさえ思う。ご苦労様でした。 ● ボランティアで活動する人たちをあてにする福祉はあるのでしょうか（災害時）地域の福祉活動を目的とするならば、職員として活動するべきでは。 ● 自治会、子供会などの組織の体制をはっきりさせてほしい。子供会が強制加入とそうでない地域がある理由やなぜ加入なのかその法的根拠はどこに。困っている人は支援するべきだと思うが、生活様式が変わっている現在において地域活動や福祉の体制は追いついていない気がします。 ● 昔と違って近隣の人々との付き合いが薄れているこの頃です。今民生委員として活動に4年目となりますが、コロナで色々な活動とか研修などがなくまだまだ分からない事ばかりですが、色々な関連機関、民生委員の人達、地元自治会などに意見を聞いて活動しております。民生委員活動に関するスローガンにもある「支えあう、住みよい社会、地域から」にあるように自分なりに地域福祉の活動をがんばりたいと思っています。 ● 自治会において、高齢化している現在、住民の力だけでは限界があります。今までの体制を整えるためにも、機能的に見直し住民（集団）の統制（秩序）を強化する必要があると考えられます。住民、町、市へのつながり（組織）を、もっと充実させスムーズな対応が取れるよう図ってほしいと願っています。 ● 福祉が昔にくらべればずっと充実してきていると思います。そのためか自分が健康であればそれ以上望むことはない。困ったら行政がして下さるのではないかと考えています。日本は本当の豊かさとは何か皆で考え次の段階に進む時がきている様に思います。貧困、障がい者などどうしたら豊かに暮らすことができるか社会生活の底上げをお願いします。

区	自由記載
	<ul style="list-style-type: none"> ● 市の対応が遅いと思います。土、日、祝でも交代、勤務での働きを希望します。私達も頑張ります。細江町は高齢者や子供達が多いです。 ● 子ども会やシニアクラブなどの活動を活発にすると例としてあるが、「子供」「シニア」では同じ福祉でも目的やそこに関わる人の考えが大きく違うため「子供」と「シニア」は違う考え方を持つべきだと思う。例、「シニア」は周りとは活発にふれあう必要があるのではないか。「子供」は保護者の仕事や考えによって選択する。
浜北区	<ul style="list-style-type: none"> ● 内野台地区ですが、ボランティアで防災の事を真剣に考えて下さり、実行して下さいの人がいます。本当に頭が下がる思いです。 ● 昭和、平成から何も進んでいないような、このアンケートを行なっている様では、時代に合った先取りした、先進的な地域福祉に発展していかない気がする。革新的な地域福祉の素案を市民に提示するくらいでないと、良い政策になっていかないと思われる。 ● 私が現在住んでいるマンションでは近所付き合いが全くありません。このアンケートを通して、あいさつ程度はして、何かあった時のために備えておいてもいいのではないかと思います。しかし、集まる理由やタイミングがないのも事実です。 ● 今はコロナが心配なので活動を活発にして大丈夫か。 ● 地区の中でも一人暮らしの高齢者の方がいますが、暑かったり寒かったりすると、姿がみえず、本当に住んでいるのか分からない。隣保班長になった時に困ります。そして、連絡方法も知らない事も多いので誰がどこで生活をしているか、地域住民には知る方がいいと思っています。 ● 介護が必要な人は増えていると感じます。高齢化が進み健康な若い働き手から税金や、実質的な介護支援の負担が増え、不公平さを感じます。若い人もいずれは年をとるので助け合いの気持ちが持てたらと思います。 ● 自助、共助、公助の考えを、一人一人が考え、理解し、行動して行ける様になればと思っています。 ● 問 12 の 10 にも書きましたが活動が見えない（特に手助けを必要としなかったからか）ので問 13 以降は、考えても回答が難しいです。 ● 地域福祉と言っても、差し迫って切実な不自由も無く、生活出来ているので、あまり真剣に考えることなく生活している。しかし、実際には、困っている人がいるわけで、その人達を見つけて支援し、手を差し伸べられる体制が大切であることは理解できるが、なにをしたらよいか分からない状態。高齢化やヤングケアラーの増加など苦しむ人がいない社会になればと思う。 ● 昔の農村時代と違い、各家庭の格差が広がっている又個人情報についても秘密主義に。SNS等情報伝達の仕方が進歩している。2つの現状を鑑みて以下のようにすべきと考えます。自治会、町内会、民生委員等に依存はやめ、自治体と各個人が直接やり取りをする（SNS等で直接選挙ができるころまで）。地域密着で仲良くしようというのに無理があります。民生委員も昔と違って入り込めないのが実情（断られる）民生委員組織も50年前と変わらず時代錯誤に陥っています。

区	自由記載
	<ul style="list-style-type: none"> ● 感染対策を万全にして何事も行ってほしいです。 ● コロナをはじめ、近くのスーパーが撤退したこと、桜並木の木が切られたこと等、集いの場が無くなってしまいました。コミュニティとなる場を増やす必要があると思います。 ● 区画整理ばかりしているけど、行政がおろそかになってしまうのでは。 ● 障害のある方にも手厚くみてくれる自動車学校が浜松にも出来るといいです（栃木県にある鹿沼自動車教習所みたいな学校ができると本当に助かります）。障害の重たい方に限らず、療育手帳などの手帳をもっている人は、昔みたいにバス券やタクシー券が復活してくれると嬉しく、外出する機会が増えていいと思います。
天竜区	<ul style="list-style-type: none"> ● 天竜区は街灯があまりにも少なく、防犯止不安があります。また、事故等の視点からみても、ぜひ街灯を積極的に設置していただきたく思います。東部から4月に、仕事の関係で転居してきましたが、街灯の少なさに大変おどろきました。ぜひ、ご検討の程、よろしくお願いいたします。 ● 高齢者が安心して生活できる地域であってほしい。 ● 特に交通の便、病院が遠いので、行く時の交通、車の免許を返納した場合タクシー等の料金が高い。 ● 学生時代にボランティア活動に積極的に参加したこともあるが、浜松市の現状を見る限り、地域の発展に繋がったとは考えられない。今は人材が不足しているため仕事が多忙になってしまい、肉体的にも精神的にも余裕がない。他人を思いやり、相互の助け合いを考えるような余裕がない。自分の老後の生活まで気を配る程度の余裕すらない。このアンケートに回答することで何かが変わりますか。何かを変えるつもりはありますか。 ● ボランティアは大切な事。ただ、人不足により、ボランティアが、ボランティアじゃなくなっている気がする。あくまで、ボランティア。 ● 超高齢化で自治会も成り立たなくなっています。回覧板を隣の家に持って行くのも大変です。配布物は、止めた方がいいと思います。デジタル化を勧めた方が良くと思います。 ● 福祉に関わる情報や組織のことは、耳にするが、日常の生活の中で、具体を見て、体験する機会がない。今の福祉の機能をよりよく現実的に生かしていくことが大切ではないか。 ● 子供達の少ない地域への活性化を、充実できるように、よろしくお願いします。より良い浜松市にしていただけるように、地域福祉、地域への支援を願います。山間地域の子供の減少は深刻になっています。話しあいをもうける会を開催してもらい、意見交換会等を開いていただくと嬉しいです。 ● ボランティア活動はとても大事なことだがボランティアではなく、組織と運用（法人など）出来れば活性化につながると思う。過去の災害などを住民他（国民全体）が理解していると思うが実際は、経験が無い（少ない）ことから忘れられる。意識が薄くなっていく傾向は、否めない。それは、福祉でも同じだと思う。 ● 小学校では、夏休みのラジオ体操がほとんどなくなり、プール開放も減りました。子供会行事も減り、子供どうしの地域交流が少なくなり残念です。元旦マラソンは、親子で参加しています。

区	自由記載
	<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者施設で働いていますが、自宅より離れている為、地元のイベント等には参加する機会がなかなかありません。幸い、近所の人々は良い人が多く、トラブルはないものの、助け合いとなるとハードルが高く感じます。プライベートも大切にしたいので、青年会、消防団もやめてしまいましたのでそちら側のイベントにも参加しづらい、する気がおきないのがありますし、青年団、消防団も身内意識が強く、飲み会等があっても面白みもやる意義も必要性がまったく感じません。気軽に参加できるイベントがあれば行きたいですがそこにカテゴリ、枠を作ってしまうと全然気軽にならないので、今後考慮して頂けると幸いです。 ● シニア義務教育化（小、中学校を利用）して、体力の低下をなくして、知識でボケをふせぐ知人、友人が出来れば楽しいと思う。シルバー人材にも深みが増してくる。 ● 軒数は少ないのですが自分の組（地域の）は良い人ばかりでほとんどはあいさつ程度ですが、用事の際は全員集まりととてもうまくいっています（組長は順番、葬儀は組長の声かけでそろって、自治会清掃も全員出てきます）。また救急車など近所に来た時は迷惑にならない様声かけしています。自宅でとれた野菜を持ってきてくれた。季節のもの（竹の子、お茶）などもよくいただきます。特に返礼せずおすそわけ程度にしています（ほしいもなど）。今は世の中の変化が心配です（戦争など）。 ● 高齢者2人なので最近のスマホ光回線インターネットなどわかりません。 ● 自分が困っている立場だと感じていないから「機関や団体」に相談していない。どこから困っている立場なのか。誰がそれを決めるのか。皆が自分の事で忙しいし、近年は人に会う事が少なくなり、地域の活動も減った。地域の活動が減って楽になり、自由な休みも増えた。また再開するのは大変だなと感じている。やるしかないが。 ● 中山間地域で、ホモサピエンスが絶滅危惧種となっている地域においては、誰がどうやって支援していくのか。昔、昭和の時代は、隣の家へも勝手に上がり込み、ごはんを一緒に食べたり、うちの子も隣の子もうちの子という意識があったが今は、親せきでも、つきあいはめんどろ、年賀状すらおしまいと、人とのつながりが、うすくなっている何か災害でもおきたり支援の必要な人が目の前にいたら手をさしのべられるのか。この人は本当に支援が必要なのか。必要なふりをしているだけのサギ師で、だまされてお金とられるかも。社会が複雑になればなるほど、難しい下手な事いうと、すぐパワハラやセクハラだと言われる。日々、悶々としながらも、できることはしたいと思い、ボラ活をしております。コロナによる新しい生活様式もかなり関係しているかな。飲み会はやらない、葬式は身内だけ、お祭りも神事だけ、みんな身体的にも精神的にもひきこもり。これがまた、意外に楽ちんという方々も多いよう。公園や学校の子どもの声がうるさいと言い出す大人がいること事体、世紀末。退廃的で、没落期的風潮を感じます。 ● 藤枝市の蓮華寺公園のような公園が欲しいです。子供・大人・他地区の人達が気軽に訪れる公共施設が増えるとありがたいと思います。あとは公共のトイレを使い易くして欲しいと思います。男子トイレで子供のオムツを替えるのが難しいと感じました。男子トイレにもオムツ台があるとこれからの時代いいのかなと思います。

区	自由記載
	<ul style="list-style-type: none"> ● アンケートを生かして下さい。 ● 子育て支援をもう少し充実させてほしい。物価の高騰や所得制限による児童手当廃止等の様々な要因で子育てに不安のある家庭、若者の将来の不安がたくさんあると思います。高齢社会である以上、高齢者をないがしろにしろというわけではなくその中で子育て支援にもしっかり目を向けてほしい。理想は明石市のような支援ですが浜松独自の支援もあると地域活性となりよりよい地域福祉が築きあげられるのではと思う。 ● 「私は〇〇ができます（助けることができます）」というシーズと「私は□□が必要です（助けてください）」というニーズをマッチングさせる仕組み（情報交換の場所）が各地にあればいいのかなと思います。 ● 認知症の祖母の施設への入所は民生委員の方など本当にご尽力頂いてすぐ決まり大変助かりました。ですが、60代の母の骨折で寝たきり状態の今は、誰にどこに相談しても解決しません。入院先も決まらず自宅でオムツなどをして介護をしていて心身ともにとても消耗して日々を送っています。近隣の方も気に掛けてくれますが毎日のことなので追いつきません。こういう時、こういう場合はどこにどのように相談すればいいのですか。お願い致します。 ● コロナ化で自治会地域活動が制限され、買い物の場所の減少等により、顔をあわせて、とりとめのない話（井戸端会議）が減っています。その為、だれが困っているのかとかが、知りにくい状況だと思います。出来る事はあまりないのかもしれませんが回覧板等でボランティア募集（この日、この時間手伝えませんか）があったら、関心ある人もいるのではないかと思います。 ● ガケ崩れ指定された所に住んでいますが大雨になった時避難所に行くには川を渡らなくてはなりません。垂直避難する事になります。地震の時もどこへ逃げるのが正解が分かりません。坂の上で高齢者も多く住んでおります。川に作られた階段も急で危ないと思います。出来ればずっと住み続けたいのですが、家が損壊すれば建て直す事は不可能で移り住むしかありません。災害が起こらない事を願っています。 ● 私が住んでいるのは天竜区ですが、地域格差を感じる事が多々あります。最近1番感じたのは、バスが無くなったことです。私は運転ができますが、天竜区は高齢者が多いのに、貴重な移動手段を、あっさりやめてしまうのだなと思いました。 ● 高齢者の方々が生き生きしている地域活動場所を設ける（旧、施設の有効活用）。地域小中学校の活動の支援を地域の退職者で行っていく（スポーツ活動や部活動の支援）。子供が自由に遊べる公園（天竜区二俣、平地なし）。 ● 山間地への福祉の次年度の行動計画書等あれば良い。 ● 災害時に避難したくても避難所が遠く、道路が崩れやすく自宅で避難する世帯が多い。自宅で避難する場合の備えや対策方法を情報提供してほしいです。車の運転を辞めた高齢者が増えふれあいバスを利用する人も増えるがバス停に待つためのベンチや寒さをしのぐ場所が無く苦勞が多いと聞きます。店なども閉店してしまい時間を潰す場所があればと思います。

区	自由記載
	<ul style="list-style-type: none"> ● 路線バスの撤退等、公共交通機関が充足されておらず、不便を感じる方々も多いかと思われま。長距離移動をしなくてもすむようなコミュニティの造成が必要では。 ● 自分の生活に他人が踏み込んでほしくないと思う人が大半のなか、地域での支援は難しいものがあると思います。私も他人に踏み込んでほしいとは思いません。地域での助け合い、50年前ならできたと思いますが、今は無理なのではないかと思ひます。子供達に「おかえり」と声を掛けたら不審者で通報される時代です。数年前ですが地区であったことです。防災メールの警察からのお知らせでそれが入ってきた時に、これでは声も掛けられないねとシニアクラブであいさつ運動や声掛けに参加している母がため息をついていました。ボランティアのはずのあいさつ運動もシニアクラブの人がいないと人が少ないとのことで半強制的に出ている母。何かおかしくないでしょうか。このような意見を書いたところで、何も反映されず無駄なことだとは分かっていますが、一応書かせていただきました。このアンケートが入っていた封筒には差出課も、何が入っているのかも書かれていませんでした。市役所からの封筒、何かと思ひ恐る恐る開封しました。以前に国の機関のアンケートが来たことがありましたが、封筒の表書に担当部署も「調査依頼」の文字も明記されていひました。市役所からの封筒には表書きに差出課や「アンケート依頼」を記入していただけると有難いなと思ひました。 ● コロナウィルスの発生やスマートフォンの普及など現在社会がどんどん内向きになる状況があり、ますます地域、近隣という概念そのものが希薄化していると感じます。国、社会がその方向へ向かわざるをえない中難しいことであると思ひますが、やはり少子高齢化といえども今後の社会を作っていく子供達への正しい教育や支援を第一に進めていくべきだと思ひます。高齢者への手厚い支援も必要だと思ひますが、将来を作る子供やその子供達を育てはぐくむ親達への支援がもっとあればと感じます。大変だと思ひますが、本件に関わる方々が形だけでなく心底関わっていることを願ひます。 ● 誰もが集まれる居場所作り「コミュニティサロン」を歩いて行ける場所にもうけてもらいたいです。人材募集をし、医療や介護経験のある方などに中心となり、行なってもらひ、皆が明るく元気に暮らしていけるようなれたらと思ひます。助け合って楽しく日々過ごしていく事ができるように。 ● 今のところ健康に不安はなく隣には長男家族もいて、仕事もしておりますので、社会福祉の事を考える時間はありませんが、これからの長寿（健康な身体）でいられるように頑張っていきたいと思ひます。ご近所の世帯は小さな子供さん世帯が多くなかなかご近所とかかわる事はないのですが、あいさつや地自体の事（草刈、避難訓練）には行きたいと思ひます。
地区不明	<ul style="list-style-type: none"> ● 憲法、地方自治法には、住民の安心安全を守ることが定められています。法の定めを地域福祉に、生かして頂きたいです。 ● 今はまだ仕事をしているので余り深く考えていないのが現実です。 ● 地域の人数が多くなり年寄りには暮らしにくい街になってきたと思う。若い人達はあいさつもしない。

区	自由記載
	<ul style="list-style-type: none"> ● 私、個人の事ですが、現在は一人での生活になりましたが幸いにして、田舎暮らしの為、自治会、組織が、しっかりしています。身近に兄弟も居ますし、現在不安は有りません。健康でいる事が条件で、車の運転が、出来る今は問題ありません。しかし町内は若年層が少なく高齢化の進度は速いです。一人世帯の家も多く将来が、非常に不安です。介護、福祉はより重要な位置づけが必要かと思えます。一個人としては、わかりませんが、皆で考える事が必要と思えます。 ● 地域福祉と一言で言ってしまうと、本当に困っている人と、全く困っていない人がひとくくりになってしまい、考えにくい。地域・自治会を単位として考えると、近隣との声かけなど、身近なことで、実際にどう改善していくのか、具体的な方策が、見つからない。地域の人達の協力し合う力を、災害時にどうかしていくか、難しいが、日頃からのつながりを大切にしていけるよう一人ひとりが考えていかななくては行けないが、その為にはどうすれば良いか、考えていきたい。 ● ゴミを捨てる場所が各家の前で月ごとに順番に回ってくる。不在の時など困るので地域にゴミステーションがほしい（弁天島）大型ゴミの廃棄でいちいち電話しシールを購入するのがめんどろである。他の自治体の例、愛知県一宮市のように 10kg 何円とか車で搬入しそのまま分別できる施設があるといい。車が無いと生活できないので、高齢者になった時不安である。弁天島の J R の駅は階段のみで不便である。少し体が不自由になってもなんとか生活できる仕組みが出来るといい。 ● いつも有難うございます。 ● 私自身もそうなのですが障害認定外の病気に対する就労支援があると良いなとも思っています。不安障害を発病後退職してからの再就職先を探す事に困難を極めています。身体障害者ではないけど働きたくても難しい、働き先を探す手伝いをして欲しいとも思っています。経済的にもかなり難しくなっています。またうちは数年前に空き巣に入られました、その後解決する事はなく大事なものはうばわれ、家は壊されそれでも泣き寝入りするだけでした。自身で防犯カメラを導入しましたが、最近2回も壊される事態が続いています。防犯対策に力を入れて欲しいです。 ● 福祉に関してまったく関心がありません。 ● 飲酒、ギャンブル等に生活保護費を使用する者の費用の減額、打ち切り。

4 調査票

「浜松市地域福祉計画アンケート調査」ご協力のお願い

【調査ご協力のお願い】

誰もが住み慣れた地域で生きがいを持って安心して生活を送るために、家庭や地域で共に支え合い助け合う地域福祉が重要となっています。

浜松市では第4期の計画となる「第4次浜松市地域福祉計画（2019年～2023年）」に基づき、地域福祉の計画的な推進を図っています。また、(福)浜松市社会福祉協議会では、「第4次浜松市地域福祉活動計画（2019年～2023年）」を策定し、より地域に身近な視点で地域福祉を進める活動を展開しています。

このたび、両計画ともに第5期（2024年～2028年）を迎えるにあたり、計画の改訂に係る取り組みを連携して行い、社会情勢等の変化に応じた計画を策定するものです。

これらの計画の策定には、地域福祉推進の主体である市民の皆様のご理解とご協力が不可欠です。そのため、市民の皆様に対し地域福祉についてのご意見をうかがう目的でアンケート調査を実施することとなりました。調査結果から得られた貴重な資料は、計画策定のための基礎資料とさせていただきます。

なお、このアンケート調査は、本市在住の20歳以上の方の中から無作為に抽出した2,400人の方をお願いするものです。

なにとぞ、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

2022年12月

浜松市

【記入に際してのお願い】

1. 本アンケートは、あて名のご本人様にご回答ください。ただし、ご本人様が高齢、もしくは身体が不自由なため記入できない場合に、代筆いただくことは構いません。
2. 回答方法は、選択肢のあてはまる番号を○で囲んでください。
3. 問によって、回答数が1つの場合と複数の場合がありますので、括弧内の指示に従ってご回答ください。
4. 選択肢「その他」を選んだ場合は、()内になるべく具体的にご記入ください。

【提出方法】

ご回答いただきました調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、

令和4年12月31日（土）までに郵便ポストに投函してください。

<このアンケートに関するお問い合わせ先>

〒430-8652 浜松市中区元城町103番地の2

浜松市 健康福祉部 福祉総務課

電話：053-457-2326 FAX：050-3730-5988

■あなたご自身のことについておたずねします。

F1 性別 (○は1つ)

1. 男性 2. 女性 3. 選べない

F2 年齢 (○は1つ)

1. 20代 2. 30代 3. 40代 4. 50代
5. 60代 6. 70代 7. 80歳以上

F3 職業 (○は主なもの1つ)

1. 自営業 2. 会社員 3. 公務員
4. パート・アルバイト 5. 家事専業 6. 学生
7. 無職 8. その他 ()

F4 世帯構成 (○は1つ)

1. ひとり暮らし 2. 夫婦のみ 3. 親と子 (2世代)
4. 親と子と孫 (3世代) 5. その他 ()

F5 あなたの同居者に「同居の家族以外からの支援を必要とするような方」はいますか。
(○は1つ)

1. はい 2. いいえ

F5で「1. はい」と答えた方に伺います。

F5-1 その方はどのような方ですか。(○はいくつでも)

1. 介護を必要とする人 2. 認知症の人
3. 身体・知的・精神など障がいのある人 4. その他 ()

F6 お住まいの区名と町名を記入してください。(○は1つ)

1. 中区 2. 東区 3. 西区 4. 南区
5. 北区 6. 浜北区 7. 天竜区
町名 ()

F7 現在のお住まいでの居住年数はどのぐらいですか。(○は1つ)

1. 3年未満 2. 3年以上5年未満
3. 5年以上 10年未満 4. 10年以上 15年未満
5. 15年以上 20年未満 6. 20年以上

■地域社会とのかかわりについておたずねします。

問1 ご近所の人たちとの程度お付き合いをしていますか。(○は1つ)

1. 何か困ったときに助け合う親しい人がいる
2. 道で会えば立ち話をする程度の人ならいる
3. あいさつをする程度の人しかいない
4. 顔は知っているが、言葉を交わすほどではない
5. ほとんど付き合いはない

問2 地域内での行事や活動に参加していますか。(○は1つ)

1. 参加している
2. 参加していない

問2で「1. 参加している」と答えた方に伺います。

問2-1 どのような活動に参加していますか。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------|-----------------------|
| 1. 自治会活動 | 2. PTA活動 |
| 3. 子ども会 | 4. シニアクラブ |
| 5. お祭り | 6. 地域の環境美化（花づくり、清掃）活動 |
| 7. 防犯・交通安全関係の活動 | 8. その他（ ） |

問3 地域社会におけるかかわりについて、以下の1～5の項目について、あなたはどうお考えですか。(○は項目ごとに1ずつ)

	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない
【記入例】 1. 隣人との支え合い助け合いなど、付き合いを大切にしたい	①	2	3	4	5
1. 隣人との支え合い助け合いなど、付き合いを大切にしたい	1	2	3	4	5
2. 住民が相互に協力して地域をよくする活動に参加したい	1	2	3	4	5
3. 隣近所はあてにしたいくないので、自分のことは自分で行う	1	2	3	4	5
4. 時間に余裕がある人や、やる気のある人が地域にかかわればよい	1	2	3	4	5
5. プライバシーに立ち入れられるのが嫌なので、隣近所に助けてもらうのは気が進まない	1	2	3	4	5

■地域での助け合いについておたずねします。

問4 ご近所の人にどのようなお手伝いをした経験がありますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|----------|-----------------|
| 1. 声かけ | 2. 食事などのおすそわけ |
| 3. 掃除や洗濯 | 4. 話し相手・相談相手 |
| 5. 買い物 | 6. 通院や散歩などの外出支援 |
| 7. ごみ出し | 8. その他 () |
| 9. 特にない | |

問5 あなたやあなたの家族が高齢になったり、病気や事故などで日常生活が不自由となったりしたとき、地域で何をしてほしいですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|----------|-----------------|
| 1. 声かけ | 2. 食事などのおすそわけ |
| 3. 掃除や洗濯 | 4. 話し相手・相談相手 |
| 5. 買い物 | 6. 通院や散歩などの外出支援 |
| 7. ごみ出し | 8. その他 () |
| 9. 特にない | |

問6 地域における災害時の備えとして、重要だと思うことは何ですか。(〇はいくつでも)

- | |
|--------------------------------|
| 1. 地域での日頃からのあいさつ、声かけやつきあい |
| 2. 地域での危険箇所の把握 |
| 3. 地域での避難訓練 |
| 4. 地域における援助体制づくり |
| 5. 災害時に支援を必要としている人の把握 |
| 6. 防災の学習会 |
| 7. 災害ボランティアに対する理解や地域への受入れ体制の強化 |
| 8. その他 () |

■困りごとに関する相談についておたずねします。

問7 日々の生活で困っていること、悩みはなんですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 子育てのこと | 2. 健康のこと |
| 3. 介護のこと | 4. 住まいのこと |
| 5. 仕事のこと | 6. 経済的なこと |
| 7. 近所づきあいのこと | 8. 防犯や交通安全などのこと |
| 9. 災害等緊急時の対応のこと | 10. 認知症のこと |
| 11. 移動手段のこと | 12. 家事・片付けのこと |
| 13. その他 () | 14. 特になし |

問8 あなたが日々の生活で困った時に、どこに相談すればいいかわからないことがありましたか。(〇は1つ)

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1. はい(わからないことがあった) | 2. いいえ(わからないことはなかった) |
| 3. 困ったことはない | |

問9 困った時の相談先として、以下の機関、団体等で知っているものはありますか。

(○は項目ごとに1つずつ)

	ある 利用 した こと が 知 っ て い て	な い 利 用 し た こ と が 知 っ て い る が	知 ら な い
【記入例】 1. 民生委員・児童委員	①	2	3
1. 民生委員・児童委員	1	2	3
2. (福) 浜松市社会福祉協議会	1	2	3
3. 地域包括支援センター(高齢者相談センター)	1	2	3
4. 障がい者相談支援センター	1	2	3
5. 生活自立相談支援センターつながり	1	2	3
6. 若者相談支援窓口「わかば」	1	2	3
7. 発達相談支援センタールピロ	1	2	3
8. 児童家庭支援センター	1	2	3
9. 教育総合支援センター	1	2	3

■福祉やボランティアへの関心についておたずねします。

問10 福祉について関心を持っていることは、次のうちどれですか。(○はいくつでも)

1. 介護のこと	2. 障害のこと
3. 子どものこと	4. 健康のこと
5. ボランティア活動のこと	6. 家庭内暴力、虐待のこと
7. 成年後見制度※	8. その他 ()
9. 特になし	

※成年後見制度とは、判断能力が不十分な人を保護し支援する制度です。本人の判断能力の程度に応じて選任された「後見人」「保佐人」「補助人」が、本人の利益を考え、本人を代理して契約したり、本人がよく判断できずに結んでしまった契約を取り消したりすることができます。

問 11 地域のボランティア活動に今後、参加したいと思えますか。(○は1つ)

- 1. 参加したい
- 2. 参加したくない

問 11 で「2. 参加したくない」と答えた方に伺います。

問 11-1 今後、ボランティア活動に参加したくない理由は、次のうちどれですか。

(○はいくつでも)

- 1. 仕事や家事が忙しく時間が取れないから
- 2. 小さな子どもや介護を必要とする家族がいるから
- 3. 興味や関心の持てる活動がないから
- 4. 健康に自信がないから
- 5. 参加する必要性を感じないから
- 6. 人と接することが好きではないから
- 7. 活動のための資格や技術がないから
- 8. 身近に活動グループや仲間がないから
- 9. どのような活動があるか知らないから
- 10. 活動への参加方法が分からないから
- 11. 家族や職場の理解が得られないから
- 12. 現在参加しているが、負担に感じているから
- 13. その他 ()

問 12 (福) 浜松市社会福祉協議会は、社会福祉法により設置が規定された民間の社会福祉法人で、住民の福祉活動の組織化や社会福祉を目的とする事業などを推進しています。

(福) 浜松市社会福祉協議会が行う以下の活動の内、今後も力を入れてほしい活動は、次のうちどれですか。(○はいくつでも)

- 1. 福祉に関する啓発活動
- 2. ボランティア活動への費用負担
- 3. ボランティアに係る人材育成
- 4. ボランティアのネットワークの構築
- 5. 災害時におけるボランティア活動の拠点確保や各種支援活動
- 6. 福祉に関する総合的な相談窓口
- 7. 児童・高齢者・障がいのある人などの見守り体制の構築
- 8. 生活困窮者支援に関する事業
- 9. 成年後見制度の利用促進
- 10. その他 ()
- 11. 特になし

地域福祉活動を活発にするために必要なことについておたずねします。

問 13 誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう地域の福祉を充実させていく上で、あなたのお住まいの地域における問題点についてお聞きします。以下の1～6の項目について、お答えください。(○は項目ごとに1つつ)

	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない
【記入例】 1. 住民同士の連帯感(助け合い)の希薄化	①	2	3	4	5
1. 住民同士の連帯感(助け合い)の希薄化	1	2	3	4	5
2. 住民の福祉への関心の薄さ	1	2	3	4	5
3. 高齢化や過疎化による担い手不足	1	2	3	4	5
4. 地域福祉を推進する組織が機能していない	1	2	3	4	5
5. 防災、防犯などの安全・安心に関する体制が整っていない	1	2	3	4	5
6. 誰もが気軽に集まれる居場所がない	1	2	3	4	5

問 14 地域住民の支え合いをはぐくむために、地域住民が力を入れるべき取組みについてお聞きします。以下の1～7の項目について、お答えください。(○は項目ごとに1つつ)

	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない
【記入例】 1. 自治会行事への参加促進	①	2	3	4	5
1. 自治会行事への参加を促進する	1	2	3	4	5
2. 子ども会やシニアクラブなど地域組織の活動を活発にする	1	2	3	4	5
3. 地区社会福祉協議会などの地域福祉活動を充実する	1	2	3	4	5
4. 近隣との声かけなど付き合いを活発にする	1	2	3	4	5
5. 子育て、子どもの見守り、教育への協力を行う	1	2	3	4	5
6. 防犯・防災に関する地域での協力を推進する	1	2	3	4	5
7. 誰もが集まれる身近な居場所づくりを行う	1	2	3	4	5

問 15 誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう地域の福祉を充実させていく上で、浜松市が力を入れるべき点についてお聞きます。以下の1～9の項目について、お答えください。
(○は項目ごとに1つつ)

	そう思う	ややそう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう思わない
【記入例】 1. 関係機関のネットワークや地域福祉を推進するためのしくみづくり	①	2	3	4	5
1. 関係機関のネットワークや地域福祉を推進するためのしくみづくり	1	2	3	4	5
2. 社会的な孤立を予防・解消するための総合的な支援	1	2	3	4	5
3. 福祉に関する情報提供や意識啓発	1	2	3	4	5
4. ボランティア活動への支援	1	2	3	4	5
5. 地域福祉活動を推進する人材の育成	1	2	3	4	5
6. 小中学校や地域での福祉教育の推進	1	2	3	4	5
7. 災害時の避難に支援の必要な人への対策	1	2	3	4	5
8. 生きがいづくり、健康づくり事業の充実	1	2	3	4	5
9. ユニバーサルデザインの普及、推進	1	2	3	4	5

問 16 地域福祉に関することで、ご意見、ご要望などがございましたらご自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。
この調査票を返信用封筒に入れ、令和4年12月31日(土)までに
郵便ポストにご投函ください。

浜松市地域福祉計画アンケート調査結果報告書

発行日 令和5年2月
編集・発行 浜松市 健康福祉部 福祉総務課
〒430-8652
浜松市中区元城町103番地の2
電話：053-457-2326
FAX：050-3730-5988